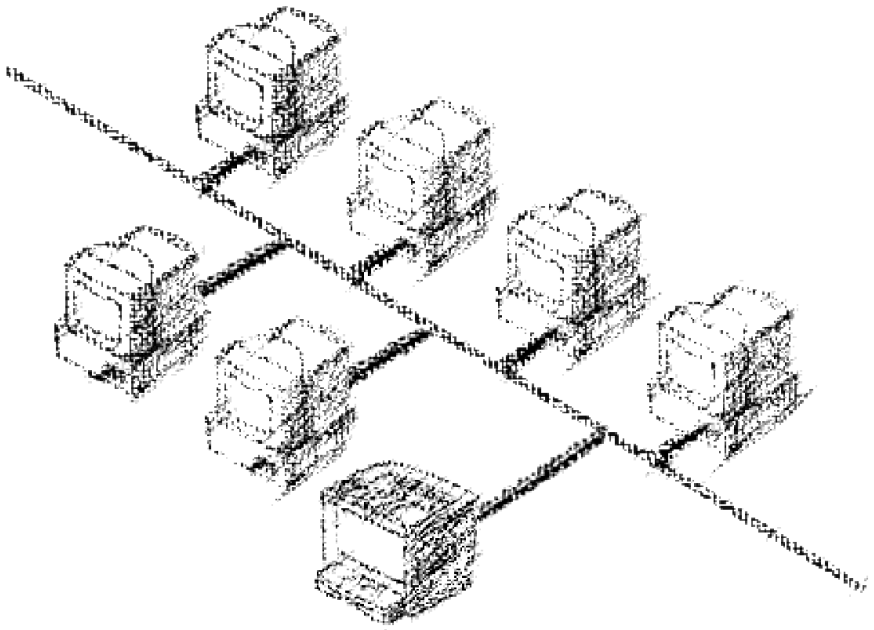
PRIFNW3S
取扱説明書



EPSON

NPD0335-00

はじめに

このたびは、タイプ B マルチプロトコル Ethernet I/F カード 10Base-T/100Base-TX 対応 PRIFNW3S をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本ネットワーク I/F は NetWare、Mac OS（漢字 Talk）、Windows 95/98/Me、Windows NT/2000/XP/Server 2003、OS/2 に対応したイーサネットカードです。当社プリンタのオプションインターフェイススロットに装着して使用します。
ご使用の前に本書をよくお読みになり、製品の性能を十分に発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。

本製品を安全にお使いいただくために

お買い求めいただきました弊社製品を安全かつ有効にお使いいただくために、製品をご使用の際は、本書ならびに本製品を装着するプリンタの取扱説明書を必ずお読みくださいますようお願いいたします。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。

(4) 運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。

© セイコーエプソン株式会社 2003

取扱説明書の種類と使い方

本製品には、次の取扱説明書が付属しています。

はじめにお読みください

同梱物のご案内と PDF マニュアルの開き方について説明しています。

簡単セットアップガイド for Windows

Windows 95/98/Me/2000/XP/Server 2003 を搭載したコンピュータから､本ネットワーク I/F を装着したプリンタに印刷するためのセットアップ手順を説明しています。印刷プロトコル（ネットワークの通信規約）は、インターネットで使用される TCP/IP（ティーシーピーアイピー）を使用します。

取扱説明書（PDF マニュアル）< 本マニュアル >

本ネットワーク I/F が対応しているすべての OS 環境下で、本ネットワーク I/F を装着したプリンタに印刷するためのセットアップ手順を説明しています。
簡単セットアップガイドの説明がご利用の環境に適合しない場合は、ご利用の環境に応じて取扱説明書中の該当する章をお読みください。

EPSON Print!2 取扱説明書（PDF マニュアル）

VPシリーズのMac OS 8.x/9.x用プリンタドライバ「EPSON Print!2」の取扱説明書です。VP シリーズを Mac OS 8.x/9.x からお使いの場合に、お読みください。

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は必ずお読みください。

それぞれのマークには、次のような意味があります。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容を記載しています。また、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。

補足説明や、知っておいていただきたいことを記載しています。

☞　関連する内容の参照ページを示しています。

表記について

本文中にある「ネットワーク I/F」は、PRIFNW3S を指しています。

Microsoft® Windows®95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows®Millennium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Server 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 3.51 日本語版

本文中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0、Windows NT3.51 と表記しています。また、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT4.0、Windows NT3.51 を総称する場合は、「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98/Me」のように、Windows の表記を省略することがあります。

画面について

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

目次

はじめに.....2
取扱説明書の種類と使い方.....3
本書中のマーク、表記について.....4
目次.....5

ご使用の前に 8
本製品の特長 9
動作環境と対応プリンタ 10
各部の名称と働き 11
EpsonNet ソフトウェアのご案内.....12
印刷ツール..... 12
設定ツール..... 13
管理ソフトウェア 14
プリンタステータスモニタ 14
VP シリーズ用 Macintosh プリンタドライバ..... 15
ツール / ソフトウェアの入手方法 ... 15

設定の前に 16
ネットワークプリンタ導入作業の流れ 17
印刷方法を決めます 19
Windows から印刷する場合 19
Macintosh から印刷する場合..... 21
各印刷方法の概要と特長 22
印刷方法の概要 22
各印刷方法の長所と短所 23

コンピュータのネットワーク設定 24
Windows 95/98/Me の場合 25
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合 29
Windows NT4.0 の場合.....33
Windows NT3.51 の場合.....36
Macintosh の場合.....40
Mac OS 8.x/9.x の場合 40
Mac OS X の場合 42

ネットワーク I/F の設定 44
設定方法の概要 45
Windows から設定する場合 45
Macintosh から設定する場合..... 45
動作環境.....47
対応機種..... 47
対応 OS..... 47
EpsonNet WinAssist のインストール..... 48
EpsonNet MacAssist のインストール..... 50
ネットワーク I/F 設定..... 52
各画面の詳細説明 57
情報..... 57
TCP/IP..... 57
NetWare..... 59
MS Network 64
AppleTalk 65
IPP..... 66
SNMP 67
各メニューの詳細説明 68
メニューバー..... 68
タイムアウト設定..... 70
探索方法 / 探索方法の選択..... 70
探索オプション..... 71
ツールーファームウェアアップデート 74
DHCP 機能使用時の注意..... 78
Web ブラウザの設定についての注意..... 79

プリンタドライバのインストール 80
Windows 95/98/Me の場合 81
LPR 印刷の場合..... 81
IPP 印刷の場合（Windows 95/98）81
IPP 印刷の場合（Windows Me)..... 82
Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合..... 84
プリンタドライバのインストール... 86
NET USE コマンドの実行 88
ポートの確認（MS Network）..... 89
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合 90
LPR 印刷の場合..... 90
IPP 印刷の場合..... 92
Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合..... 94
プリンタドライバのインストール... 96
NET USE コマンドの実行 97
ポートの確認（MS Network）..... 98
Windows NT の場合 99
LPR 印刷の場合（Windows NT4.0）..... 99
LPR 印刷の場合（Windows NT3.51）.....101
IPP 印刷の場合 (Windows NT4.0) 103
Microsoft ネットワーク共有印刷 /

共有プリンタへの印刷の場合（Windows NT4.0）... 103
Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合（Windows NT3.51）... 105
プリンタドライバのインストール ... 106
NET USE コマンドの実行 ... 108
ポートの確認（MS Network） ... 109
スプールディレクトリのアクセス権を変更する ... 110
Mac OS 8.x/9.x の場合 ... 111
Mac OS X（10.2.x）の場合 ... 112
OS/2 の場合 ... 114
LPR 印刷の場合 ... 114
Microsoft ネットワーク共有印刷の場合 ... 117

NetWare サーバの設定 ... 118
モードについて ... 119
使用上の注意 ... 120
NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード ... 122
NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバモード ... 123
NetWare3.xJ リモートプリンタモード ... 124
NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード ... 127
NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード ... 132
NDPS ゲートウェイ ... 136
設定の流れ ... 136
接続方法の決定と環境設定 ... 137
NDPS マネージャの作成 ... 138
NDPS プリンタエージェントの作成 ... 139
ネットワーク I/F の設定 ... 145
ダイヤルアップネットワーク
使用時の注意 ... 146
ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合 ... 146
ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合 ... 149

EpsonNet Direct Print の使い方 ... 150
EpsonNet Direct Print の概要 ... 151
動作環境 ... 152
対象機種 ... 152
対象 OS ... 152
EpsonNet Direct Print のインストール ... 153
プリンタの接続と設定 ... 154
TCP/IP 設定の確認 ... 154
プリンタの設定 ... 155
探索範囲の設定 ... 158
印刷方式の設定 ... 160

EpsonNet WebAssist の使い方 ... 161
EpsonNet WebAssist の概要 ... 162
対応機種（コンピュータ） ... 162
対応する Web ブラウザ ... 162
ネットワーク I/F ... 162
EpsonNet WebAssist でのネットワーク I/F 設定 ... 163
インデックスとメニュー ... 169
情報メニュー ... 170
基本情報 ... 170
NetWare、TCP/IP、AppleTalk、MS Network、IPP、SNMP、Time ... 171
設定ーネットワークメニュー ... 172
NetWare ... 172
TCP/IP ... 175
AppleTalk ... 175
MS Network ... 176
IPP ... 177
SNMP ... 178
Time ... 180
設定ーオプションメニュー ... 181
管理者情報 ... 181
リセット ... 182
パスワード ... 183

困ったときは ... 184
全 OS 共通 ... 185
Windows 95/98/Me ... 189
Windows NT/2000/XP/Server 2003 ... 190
Macintosh ... 192
NetWare ... 193

その他の便利な機能の紹介 195

プリンタドライバの
自動インストール..... 196

ネットワークプリンタの
状態確認 197

クライアント用ユーティリティ 197

管理者用ユーティリティ 197

ネットワーク管理ツールの
ご案内 198

ネットワークプリンタ管理..... 198

付録 203

ネットワークステータスシート ..204

簡易ステータスシートの印刷..... 204

フルステータスシートの印刷..... 204

ネットワークステータスシートの
印刷例（初期値）..... 205

ネットワーク I/F の初期化..... 209

通信モードの固定方法..... 211

ユーティリティの削除方法..... 213

Windows 用ユーティリティ..... 213

Macintosh 用ユーティリティ 214

ARP/PING コマンドでの
IP アドレス設定 215

ユニバーサルプラグアンド
プレイ機能 217

用語集 220

索引 227

ご使用の前に

最初にお読みください。ネットワーク I/F の機能と動作環境を説明します。

本製品の特長.....9 ページ
動作環境と対応プリンタ..... 10 ページ
各部の名称と働き..... 11 ページ
EpsonNet ソフトウェアのご案内..... 12 ページ

ネットワーク I/F のプリンタへの取り付け方法については、「簡単セットアップガイド for Windows」をご覧ください。

本製品の特長

- 本製品は、プリンタをネットワークプリンタとして使うためのネットワーク I/F です。プリンタのオプションインターフェイススロットに装着して使います。
  本書にある設定を行うと、ネットワーク上のコンピュータからプリンタに印刷することができます。
- 10Base-T/100Base-TX 用 RJ-45 コネクタを装備しています。通信速度は、ネットワークへの接続時に自動選択されます。手動で設定する場合は以下のページをご覧ください。
  ☞「通信モードの固定方法」211 ページ
- 各種ネットワーク OS・プロトコルに対応しています。インターネット経由の印刷プロトコルである、IPP(Internet Printing Protocol) にも対応しています。
- プリンタ MIB に対応したプリンタへ接続すると、SNMP、プリンタ MIB を使用しての管理ができます。
- Windows Me 以降で提供されているユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP または Universal Plug and Play）機能に対応しています。プリンタをネットワークに接続するだけで、プリンタが自動認識されます。Windows Me/2000/XP/Server 2003 で利用できる機能については以下のページをご覧ください。
  ☞「ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」217 ページ
- Mac OS 10.2.x 以降で提供される Rendezvous 機能に対応しています。本ネットワーク I/F を装着したプリンタが DHCP または APIPA 機能などで IP アドレスを取得している環境において有効な機能です。Rendezvous 機能については以下のページをご覧ください。
  ☞「Rendezvous 機能について」43 ページ

動作環境と対応プリンタ

ネットワーク I/F の動作環境

本ネットワーク I/F の動作環境は次の通りです。

OS	バージョン	印刷方法
Windows 95/98	--	· TCP/IP（EpsonNet Direct Print 使用） · IPP（EpsonNet Internet Print 使用） · MS Network
Windows Me	--	· TCP/IP（EpsonNet Direct Print 使用） · IPP · MS Network
Windows NT	· 4.0 · 3.51	· TCP/IP（LPR または EpsonNet Direct Print 使用） · IPP（NT3.51 を除く）（EpsonNet Internet Print 使用） · MS Network
Windows 2000/XP/ Server 2003	--	· TCP/IP（LPR、Standard TCP/IP Port または EpsonNet Direct Print 使用） · IPP · MS Network
Macintosh	· 漢字 Talk7.5.x · Mac OS 7.6.x/8.x/9.x	· AppleTalk
	· Mac OS 10.2.x	· EPSON AppleTalk · EPSON TCP/IP · Rendezvous
NetWare	· 3.xJ	· バインダリモード
	· 4.1xJ/4.2J · IntranetWare-J	· NDS モード · バインダリエミュレーションモード
	· 5J/5.1J	· NDS モード · NDPS
OS/2 Warp（OS/2 Warp Connect、OS/2 Warp Server）	· V3 · V4	· TCP/IP（Warp 付属の lprportd） · NetBEUI

ポイント

- Windows XP/Server 2003 は NetBEUI プロトコルに正式に対応していませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。「コンピュータのネットワーク設定」24 ページ
- Windows NT は、Windows NT（Intel 版）にのみ対応しています。
- Mac OS 9.x のマルチユーザ環境には対応していません。
- 本製品を、ダイヤルアップルータをご使用の環境に設置する場合、ネットワーク I/F には、必ずそのセグメントの設定に合った IP アドレスを設定してください。正しいアドレスを設定しないと、不必要なダイヤルアップが行われてしまう可能性があります。

ネットワーク I/F の対応プリンタ

本ネットワーク I/F を使用できるプリンタについては、エプソン販売のホームページで最新情報をご覧いただけます。アドレスは次の通りです。

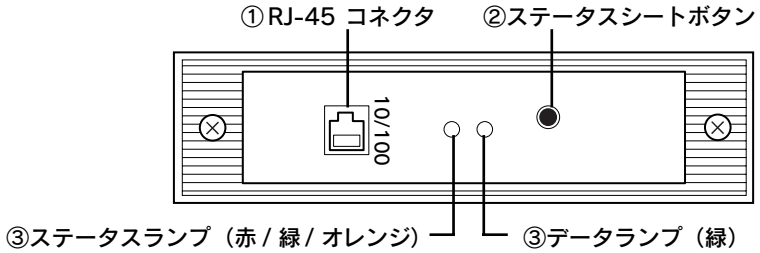
http://www.i-love-epson.co.jp/

ポイント

Adobe Acrobat をお使いの方は上記ホームページをご覧になる前に、[ファイル] / [編集] メニュー - [環境設定] - [WebCapture] の順にクリックし、[Web リンクを開く] を [Web ブラウザ内] / [Web ブラウザで開く] に設定してください。

各部の名称と働き

ネットワーク I/F の各部の名称と機能を説明します。



① RJ-45 コネクタ

Ethernet ケーブルを接続します。Ethernet ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

②ステータスシートボタン

ネットワークステータスシートを印刷します。このボタンを 1 回押すと、簡易ステータスシート（1 枚）が印刷されます。素早く 2 回押すと、さらに詳しいフルステータスシート（3 枚）が印刷されます。それぞれのネットワークステータスシートには、ネットワーク I/F の現在の設定状況が印刷されます。また、このボタンを押し続けながらプリンタの電源をオンにすると、ネットワーク I/F が初期化されて工場出荷時の設定に戻ります。この場合、ボタンは 20 秒以上（インクジェットプリンタの場合は 30 秒以上）押し続けてください。

次の場合、ネットワークステータスシートは印刷できません。

- プリンタが印刷不可状態のとき
- プリンタが印刷中のとき

> 注意
>
> プリンタの電源投入後、しばらくの間ネットワーク I/F のランプが赤点灯 / 緑点灯になります（初期化動作中です）。
> 赤点灯 / 緑点灯になっている間は、プリンタの電源をオフにしたり、ステータスシートボタンを押さないでください。ステータスシートボタンを押すと、ネットワーク I/F が工場出荷時の設定に戻ってしまいます。また、ネットワークステータスシートが正しく印刷されません。

③通信状態表示ランプ

ネットワーク I/F の状態を示します。

ステータスランプ	データランプ	状態
緑点灯	点灯	10Base-T で接続されている状態
緑点灯	点滅	10Base-T でデータ送受信中
オレンジ点灯	点灯	100Base-TX で接続されている状態
オレンジ点灯	点滅	100Base-TX でデータ送受信中
赤点灯	点灯	初期化動作中
赤点滅	点滅	ファームウェア更新中
赤点滅	点灯	エラー

EpsonNet ソフトウェアのご案内

ここでは、本製品で使用できる各種ソフトウェアを紹介します。
本製品に付属していないソフトウェアは、エプソン販売のホームページからダウンロードできます。EpsonNetソフトウェアのインストールやダウンロードの方法については、以下をご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

印刷ツール

EpsonNet Direct Print（本製品付属）

Windows から、ネットワークプリンタにダイレクト印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。
詳細は以下をご覧ください。
☞「EpsonNet Direct Print の使い方」150 ページ

EpsonNet Internet Print

Windows から、ネットワークプリンタにインターネット印刷することができるツールです。TCP/IP プロトコルを使用します。
このツールを使うと、プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）がない環境でも、ネットワークプリンタへの印刷が可能になります。
インターネット印刷は、セグメントを越えて印刷する時に有効です。
入手方法については、以下をご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

設定ツール

EpsonNet WinAssist（本製品付属）

Windows から、ネットワーク I/F の各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。TCP/IP、NetWare、MS Network、AppleTalk、IPP、SNMP に関する設定を行えます。
ネットワーク I/F を初めて設定する時に、Windows から設定する場合は、このツールをお使いください。
詳細は以下をご覧ください。
☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

EpsonNet MacAssist（本製品付属）

Macintosh から、ネットワーク I/F の各種アドレスや名称などを設定するためのツールです。TCP/IP、AppleTalk、IPP に関する設定を行えます。
ネットワーク I/F を初めて設定する時に、Macintosh から設定する場合は、このツールをお使いください。
詳細は以下をご覧ください。
☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

EpsonNet WebAssist（本製品付属）

ネットワーク I/F に内蔵しているツールです。ネットワーク上のコンピュータで、Web ブラウザから起動します。TCP/IP、NetWare、MS Network、AppleTalk、IPP、SNMP に関する設定を行えます。
EpsonNet WebAssist は、ネットワーク I/F およびコンピュータで IP アドレスが設定されていないと使えませんので、初めて設定する時は EpsonNet WinAssist または EpsonNet MacAssist をお使いください。
詳細は以下をご覧ください。
☞「EpsonNet WebAssist の使い方」161 ページ

管理ソフトウェア

EpsonNet WebManager

ネットワークプリンタの状態把握やネットワーク I/F の各種設定を行えるほか、印刷ジョブ情報の確認や、プリンタドライバの自動配信などの機能を持つ、管理者用のソフトウェアです。ダウンロードしてお使いください。
入手方法については、以下をご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

EpsonNet LogBrowser

ネットワークプリンタの印刷ログを自動収集するソフトウェアです。用紙使用量やプリンタの利用状況の把握と管理が簡単に行えます。
入手方法については、以下をご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

プリンタステータスモニタ

EPSON プリンタウィンドウ !2

ネットワークプリンタの状態を、コンピュータ上で確認できるツールです。詳細は、EPSON プリンタウィンドウ !2 取扱説明書（PDF マニュアル）をご覧ください。
お使いのプリンタに EPSON プリンタウィンドウ ! 3 が付属していない場合にご使用ください。（お使いのプリンタに EPSON プリンタウィンドウ ! 3 が付属している場合は、そちらをお使いください）
入手方法については、以下をご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

VP シリーズ用 Macintosh プリンタドライバ

EPSON Print!2（本製品付属）

Macintosh（Mac OS 8.x/9.x のみ）から、ネットワーク接続した VP シリーズのプリンタに印刷する場合に必要なプリンタドライバです。
詳細は、本製品に付属の EPSON Print!2 取扱説明書（PDF マニュアル）をご覧ください。

ツール / ソフトウェアの入手方法

本製品に添付していないツール / ソフトウェアは以下の手順で入手してください。

❶ 本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。自動的に［EPSON インストールプログラム］が起動します。

ポイント

- ［EPSON インストールプログラム］が自動的に起動しないときは、マイコンピュータの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。
- Windows NT3.51 をご使用の場合は、［プログラムマネージャ］の［アイコン］メニューにある［ファイル名を指定して実行］をクリックして、以下のコマンドを半角で入力し、［OK］ボタンをクリックします。
  例）D:¥SETUP（CD-ROM ドライブが D ドライブの場合）

❷ ［EpsonNet ワールド］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

❸ 画面の指示に従って、必要なツール / ソフトウェアをダウンロードしてください。

ツール / ソフトウェアはエプソン販売のホームページからダウンロードされます。

設定の前に

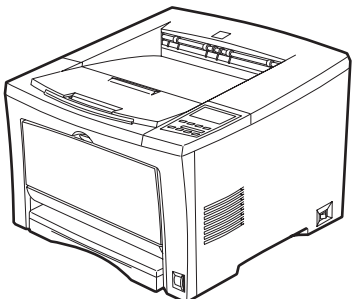
ネットワークプリンタの設定に不慣れな方は、この章をお読みください。ネットワークプリンタ導入作業の概要や、印刷方法などを紹介しています。

ネットワークプリンタ導入作業の流れ ..... 17 ページ
印刷方法を決めます ..... 19 ページ
各印刷方法の概要と特長 ..... 22 ページ

ネットワークプリンタ導入作業の流れ

ネットワークプリンタをお使いいただくための、作業の流れを説明します。

①プリンタをセットアップします



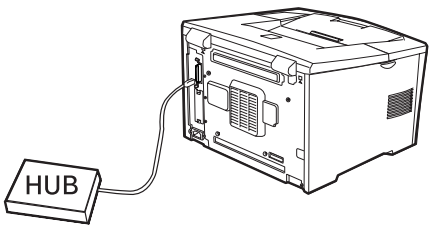
プリンタに用紙・トナー・インクなどをセットし、印刷可能な状態にセットアップします。

☞「プリンタの取扱説明書」

接続する HUB の通信モードが固定されている場合、ネットワーク I/F 側の通信モードを合わせます。

☞「通信モードの固定方法」211 ページ

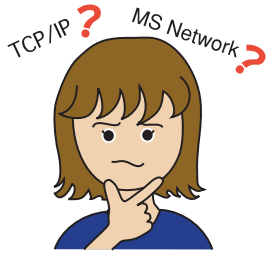
②プリンタをネットワークに接続します



プリンタと HUB を Ethernet ケーブルで接続します。

☞「簡単セットアップガイド for Windows」

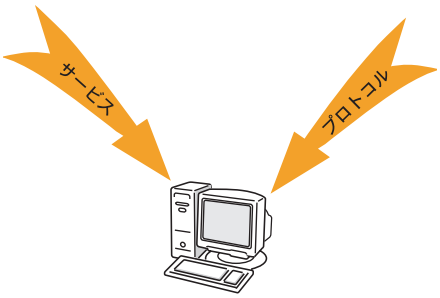
③ネットワーク環境に応じて、印刷方法を決めます



お使いのネットワークの形態や OS に応じて、印刷方法を決めます。

☞「印刷方法を決めます」19 ページ

④コンピュータのネットワーク設定を確認



プリンタを利用するコンピュータのネットワーク設定を確認し、必要に応じてネットワークプロトコルなどを追加します。

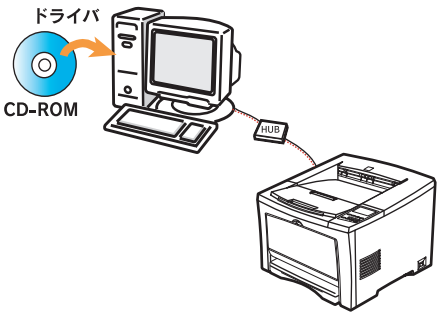
☞「コンピュータのネットワーク設定」24 ページ

⑤ネットワーク I/F を設定します

本製品に付属の設定ユーティリティを使用して、印刷方法の選択と、各種アドレスまたは名称などを設定します。
NetWare サーバを経由して印刷する場合は、前もってサーバ側のプリンタ環境を設定しておきます。

☞「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

⑥プリンタドライバをインストールします



プリンタに付属の CD-ROM から、印刷を実行するコンピュータにプリンタドライバをインストールします。

☞「プリンタドライバのインストール」80 ページ

印刷方法を決めます

ネットワーク印刷プロトコルの知識がない方は、次の説明を参考にして、印刷方法を決めてください。

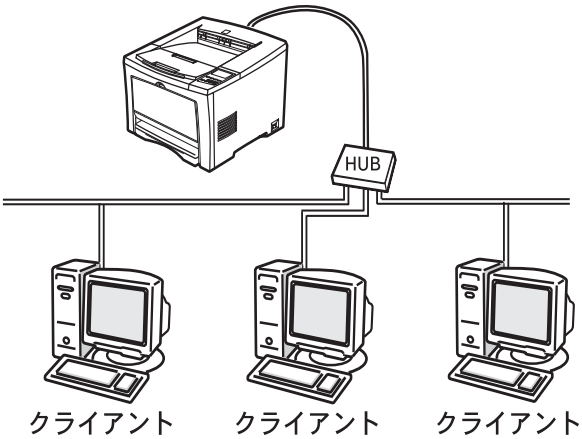
Windows から印刷する場合

プリントサーバ（クライアントに印刷サービスを提供するコンピュータ）として稼働している Windows NT/2000/XP/Server 2003 の有無、印刷を実行するコンピュータの OS などに応じて、印刷方法を決めます。

ポイント

- ここでは、推奨する方法のみ紹介します。" よく分からないけど、印刷できればいい " という方は、お使いの環境に合わせて推奨する方法で印刷してください。
- ここで紹介しているほかにも、以下のページで説明する印刷方法があります。必要に応じてご覧ください。
  「各印刷方法の概要と特長」22 ページ

プリントサーバが設置されていない場合



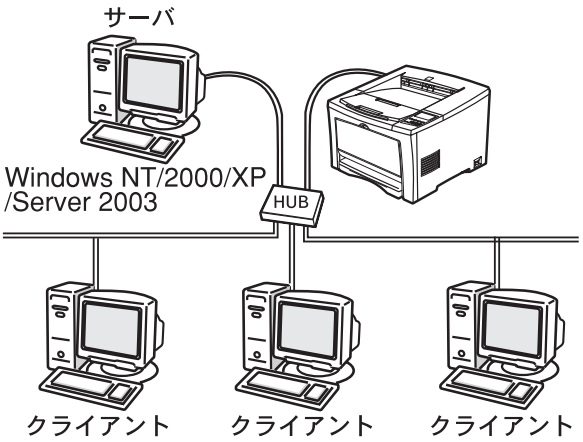
印刷を実行するコンピュータの OS に応じて、次の印刷方法を推奨します。

OS	印刷方法
Windows 95 Windows 98 Windows Me	本製品に付属のユーティリティ「EpsonNet Direct Print」をインストールし、TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）での直接印刷を行います。 詳しくは、「簡単セットアップガイド for Windows」をご覧ください。
Windows NT Windows 2000 Windows XP Windows Server 2003	Windows NT/2000/XP/Server 2003 標準の LPR 印刷機能を使って、TCP/IP での直接印刷を行います。詳しくは以下をご覧ください。 「プリンタドライバのインストール」-「Windows NT の場合」99 ページ 「プリンタドライバのインストール」 -「Windows 2000/XP/Server 2003 の場合」90 ページ

ポイント

- LPR は Windows NT/2000/XP/Server 2003 が標準で備えている印刷機能ですので、特別な印刷ユーティリティは必要ありません。ただし、ネットワークに Windows 95/98/Me や Windows NT/2000/XP/Server 2003 が混在している場合、Windows NT/2000/XP/Server 2003 でも「EpsonNet Direct Print」を利用すると、インストールの手間は増えますが、OS を問わず、ネットワーク印刷の設定を統一することができます。
- ふだん使用していないコンピュータがある場合は、そのコンピュータに Windows NT/2000/XP/Server 2003 をインストールし、LPR 印刷機能を使ったプリンタを共有設定することで、プリントサーバとして機能させることができます。
  この場合クライアントは、OS を問わず共有プリンタに接続することになるため、複数の OS が混在している環境でも、クライアントの印刷設定を統一することができます。

Windows NT/2000/XP/ Server 2003 が設置されている場合



次の印刷方法を推奨します。

- Windows NT/2000/XP/Server 2003 でプリンタを LPR（TCP/IP）接続し、共有設定します。
- クライアントからは、上記の共有プリンタに印刷します。

詳しくは以下のページをご覧ください。

「プリンタドライバのインストール」－「Windows NT の場合」99 ページ
「プリンタドライバのインストール」－「Windows 2000/XP/Server 2003 の場合」90 ページ

Macintosh から印刷する場合

Macintosh の各 OS は、次のプロトコルを使用して印刷することができます。

Mac OS 8.x/9.x

- AppleTalk

Mac OS 10.2.x

- EPSON AppleTalk
- EPSON TCP/IP
- Rendezvous

☞「ネットワーク I/F の設定」ー「Macintosh の場合」40 ページ

各印刷方法の概要と特長

印刷方法の概要

印刷を実行するコンピュータの OS に応じて、次の印刷方法があります。

TCP/IP での直接印刷

インターネットの標準プロトコル（言語）である TCP/IP（ティーシーピー / アイピー）を使用して、コンピュータから印刷データをプリンタに直接送る方法です。

LPR（エルピーアール：Line Printer Remote の略）

Windows NT/2000/XP/Server 2003 が標準で備えている印刷方法です。Windows NT/2000/XP/Server 2003 からネットワークプリンタに印刷する場合、最も一般的な方法です。ルータを越えての利用が可能です。
Windows 95/98/Me には標準で備わっていませんが、本製品付属の印刷ユーティリティ「EpsonNet Direct Print」を使用すると、LPR での印刷が可能になります。

IPP（アイピーピー：Internet Printing Protocol の略）

Windows 2000/XP/Server 2003/Me が標準で備えている印刷方法です。インターネット印刷とも呼ばれる方法で、プロキシサーバ（外部インターネットに代理接続するサーバ）を越えて印刷することができますが、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する方法としては、一般的ではありません。
Windows 95/98/NT には標準で備わっていませんが、印刷ユーティリティ「EpsonNet Internet Print」を使用すると、IPP での印刷が可能になります。

MS Network（Microsoft ネットワークでのプリンタ共有）

Microsoft ネットワーク（ワークグループ）上にプリンタが表示されます。ワークグループを構成している場合に、候補となる方法です。
TCP/IP ではコンピュータ 1 台ずつで各種アドレスの設定が必要ですが、MS Network（エムエスネットワーク）ではその必要がないため、設定が簡単です（ただし Windows XP/Server 2003 の場合は、各種アドレスの設定が必要です）。MS Network は、同一セグメント（ルータを越えない範囲）内のプリンタに印刷する場合に利用できます。ルータを越えての利用はできません。

ポイント

- Windows 2000/XP/Server 2003 で IPP 接続したプリンタは共有設定できませんので、Windows 2000/XP/Server 2003 をプリントサーバとして使う場合、IPP 接続はしないでください。
- MS Network または IPP 印刷の場合、用紙やトナー残量などの状態を確認できるユーティリティ「EPSON プリンタウィンドウ」は使用できませんのでご注意ください。

各印刷方法の長所と短所

各印刷方法の長所と短所は次の通りです。印刷方法を決める際の参考にしてください。

LPR（TCP/IP）

長所	・プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。（Windows NT/2000/XP/Server 2003 では、LPR 接続したコンピュータをプリントサーバとして機能させることができます） ・Windows NT/2000/XP/Server 2003 では、特別な印刷ユーティリティは必要ありません（ただし EpsonNet Direct Print を使うと、インストールの手間は増えますが、Windows 95/98/Me と設定を統一することができます）。 ・EPSON プリンタウィンドウを使って、プリンタの状態をコンピュータ上で確認することができます。 ・Windows NT/2000/XP/Server 2003 では、イベントビューアを使用して印刷ログ（記録）を取ることができます。 ・ルータを越えて利用することができます。
短所	・TCP/IP の設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。 ・Windows 95/98/Me では、印刷を実行するそれぞれのコンピュータに EpsonNet Direct Print をインストールする必要があります。

IPP（TCP/IP）

長所	・プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 ・プロキシサーバを越えての印刷（インターネット上のプリンタへの印刷）が可能です。
短所	・EPSON プリンタウィンドウは使用できません。 ・TCP/IP や DNS などの設定が必要です（TCP/IP 環境では、プリンタを使う以前に必要）。 ・ルーターやプロキシサーバに対して、Port631 を利用可能にするための設定が必要です。 ・Windows 95/98/NT では、印刷を実行するコンピュータ 1 台 1 台に EpsonNet Internet Print をインストールする必要があります。 ・Windows 95/98/NT、Windows 2000/XP/Server 2003、Windows Me で、それぞれ印刷設定が異なり 1 台 1 台に設定する手間がかかります（複数の OS が混在している環境では、設定を統一できません）。 ・Windows 2000/XP/Server 2003 で IPP 接続したプリンタは共有設定できません。

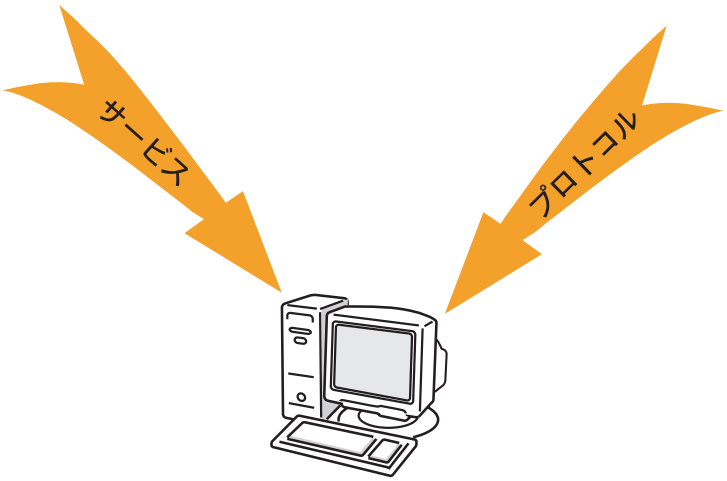
MS Network

長所	・設定が簡単です（アドレス不要。ただし Windows XP/Server 2003 を除く）。 ・プリントサーバ（コンピュータ）が不要です。 ・特別な印刷ユーティリティは必要ありません。 ・数種類の Windows 系 OS が混在している環境でも、各 OS で印刷方法をほぼ統一できます。
短所	・EPSON プリンタウィンドウは使用できません。 ・ルータを越えて利用することはできません。 ・ネットワークプリンタの検索に時間がかかり、印刷が通常よりも遅くなる場合があります（解決方法はありますが、ネットワーク I/F に IP アドレスが必要になります）。 ・Windows XP/Server 2003 の場合は、各種アドレスの設定が必要です。

コンピュータのネットワーク設定

コンピュータからネットワーク I/F の設定や印刷を行うには、前もってコンピュータでネットワークに関する各種設定を行う必要があります。ここでは、その手順を説明します。

Windows 95/98/Me の場合 ..... 25 ページ
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合 ..... 29 ページ
Windows NT4.0 の場合 ..... 33 ページ
Windows NT3.51 の場合 ..... 36 ページ
Macintosh の場合 ..... 40 ページ



Windows 95/98/Me の場合

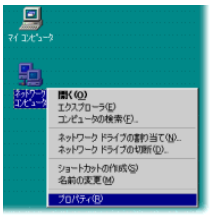
ポイント

■ 設定時、Windows 95/98/Me の CD-ROM が必要な場合があります。

■ LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスが分からない場合は、下記をご覧ください。

☞簡単セットアップガイド for Windows 「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

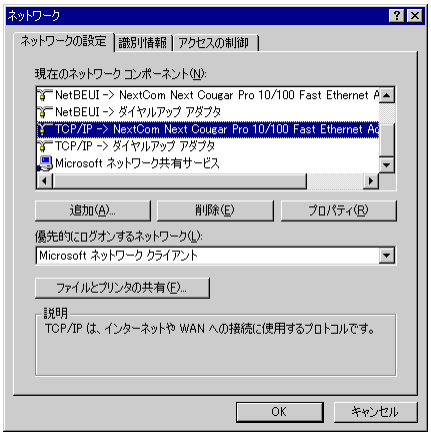
❶ ［ネットワークコンピュータ］または［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。



❷ 下表を参照し、［ネットワークの設定］画面に必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、手順３に進みます。
組み込まれていれば、設定の必要はありません。以下のページへ進んでください。

☞「ネットワーク I/F の設定」44 ページ



付属のユーティリティを使用してネットワーク I/F を設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、IPP、SNMP（IP トラップ）	TCP/IP
MS Network	NetBEUI
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

ポイント

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 95/98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。

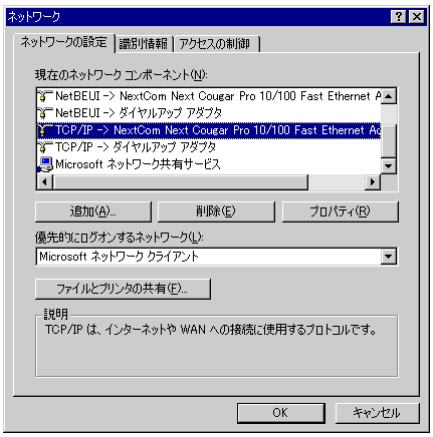
- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

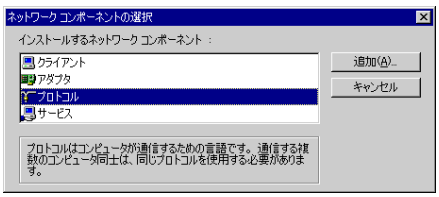
印刷方法	必要なコンポーネント
LPR または IPP 印刷	· TCP/IP
Microsoft ネットワーク共有印刷	· NetBEUI · Microsoft ネットワーククライアント
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 · IPX/SPX 互換プロトコル · NetWare ネットワーククライアントまたはクライアント（NetWare ネットワーク用）

コンポーネントの追加

3 **必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、［追加］ボタンをクリックします。**



4 **下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。**

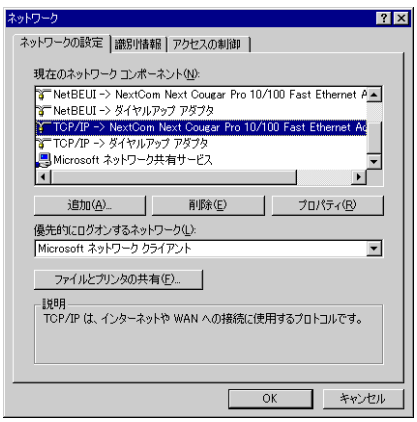


設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、IPP、SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP ：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③手順 5 に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **IPX/SPX 互換プロトコル：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［IPX/SPX 互換プロトコル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR または IPP 印刷	①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［TCP/IP］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。 ③手順 5 に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI ：** ①［プロトコル］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［NetBEUI］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **Microsoft ネットワーククライアント：** ③［クライアント］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ④製造元で［Microsoft］、ネットワーククライアントで［Microsoft ネットワーククライアント］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 ⑤この後は、手順 7 に進みます。
NetWare サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **IPX/SPX 互換プロトコル：** ①［プロトコル］を選択し、［追加］ボタンをクリックします。 ②製造元で［Microsoft］、ネットワークプロトコルで［IPX/SPX 互換プロトコル］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。 **NetWare ネットワーククライアントまたはクライアント (NetWare ネットワーク用)：** ③［クライアント］を選択して［追加］ボタンをクリックします。 ④製造元で［Microsoft］,ネットワーククライアントで［NetWare ネットワーククライアント］または［クライアント (NetWare ネットワーク用)］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。設定が終了したら、［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 ⑤この後は、手順 7 に進みます。

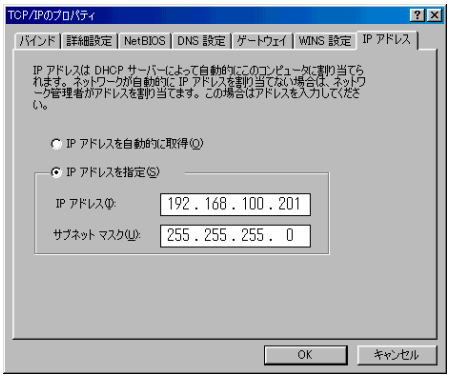
アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

5 **各種アドレスを設定します。追加した［TCP/IP］をダブルクリックします。**



6 **各種アドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

☞「簡単セットアップガイド for Windows」-「IP アドレスは何番に設定する？」



7 **コンピュータを再起動してください。**

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワーク I/F を設定してください。

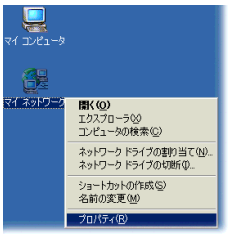
☞「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

ポイント

- 設定時、Windows 2000/XP/Server 2003 の CD-ROM が必要な場合があります。
- Windows XP/Server 2003 では NetBEUI プロトコルを使用しての印刷はサポートされていませんが、Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへの印刷は可能です。この場合、TCP/IP を組み込み IP アドレスを設定しておく必要があります。
- LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスが分からない場合は、以下をご覧ください。
  簡単セットアップガイド「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 ［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。



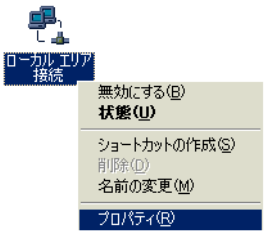
Windows XP/Server 2003 の場合：

①［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

②［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

③［ネットワーク接続］をクリックします。

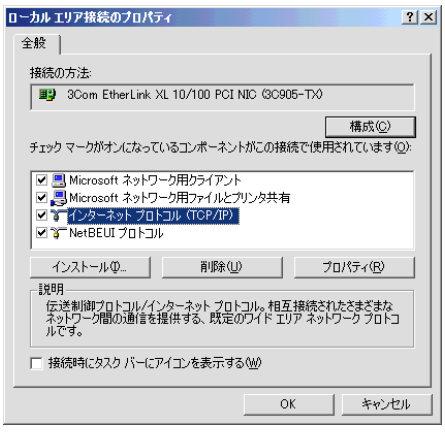
2 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。



3 下表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、手順 4 に進みます。
組み込まれていれば設定の必要はありません。以下のページへ進んでください。

「ネットワーク I/F の設定」44 ページ



付属のユーティリティを使用してネットワーク I/F を設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、IPP、SNMP（IP トラップ）	インターネットプロトコル（TCP/IP）
MS Network	NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 は NetBEUI に対応していません。TCP/IP が必要です）
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

ポイント

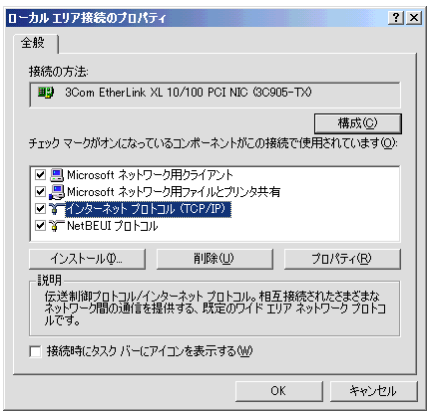
次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 95/98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。
- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJNDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

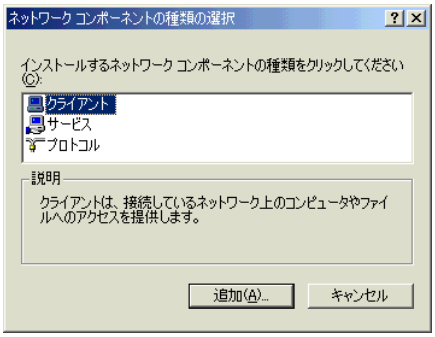
印刷方法	必要なコンポーネント
LPR または IPP 印刷	・インターネットプロトコル（TCP/IP）
Microsoft ネットワーク共有印刷	・NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 は NetBEUI に対応していません。TCP/IP が必要です） ・Microsoft ネットワーク用クライアント
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 ・NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル ・NetWare 用クライアントサービス

コンポーネントの追加

4 **［インストール］ボタンをクリックします。**



❺ 下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

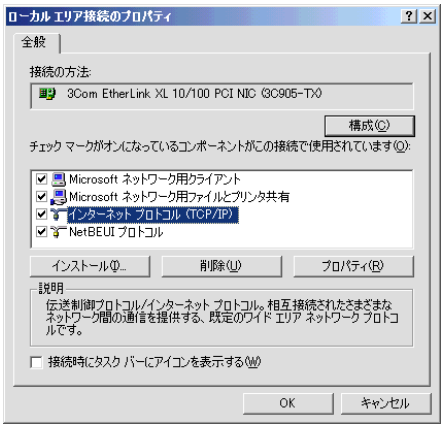


設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、IPP、SNMP（IP トラップ）	**インターネットプロトコル（TCP/IP）：** ①[プロトコル] をダブルクリックし、[インターネットプロトコル（TCP/IP)] をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。 **NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 を除く）：** [プロトコル] をダブルクリックし、[NetBEUI プロトコル] をダブルクリックします。 **NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル：** [プロトコル] をダブルクリックし、[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル] をダブルクリックします。

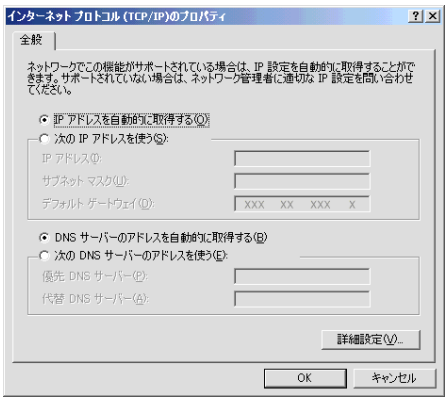
印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR または IPP 印刷	①[プロトコル] をダブルクリックし、[インターネットプロトコル（TCP/IP)] をダブルクリックします。 ②手順 6 に進んでアドレスを設定します。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル（Windows XP/Server 2003 を除く）：** ①[プロトコル] をダブルクリックし、[NetBEUI プロトコル] をダブルクリックします。 **Microsoft ネットワーク用クライアント：** ②[クライアント] をダブルクリックし、[Microsoft ネットワーク用クライアント] をダブルクリックします。 ③インストールしたら、[OK] ボタンをクリックし、手順 8 に進みます。
Netware サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル：** ①[プロトコル] をダブルクリックし、[NWLink IPX/SPX/NetBIOS 互換トランスポートプロトコル] をダブルクリックします。 **NetWare 用クライアントサービス：** ②[クライアント] をダブルクリックし、[NetWare 用クライアントサービス] をダブルクリックします。 ③この後は、手順 8 に進みます。

アドレスの設定（LPR または IPP 印刷のみ）

⑥ 各種アドレスを設定します。追加した［インターネットプロトコル（TCP/IP）］をダブルクリックします。



⑦ 各種アドレスを設定し、［OK］ボタンをクリックします。



⑧ コンピュータを再起動してください。

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワーク I/F を設定してください。

☞「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

Windows NT4.0 の場合

ポイント

- 設定時、Windows NT4.0 の CD-ROM が必要です。
- LPR または IPP 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスが分からない場合は、以下をご覧ください。
  簡単セットアップガイド for Windows「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

1 ［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。

2 下表を参照し、必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、手順３に進みます。
組み込まれていれば、設定の必要はありません。以下のページへ進んでください。

「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

付属のユーティリティを使用してネットワーク I/F を設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、IPP、SNMP（IP トラップ）	［プロトコル］画面：TCP/IP プロトコル
MS Network	［プロトコル］画面：NetBEUI プロトコル
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

ポイント

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 95/98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。
- NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
- NetWare3.xJ リモートプリンタモード
- NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
- NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR または IPP 印刷	［プロトコル］画面：TCP/IP プロトコル ［サービス］画面：Microsoft TCP/IP 印刷
Microsoft ネットワーク共有印刷	［プロトコル］画面：NetBEUI プロトコル ［サービス］画面：ワークステーション
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 ［プロトコル］画面：NWLink IPX/SPX 互換トランスポート ［サービス］画面：Client Service for NetWare

コンポーネントの追加

③ 下表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。

設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、IPP、SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［TCP/IP プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 ③インストールが終了して［閉じる］ボタンをクリックすると、［Microsoft TCP/IP のプロパティ］画面が開いて IP アドレスなどの必要事項を設定できます。設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 **NetBEUI プロトコル：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NetBEUI プロトコル］を選択して［OK］ボタンをクリックします。 **NWLink IPX/SPX 互換トランスポート：** ①［プロトコル］タブをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。 ②［NWLink IPX/SPX 互換トランスポート］を選択して［OK］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR または IPP 印刷	**TCP/IP プロトコル：** ①[プロトコル] タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。 ②[TCP/IP プロトコル] を選択して [OK] ボタンをクリックします。 ③インストールが終了して [閉じる] ボタンをクリックすると、[Microsoft TCP/IP のプロパティ] 画面が開いて IP アドレスなどの必要事項を設定できます。設定が終了したら [OK] ボタンをクリックして画面を閉じます。 **Microsoft TCP/IP 印刷：** ④[サービス] タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。 ⑤[Microsoft TCP/IP 印刷] を選択して [OK] ボタンをクリックします。
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル：** ①[プロトコル] タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。 ②[NetBEUI プロトコル] を選択して [OK] ボタンをクリックします。 **ワークステーション：** ③[サービス] タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。 ④[ワークステーション] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
Netware サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **NWLink IPX/SPX 互換トランスポート：** ①[プロトコル] タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。 ②[NWLink IPX/SPX 互換トランスポート] を選択して [OK] ボタンをクリックします。 **Client Service for NetWare：** ③[サービス] タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。 ④[Client Service for NetWare] を選択して [OK] ボタンをクリックします。

4 **コンピュータを再起動してください。**

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワーク I/F を設定してください。

☞「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

Windows NT3.51 の場合

ポイント

■ 設定時、Windows NT3.51 の CD-ROM が必要です。

■ LPR 印刷を行う場合は、IP アドレスなどの各種アドレスを設定する必要があります。各種アドレスについては、ネットワーク管理者に確認してください。各種アドレスが分からない場合は、以下をご覧ください。

☞簡単セットアップガイド for Windows「ネットワーク共有に必要な環境と基礎知識」

❶ ［メイン］グループの［コントロールパネル］にある［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

❷ 下表を参照し、［ネットワークの設定］画面の［組み込まれているネットワークソフトウェア］に必要なコンポーネントが組み込まれているか確認します。

必要なコンポーネントが組み込まれていない場合は、手順３に進みます。
組み込まれていれば、設定の必要はありません。以下のページへ進んでください。

☞「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

付属のユーティリティを使用してネットワーク I/F を設定する場合

設定内容	必要なコンポーネント
TCP/IP、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	TCP/IP プロトコル
MS Network	NetBEUI プロトコル
NetWare、SNMP（IPX トラップ）	Client32 または IntranetWare Client などの、NetWare Client をインストールしてください。

ポイント

次のモードで使用する場合は、Novell Client for Windows 95/98 Version3.00 および、Novell Client for WindowsNT Version4.50 は使用しないでください。
・NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード
・NetWare3.xJ リモートプリンタモード
・NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード
・NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

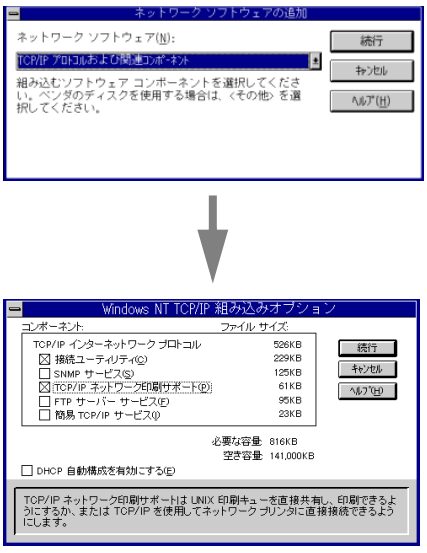
ネットワークプリンタに印刷する場合

印刷方法	必要なコンポーネント
LPR 印刷	· TCP/IP プロトコル · Microsoft TCP/IP 印刷
Microsoft ネットワーク共有印刷	· NetBEUI プロトコル · ワークステーション
NetWare サーバ経由印刷	下記は Microsoft 製のコンポーネントを使用する場合の例です。 · NWLink IPX/SPX 互換トランスポート · NetWare クライアントサービス

コンポーネントの追加

3 **［ソフトウェアの追加］ボタンをクリックします。**

4 **次ページの表を参照し、必要なコンポーネントをインストールします。**



設定内容	コンポーネントのインストール手順
TCP/IP、MS Network、AppleTalk、SNMP（IP トラップ）	**TCP/IP プロトコル：** ①［TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント］を選択し、［続行］ボタンをクリックします。 ②［Windows NT TCP/IP 組み込みオプション］画面が表示されるので、［接続ユーティリティ］と［TCP/IP ネットワーク印刷サポート］をチェックして、［続行］ボタンをクリックします。 ③インストールが終了して［OK］ボタンをクリックすると、［TCP/IP の構成］画面が開いて IP アドレスなどの必要事項を設定できます。 ④設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 **NetBEUI プロトコル：** ［NetBEUI プロトコル］を選択し、［続行］ボタンをクリックして追加します。 **NWLink IPX/SPX 互換トランスポート：** ①［NWLink IPX/SPX 互換トランスポート］を選択し、［続行］ボタンをクリックして追加します。 ②［Windows NT セットアップ］画面が表示されるので、組み込むディレクトリパスを入力し、［続行］ボタンをクリックします。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
LPR 印刷	**TCP/IP プロトコル：** ①［TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント］を選択し、［続行］ボタンをクリックします。 ②［Windows NT TCP/IP 組み込みオプション］画面が表示されるので、［接続ユーティリティ］と［TCP/IP ネットワーク印刷サポート］をチェックして、［続行］ボタンをクリックします。 ③インストールが終了して［OK］ボタンをクリックすると、［TCP/IP の構成］画面が開いて IP アドレスなどの必要事項を設定できます。 ④設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。 **Microsoft TCP/IP 印刷：** ⑤［TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント］を選択し、［続行］ボタンをクリックします。 ⑥［Windows NT TCP/IP 組み込みオプション］画面が表示されるので、［接続ユーティリティ］と［TCP/IP ネットワーク印刷サポート］をチェックして、［続行］ボタンをクリックします。 ⑦この後は画面の指示に従ってください。

印刷方法	コンポーネントのインストール手順
Microsoft ネットワーク共有印刷	**NetBEUI プロトコル：** ①[NetBEUI プロトコル] を選択し、[続行] ボタンをクリックして追加します。 **ワークステーション：** ②[ワークステーション] を選択し、[続行] ボタンをクリックして追加します。
Netware サーバ経由印刷	下記手順は、Microsoft 製コンポーネントを使用する場合の手順です。 **NWLink IPX/SPX 互換トランスポート：** ①[NWLink IPX/SPX 互換トランスポート] を選択し、[続行] ボタンをクリックして追加します。 ②[Windows NT セットアップ] 画面が表示されるので、組み込むディレクトリパスを入力し、[続行] ボタンをクリックします。 **NetWare クライアントサービス：** ③[NetWare クライアントサービス] を選択し、[続行] ボタンをクリックして追加します。 ④[Windows NT セットアップ] 画面が表示されるので、組み込むディレクトリパスを入力し、[続行] ボタンをクリックします。

5 **コンピュータを再起動してください。**

これでコンピュータのネットワーク設定は終了です。次にネットワーク I/F を設定してください。

☞「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

Macintosh の場合

Macinsoth の場合、Mac OS のバージョンによって利用できるプロトコル、および設定方法が異なりますので、ご利用の Mac OS のバージョンをご確認の上、設定してください。

ポイント

Mac OS 8.x/9.x での印刷は、AppleTalk 印刷のみとなります。

Mac OS 8.x/9.x の場合

AppleTalk の設定

1 **［アップル］メニューから［コントロールパネル］-［AppleTalk］を選択します。**

2 **［経由先：］ドロップダウンリストから［Ethernet］を選択します。**

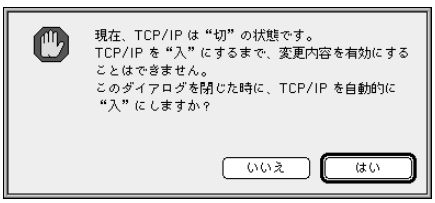
AppleTalk 印刷をする場合や EpsonNet MacAssist でネットワーク I/F を設定するには、上記の設定だけでご利用いただけます。次にネットワークI/F を設定してください。
「ネットワーク I/F の設定」44 ページ

ポイント

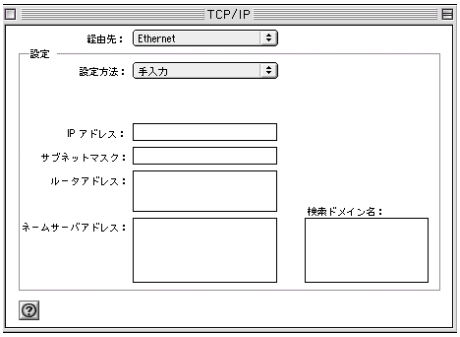
- EpsonNet WebAssist または EpsonNet WebManager を使用したい場合は、コンピュータに IP アドレス等を設定してください。
  「Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順」40 ページ
- EpsonNet MacAssist、EpsonNet WebAssist、EpsonNet WebManager については、以下のページをご覧ください。
  「EpsonNet MacAssist のインストール」50 ページ
  「EpsonNet WebAssist の使い方」161 ページ
  「ネットワーク管理ツールのご案内」198 ページ

Open Transport 使用時の IP アドレス設定手順

1 **［アップル］メニューから［コントロールパネル］-［TCP/IP］を選択します。このとき、次の画面が表示されたら［はい］ボタンをクリックしてください。**



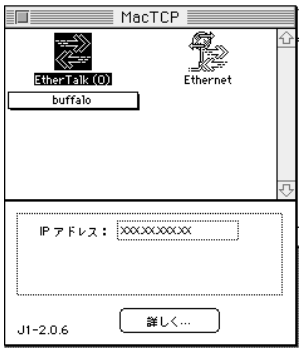
❷ **［経由先：］ドロップダウンリストから［Ethernet］を選択します。［設定方法：］や、設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。**



旧ネットワークソフト使用時の IP アドレス設定手順

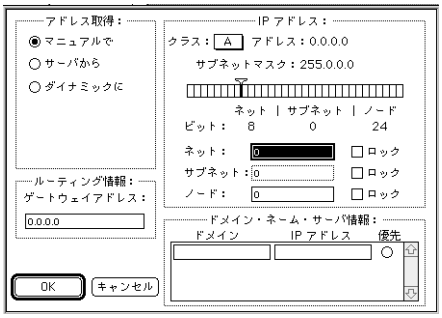
❶ **［アップル］メニューから［コントロールパネル］-［MacTCP］を選択します。このとき、次の画面で IP アドレスが設定されていることを確認してください。**

IP アドレスが設定されていない場合は、［詳しく ...］ボタンをクリックして、手順 2 に進みます。



❷ **表示された画面で必要事項を設定します。設定終了後、［OK］ボタンをクリックします。**

設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。



❸ **［MacTCP］画面（手順 1 の画面）で、IP アドレスを設定します。**

Mac OS X の場合

Mac OS X では、以下のプロトコルを使用した印刷が可能です。
・ EPSON AppleTalk：Mac OS X のバージョン 10.2.x 以降で使用できます。
・ EPSON TCP/IP：Mac OS X のバージョン 10.2.x 以降で使用できます。
・ Rendezvous：Mac OS X のバージョン 10.2.4 以降で使用できます。

ポイント

■ プロトコルの設定を行うには管理者の権限を持つユーザでログインする必要があります。
■ EpsonNet MacAssist を使うには、[AppleTalk] が有効になっている必要があります。
■ EpsonNet WebAssist、EpsonNet WebManager を使うには、コンピュータとネットワーク I/F に、それぞれ IP アドレスなどの設定が必要です。
「TCP/IP の設定」43 ページ

AppleTalk の設定

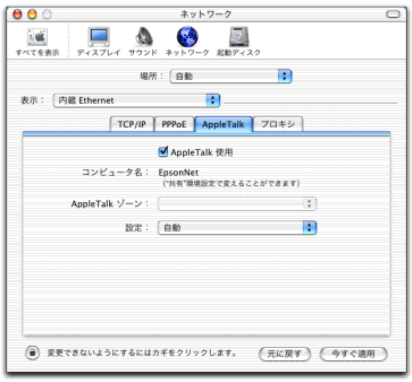
1 **[システム環境設定] の [ネットワーク] - [AppleTalk] タブをクリックします。**

ポイント

[AppleTalk] タブが見当たらない場合は、[ネットワーク] 画面の [表示：] ドロップダウンリストで [内蔵Ethernet] が選択されているかを確認してください。

2 **[AppleTalk] タブで [AppleTalk を使用] にチェックを付け、[今すぐ適用] ボタンをクリックします。**

AppleTalk 印刷をする場合や EpsonNet MacAssist でネットワーク I/F を設定するには、上記の設定だけでご利用いただけます。次にネットワーク I/F を設定してください。
「ネットワーク I/F の設定」44 ページ



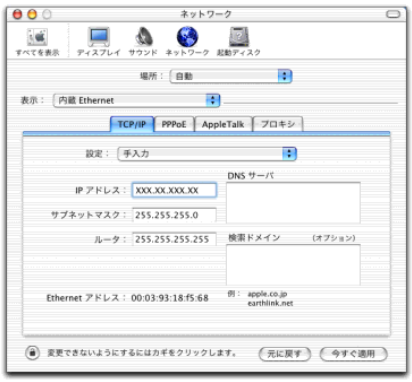
TCP/IP の設定

1 **［システム環境設定］の［ネットワーク］をクリックします。**

> ポイント
> ［ネットワーク］画面の［表示：］ドロップダウンリストで［内蔵 Ethernet］が選択されているかを確認してください。

2 **［TCP/IP］タブで必要事項を設定します。設定終了後、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。**

［設定：］および設定値についてはネットワーク管理者に確認してください。



Rendezvous 機能について

Rendezvous を使用して印刷する場合、Macintosh は DHCP または APIPA などで IP アドレスを取得する必要があります（上記「TCP/IP の設定」を参照）。

> ポイント
> Rendezvous で印刷するには、ネットワーク I/F の「Rendezvous 機能」を有効にする必要があります。
> 「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

ネットワーク I/F の設定

コンピュータのプロトコルを設定したら、ネットワーク I/F の設定をします。
ここではユーティリティを使っての設定方法を説明します。

EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方 ..... 46 ページ
ダイヤルアップルータ使用時の注意 ..... 77 ページ

設定方法の概要

付属のユーティリティを使用してネットワーク I/F の各種設定を行い、印刷可能な状態にセットアップします。

Windows から設定する場合

付属のユーティリティ「EpsonNet WinAssist」をお使いください。
EpsonNet WinAssist では、TCP/IP・NetWare・MS Network・AppleTalk ・IPP・SNMP などの設定ができます。
「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

Macintosh から設定する場合

付属のユーティリティ「EpsonNet MacAssist」をお使いください。
EpsonNet MacAssist では、AppleTalk ・ TCP/IP ・ IPP の設定ができます。
「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

ポイント

- レーザープリンタの場合、機種によっては、プリンタの操作パネルでネットワーク I/F の TCP/IP 設定ができます。操作パネルでの設定方法については、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。
- IP アドレスは、ARP/PING コマンドで設定することもできます。
「ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」215 ページ
ただし、ARP/PING コマンドでは IP アドレスしか設定できません。サブネットマスクやゲートウェイアドレスも設定する場合は、EpsonNet WinAssist を使用してください。
- OS/2、Windows NT3.51 では付属のユーティリティが使えません。ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する場合は、ARP/PING コマンドを使用してください。
「ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定」215 ページ
- 漢字 Talk7.5.x からはネットワーク I/F の IP アドレスは設定できません。

EpsonNet WinAssist/MacAssist の使い方

EpsonNet WinAssist/MacAssist は、コンピュータからネットワーク I/F を設定するためのユーティリティです。
ネットワーク I/F の TCP/IP、NetWare、MS Network、AppleTalk、IPP、SNMP 情報などを設定できます。

動作環境 ..... 47 ページ
EpsonNet WinAssist のインストール ..... 48 ページ
EpsonNet MacAssist のインストール ..... 50 ページ
ネットワーク I/F 設定 ..... 52 ページ
各画面の詳細説明 ..... 57 ページ
各メニューの詳細説明 ..... 68 ページ

動作環境

EpsonNet WinAssist/MacAssistは、次の環境で動作します。

対応機種

次の条件をすべて満たす必要があります。

- 下記のOSが動作する環境
- IBM PC/AT 互換機、PC9801シリーズまたはApple 社 Macintoshシリーズ
- ハードディスクの空き容量が4MB以上であること

対応 OS

- Windows 95/98/Me
- Windows NT4.0 Server/Workstation（サービスパック5以上）
- Windows 2000 Server/Professional
- Windows XP Home Edition/Professional
- Windows Server 2003
- MacOS 8.x/9.x/10.1.x

ポイント

- EpsonNet WinAssistのインストール後に、OSでプロトコルやサービスを追加または削除すると、EpsonNet WinAssistが正常に動作しなくなることがあります。その場合は、一旦EpsonNet WinAssistを削除してから、インストールし直してください。
- 本ネットワークI/Fを設定するためには、必ず本製品に付属のEpsonNet WinAssist/MacAssistをお使いください。

EpsonNet WinAssist のインストール

EpsonNet WinAssist のインストールと起動方法を説明します。

インストール

1 **本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。自動的に［EPSON インストールプログラム］が起動します。**

> ポイント
> ［EPSON インストールプログラム］が自動的に起動しないときは、マイコンピュータの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2 **［EpsonNet ワールド］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

3 **［設定ツール］タブをクリックして、［ネットワーク設定ツール（Windows 用）］の右側の［インストールの実行］をクリックします。**

4 **［ファイルのダウンロード］画面で［このプログラムを上記の場所から実行］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。**

Windows Me/NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は、［ファイルのダウンロード］画面で［開く］ボタンをクリックしてください。

5 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。**

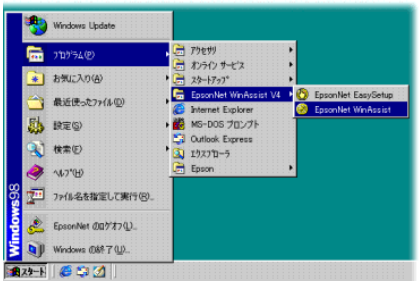
6 **設定に必要なプロトコルが、お使いのコンピュータに組み込まれているか確認してください。**

「コンピュータのネットワーク設定」24 ページ

起動

⑦ プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

⑧ [スタート] ボタンー [プログラム] ー [EpsonNet WinAssist V4] ー [EpsonNet WinAssist] の順にクリックして起動します。



ポイント

NetWare の管理者権限でログインしていない場合は、次の画面が表示されます。

■ NetWare 以外の設定をする場合
このまま設定できますので、[OK] ボタンをクリックして以下に進んでください。
「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

■ NetWare の設定をする場合
管理者権限でログインしないと設定できません。[OK] ボタンをクリックし、EpsonNet WinAssist を終了して、NetWare にログインし直してください。

以下のページに進んで、ネットワーク I/F を設定してください。
「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

EpsonNet MacAssist のインストール

EpsonNet MacAssist のインストールと起動方法を Mac OS 9.x の画面･アイコンを例に説明します。

ポイント

- Mac OS X の場合、専用のユーティリティ「EpsonNet MacAssist for OS X」をインストールしてください。
- Mac OS X にインストールするには管理者の権限を持つユーザでログインする必要があります。
- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。

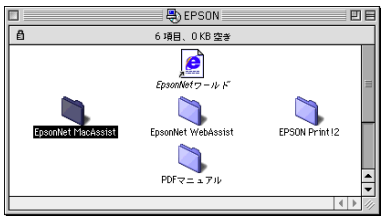
インストール

1 本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。
CD-ROM をセットすると、自動的にディスクのウィンドウが開きます。

ディスクのウィンドウが開かない場合は、ディスクのアイコンをダブルクリックして開いてください。

2 [EpsonNet MacAssist] フォルダをダブルクリックします。

Mac OS X の場合は、[Mac OS X] フォルダをダブルクリックしてください。



3 [EpsonNet MacAssist Installer] アイコンをダブルクリックします。

Mac OS X の場合は［認証］画面が表示されます。パスワードを入力してください。

4 この後は画面の指示に従ってインストールします。

5 [再起動] ボタンをクリックして、コンピュータを再起動します。

起動

6 プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。

7 [Macintosh HD] アイコンをダブルクリックした後、[Applications] または [アプリケーション] フォルダをダブルクリックします。

⑧ **[MacAssist 41x] フォルダをダブルクリックします。**

Mac OS X の場合は［EpsonNet MacAssist OSX 4.1x］フォルダをダブルクリックしてください。

⑨ **［EpsonNet MacAssist］アイコンをダブルクリックして起動します。**

Mac OS X の場合は［EpsonNet MacAssist for OS X ］アイコンをダブルクリックしてください。

この後は次ページに進んで、ネットワーク I/F を設定してください。

ネットワーク I/F 設定

EpsonNet WinAssist/MacAssistを使って、ネットワークI/Fを設定します。EpsonNet WinAssist の画面を例に説明します。EpsonNet MacAssist の場合も手順は同様です。

ポイント

- ダイヤルアップ環境で、ネットワーク I/F を NetWare で使用しない場合は、NetWare 設定画面にある［NetWare を使用する］項目のチェックを外してください。
  NetWare を使用しない場合にチェックが付いていると、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料のかかるおそれがあります。
- NetWare の設定を行う場合は、NetWare の通信プロトコルである IPX を使用し、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに管理者の権限でログインしておいてください。
- NetWare 5.xJ/6.xJ の環境で NetWare を設定する場合、NetWare サーバには IPX 接続でログインしてください。IP 接続でログインすると、NetWare および SNMP の IPX トラップの設定ができません。

1 画面右のリストビューで、設定するプリンタをクリックして選択します。

ポイント

- ネットワーク I/F の IP アドレスが工場出荷時設定の場合、モデル名が表示されないことがあります。この場合は、MAC アドレスで判別します。MAC アドレスはネットワークステータスシートで確認できます。
  「ネットワークステータスシート」204 ページ
- 同一モデルのプリンタが複数台ある場合は、MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
- お使いのコンピュータのローカルネットワーク外にあるプリンタは、［ツール］メニューの［探索オプション］で設定すると、表示されます。
  「探索オプション」71 ページ
- IPX グループにプリンタが表示されない場合は、プリンタの電源がオンになっているか、コンピュータと同一セグメントにプリンタがあるかを確認してください。
- IP アドレスが初期値以外に設定されている場合、［ブラウザの起動］ボタンをクリックすると、EpsonNet WebAssist が起動します。
- お使いの Macintosh が所属するゾーンの外にあるプリンタは、［デバイス］メニューの［探索オプション］で設定すると、表示されます。
  「AppleTalk」74 ページ

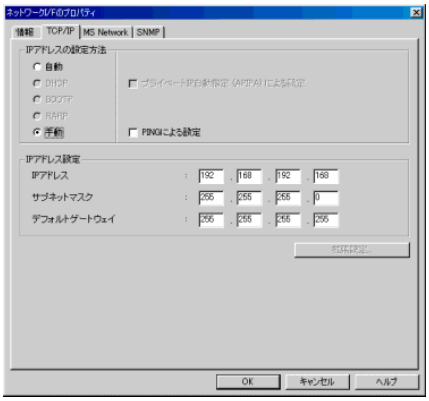
❷ ［設定開始］ボタンをクリックします。
または、設定するプリンタをダブルクリックします。

ポイント

■ ここでは、TCP/IP 情報を設定する場合を例に、説明します。TCP/IP 以外の情報を設定する場合は、以下のページを参照してください。
「各画面の詳細説明」57 ページ

■ Windows XP/Server 2003 で Microsoft ネットワーク上の共有プリンタへ印刷する場合も、TCP/IP 情報を設定してください。

❸ ［TCP/IP］タブをクリックします。
次の画面が表示されます。



❹ **［IP アドレスの設定方法］項目で、［自動］または［手動］を選択します。初期値では［手動］が選択されています。**

ポイント

■ 自動を選択すると、プリンタの電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。そのため、TCP/IP 印刷する場合は［手動］を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。
［自動］を選択する場合は、プリンタの電源を入れる順番を決めておくか、電源を常時オンにすると、電源を入れるたびにプリンタポートを変更する必要はありません。

■ ダイヤルアップ環境でお使いの場合は、以下のページにある注意をご覧の上、設定してください。
「ダイヤルアップルータ使用時の注意」77 ページ

■ 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値をいったん消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワーク I/F の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

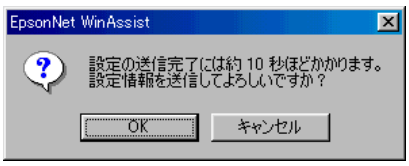
設定項目	設定内容
自動	DHCP または BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に、選択します。デバイスの電源を入れるたびにネットワーク I/F に割り振られる IP アドレスが変更されます。 DHCP または BOOTP サーバのない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
手動	[IP アドレス設定] 項目で IP アドレスを設定する場合に選択します。

5 **[IP アドレス設定] 項目で、PING による設定や各種アドレスを設定します。**

設定項目	設定内容
プライベート IP 自動指定 (APIPA) による設定	このチェックボックスがチェックされていると、DHCP サーバが存在しない場合や応答がないときに、IP アドレスが APIPA （Automatic Private IP Addressing）によって自動設定されます。169.254.0.1 ～ 169.254.255.254 の範囲で設定されます。 IP アドレスの設定方法が手動の場合、またはお使いのネットワーク I/F が APIPA 機能に対応していない場合、この項目はグレー表示され、設定できません。
PING による設定	IP アドレスを ARP/PING コマンドから設定する場合にチェックを付けてください。 EpsonNet WebManager を使う場合は、本項目のチェックを外してください。
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からない場合は以下をご覧ください。 ☞ 「困ったときは」ー「設定する IP アドレスが分からない」185 ページ ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 初期値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値をいったん消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワーク I/F の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。
拡張設定	クリックすると［ 拡張設定 ］画面が表示され、ダイナミック DNS 対応機能とユニバーサルプラグアンドプレイ機能の設定が行えます。 ☞「拡張設定」58 ページ

6 **手順 4 ～ 5 の設定をしたら、[OK] ボタンをクリックします。**

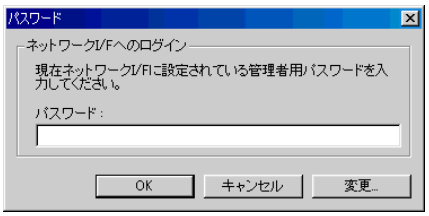
⑦ 表示された画面で［OK］ボタンをクリックします。



⑧ ［パスワード］画面が表示されます。工場出荷時の状態では、パスワードは何も設定されていません。

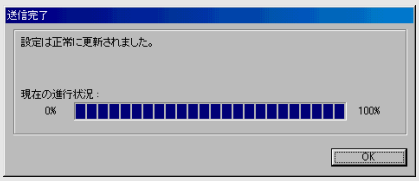
■ パスワードを設定しない場合は、何も入力せずに［OK］ボタンをクリックしてください。設定情報が送信されます。

■ パスワードを設定する場合は、次ページをご覧ください。



ポイント

次の画面で「設定は正常に更新されました。」と表示されるまではネットワークI/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。



⑨ その後、設定が有効になるまで最大 3 分かかりますので、その間はプリンタの電源を切らないでください。3 分ほどしたら、［表示］メニューの［最新の情報に更新］をクリックして、設定値を確認してください。

これでネットワーク I/F の設定は終了です。この後は以下のページに進んでください。
☞「プリンタドライバのインストール」80 ページ

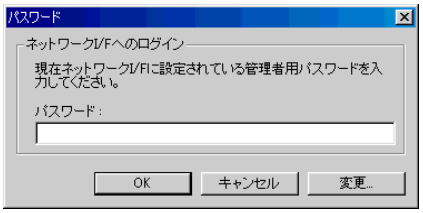
ポイント

TCP/IP の設定が終了したら、本取扱説明書の最後のページにある［メモしておきましょう］を印刷し、設定したアドレスをメモしておくことをお勧めします。

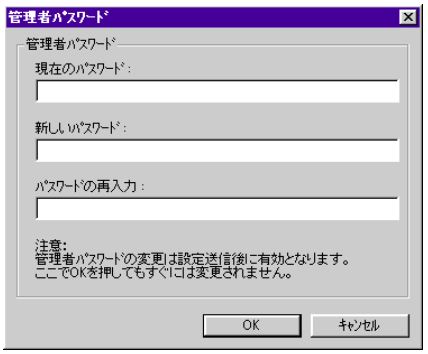
パスワードについて

パスワードは、ネットワーク I/F の設定を保護するためのものです。各設定画面で［OK］ボタンをクリックしたり、［情報］タブで ［工場出荷時の状態に戻す］ボタンをクリックすると、次の画面が表示されます。

1. **初めてパスワードを設定する場合や、パスワードを変更する場合は、［変更］ボタンをクリックします。**
   工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。



2. **［変更］ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、各パスワードを半角英数 20 文字以内で入力して、［OK］をクリックします。大文字・小文字は区別されます。**



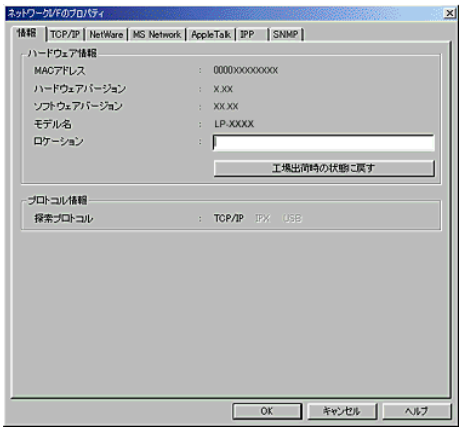
ポイント

- パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- 新しいパスワードは、手順 1 の［パスワード］画面で［OK］ボタンをクリックし、設定送信した後に有効になります。［管理者パスワード］画面で設定した直後は、［パスワード］画面で［現在のパスワード］を入力してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。
  「ネットワーク I/F の初期化」209 ページ

各画面の詳細説明

情報

この画面には、ネットワーク I/F の設定状態が表示されます。



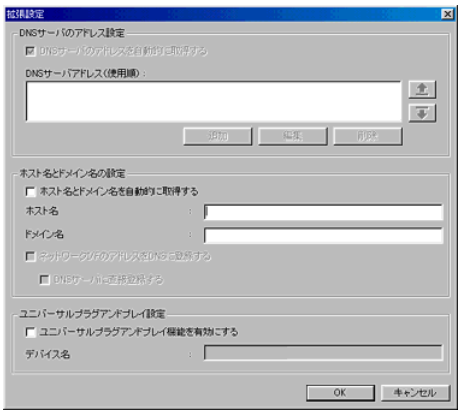
項目	説明
MAC アドレス	ネットワーク I/F の MAC アドレスが表示されます。
ハードウェアバージョン	ネットワーク I/F のハードウェアバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	ネットワーク I/F のソフトウェアバージョンが表示されます。
モデル名	ネットワーク I/F を装着したプリンタの型番が表示されます。
ロケーション	プリンタの設置場所を入力します。
[工場出荷時の状態に戻す] ボタン	ネットワーク I/F を工場出荷時の状態に戻します。
プロトコル情報	探索で使用したプロトコルと、実際に探索で検出されたプロトコルが表示されます。
[OK] ボタン	設定を保存します。
[キャンセル] ボタン	設定を取り消します。
[ヘルプ] ボタン	ヘルプを表示します。

TCP/IP

TCP/IP の設定画面については、以下のページをご覧ください。
☞「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

拡張設定

本製品では、下記の項目を設定できます。



項目	説明
DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	DNS サーバのアドレスを DHCP サーバ経由で自動的に取得する場合にチェックします。DNS サーバのアドレスを手動で設定する場合は、チェックを外して［DNS サーバアドレス］に入力してください。
DNS サーバアドレス（使用順）	［追加］ボタンをクリックして DNS サーバアドレスを入力します。表示されているアドレスを選択後、［編集］／［削除］ボタンをクリックすると、アドレスを編集／削除することができます。［DNS サーバアドレス（使用順）］欄右側の上下矢印をクリックすると、アドレスの使用順序を変更することができます。
ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	ネットワーク I/F のホスト名とドメイン名を自動的に取得する場合に、チェックします。ホスト名とドメイン名を手動で設定したい場合は、チェックを外して［ ホスト名 ］と［ ドメイン名 ］に入力します。 IP アドレスの取得方法が［ 自動 ］に設定されていない場合、この項目は設定できません。
ホスト名	ホスト名とドメイン名を自動的に取得しない場合に、ネットワーク I/F のホスト名を入力します。半角英数の 2 文字以上 63 文字以下で入力してください。 自動的に取得する場合でも、DNS サーバから応答がない場合は、ここで設定したホスト名が使用されます。 Mac OS X のバージョン 10.2.4 以降 で Rendezvous をお使いの場合、ここのホスト名が Rendezvous 名になります。
ドメイン名	ホスト名とドメイン名を自動的に取得しない場合に、ネットワーク I/F のドメイン名を入力します。半角英数の 2 文字以上 252 文字以下で入力してください。 自動的に取得する場合でも、DNS サーバから応答がない場合は、ここで設定したドメイン名が使用されます。
ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する	ダイナミック DNS をお使いの環境で、設定したホスト名とドメイン名を DHCP サーバにより DNS サーバに登録する場合にチェックします。 ネットワーク I/F の IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名はダイナミック DNS によって自動更新されます。 DNS サーバのアドレスとネットワーク I/F の［ ホスト名 ］、［ ドメイン名 ］が自動取得の設定であるか、手動で入力されていないと、設定できません。

項目	説明
DNS サーバに直接登録する	設定したホスト名とドメイン名を直接 DNS サーバへ登録するときにチェックします。IP アドレスの設定方法が自動もしくは手動のどちらでも設定が可能です。
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Windows Me以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows で使用できるユニバーサルプラグアンドプレイ機能をお使いになる場合は、チェックを付けてください。初期値はチェックが付いていません。 ユニバーサルプラグアンドプレイ機能については以下をご覧ください。 ☞「ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」217 ページ
デバイス名	ユニバーサルプラグアンドプレイデバイス名を入力してください。この名称は、ユニバーサルプラグアンドプレイ対応の Windows 上で使用されます。初期値は［プリンタ名＋ MAC アドレスの下 6 桁］です。

NetWare

この画面は EpsonNet WinAssist をお使いの場合のみ表示されます。

ポイント

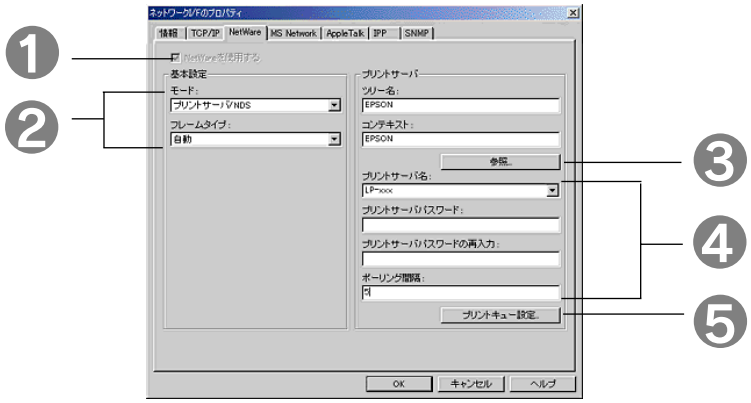
- 設定に使うコンピュータから、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに、管理者権限でログインしておいてください。
- 本ネットワーク I/F に設定されているモードと異なるモードでログインし、EpsonNet WinAssist で NetWare の設定をしようとすると、メッセージが表示されます。現在の設定を変更したくない場合は、［キャンセル］ボタンをクリックして、本ネットワーク I/F に設定されているモードでログインし直してください。

プリントサーバモード

ポイント

EpsonNet WinAssist で設定を保存すると、プリンタオブジェクトは、次の書式で自動的に作成されます。
バインダリモード: PR0（0：ゼロ）
NDS モード: プリントサーバ名__ P0（0：ゼロ）
プリンタ名を変更する場合は、NetWare のユーティリティ PCONSOLE または NWADMIN を使用してください。

画面の右半分は、［モード］項目で［プリントサーバ / バインダリ］または［プリントサーバ /NDS］を選択すると表示されます。
以下の画面は、［プリントサーバ /NDS］モードの場合です。



1 NetWare を使う場合はチェックを付けます。

NetWare 環境でのみお使いの場合、設定は不要です。

2 基本設定をします。

設定項目	設定内容
モード	動作モードを選択します。［プリントサーバ / バインダリ］または［プリントサーバ /NDS］を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 初期値（自動）のままにしておいてください。

ツリーとコンテキストの設定（NDS モードの場合のみ）

バインダリモードの場合は設定不要です（グレー表示か、または表示されません）。

3 ［参照］ボタンをクリックしてプリントサーバのコンテキストを選択します。画面右でプリントサーバの設定をする前に、必ずこの項目を設定してください。

EpsonNet WinAssist を使用するコンピュータに Novell クライアントサービスがインストールされていないと、ここでの設定はできません。

［ツリー名］と［コンテキスト］に設定できる文字数や文字種の制限についての詳細は、 NetWare のマニュアルを参照してください。

設定項目	設定内容
ツリー名	［参照］ボタンをクリックして NDS コンテキストを選択すると、ツリーも選択されます。
コンテキスト	［参照］ボタンをクリックして NDS コンテキストを選択します。

❹ プリントサーバを設定します。

設定項目	設定内容	
	バインダリモード	NDS モード
プライマリ ファイルサーバ名	プリントサーバがログインするファイルサーバを選択します。	設定不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、名前を半角英数 47 文字以内で入力します。	NDS 項目で指定したコンテキストに所属するプリントサーバがリスト表示されますので、プリントサーバを選択します。新規に作成する場合は、半角英数 47 文字以内で名前を入力します。
プリントサーバ パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で入力します。 詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。	
プリントサーバ パスワードの再入力	パスワードを再入力します。	
ポーリング間隔	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を 5 ～ 90 秒の間で設定します。 詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。	
［プリントキュー設定 ］ボタン	キューの設定をします。詳しくは手順 5 をご覧ください。 PCONSOLE や NWADMIN、旧ユーティリティ (Epson Net!2 for Windows/Intranet) ですでにキューを割り当ててある場合は、ここで再度、キューの割り当てをしてください。	

プリントキュー設定

❺ 手順 4 で［プリントキュー設定］ボタンをクリックすると次の画面が表示されますので、ここでネットワーク I/F へ割り当てるキューの選択や作成を行います。

ポイント

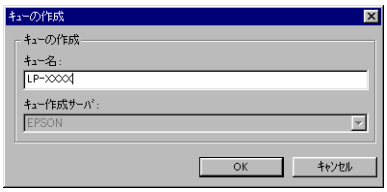
NDS モードの場合、ここでは、［コンテキスト］項目で設定したコンテキストより上のコンテキストに対しても、キューを設定できます。その場合は、キューを設定したコンテキストに対して管理者の権限を持っている必要があります。

⑥ 割り当てるキューを選択します。［参照］ボタンをクリックします。

既存のキューを割り当てる場合

プリントキューを選択して［OK］ボタンをクリックします。

キューを新規作成する場合

バインダリモード	NDS モード
① キューを新規作成するファイルサーバを右クリックし、［キューの作成］をクリックします。 ② 下の画面が表示されますので、［キュー名］を半角英数 47 文字以内で入力し、［OK］ボタンをクリックします。プリンタを特定しやすい名称で入力してください。  この後は⑥に進みます。	① キューを新規作成するコンテキストを右クリックし、［キューの作成］をクリックします。 ② 下の画面が表示されますので、［キュー名］を半角英数 47 文字以内で入力します。プリンタを特定しやすい名称で入力してください。 ③［参照］ボタンをクリックし、コンテキストを選択します。 ④ ボリュームを変更したい場合は、リストボックスの［▼］をクリックして選択します。 ⑤［OK］ボタンをクリックします。

⑥ 確認画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

⑦［一覧］画面に戻ります。作成したキューを選択し、［OK］ボタンをクリックします。

⑧［キューの設定］画面に戻るので、［追加］ボタンをクリックします。キューの一覧に、追加したキューが表示されます。

⑨［OK］ボタンをクリックします。

キューの割り当てを削除する場合

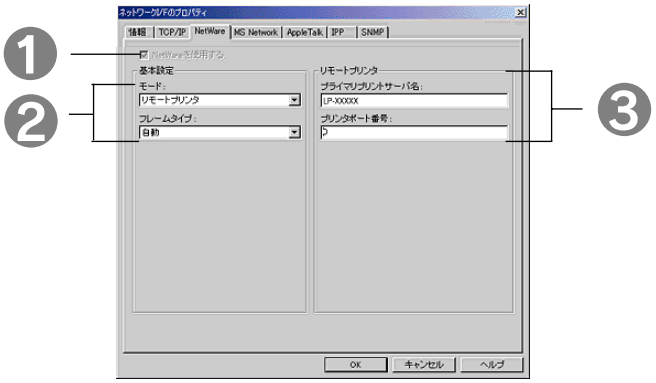
キュー一覧で解除するキューを選択し、［削除］ボタンをクリックします。

リモートプリンタモード

NDPS ゲートウェイをお使いの場合も、この画面で設定します。

ポイント

- NetWare 環境で使用するためのプリンタ環境の設定は、前もって行っておいてください。
  「NetWare サーバの設定」118 ページ
- NDPS ゲートウェイの場合、ここでの操作は、［リモート（IPX 上で rprinter)］をお使いの場合のみ設定してください。［リモート（IP 上で LPR)］、［ジョブをキューに転送］をお使いの場合は設定不要です。
  画面の右半分は、［モード］項目で［リモートプリンタ］を選択すると表示されます。



1 NetWare を使う場合はチェックを付けます。

NetWare 環境でのみお使いの場合、設定は不要です。

2 基本設定をします。

設定項目	設定内容
モード	動作モードを選択します。［リモートプリンタ］を選択してください。
フレームタイプ	使用するフレームタイプを選択します。 初期値（自動）のままにしておいてください。

ポイント

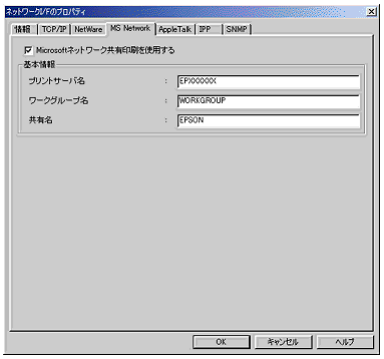
［NDS］項目の、ツリー名とコンテキストは設定不要です（表示されません）。

❸ リモートプリンタの設定

設定項目	設定内容
プライマリプリントサーバ名	PCONSOLE または NWADMIN で作成したプリントサーバ名を入力します。 NDPS ゲートウェイの場合は、NetWare で設定した SAP 名と同じ名前を、半角英数 47 文字以内で入力します。
プリンタポート番号	PCONSOLE または NWADMIN で設定した、リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。 NDPS ゲートウェイの場合は、NetWare で設定したプリンタ番号と同じ番号を、0 ～ 254 の数字で設定します。

MS Network

この画面は EpsonNet WinAssist をお使いの場合のみ表示されます。



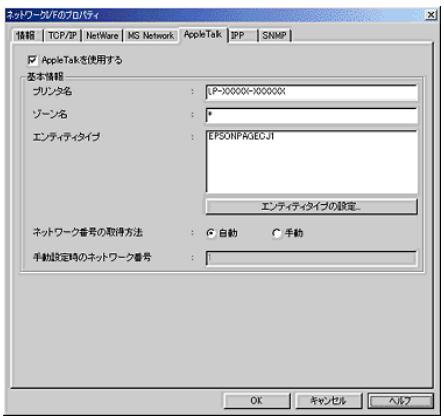
設定項目	設定内容
Microsoft ネットワーク共有印刷を使用する	MS Network を使う場合はチェックを付けます。 他のプロトコルを使用せず MS Network 環境でのみお使いの場合、設定は不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を半角英数 15 文字以内で入力します。ネットワーク上にある他のコンピュータと重複しないようにしてください。 初期値：EP + ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワークで使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
共有名	プリンタの共有名を半角英数 12 文字以内で入力します。LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。 ネットワーク （ ワークグループ ） 上では、この名前がプリンタ名として表示されますので、クライアントがプリンタを特定しやすい名称にしておいてください。

AppleTalk

ポイント

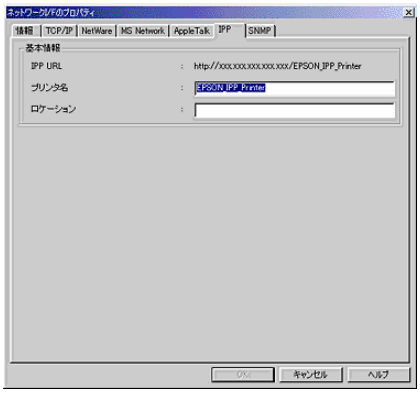
EpsonNet WinAssist での AppleTalk の設定は、以下のいずれかの条件にあてはまる場合に使用できます。

- ネットワーク I/F に初期値以外の IP アドレスが設定されている
  「ネットワーク I/F 設定」52 ページ
- 設定に使うコンピュータから、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに、管理者権限でログインしている
- 設定に使うコンピュータに共有サービスがインストールされている



設定項目	設定内容
AppleTalk を使用する	AppleTalk を使う場合はチェックを付けます。
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で入力します。 セレクタでは、この名前がプリンタ名として表示されますので、プリンタや設置場所が特定しやすい名称にしておいてください。 初期値 : プリンタ名 - ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ゾーン名	ゾーン名を入力します。 ［ネットワーク番号の取得方法］で［自動］を選択した場合、＊を入力すると自動的に設定されます。
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプが表示されます。
［エンティティタイプの設定］ボタン	エンティティタイプが表示されない場合は、このボタンをクリックしてエンティティタイプを入力します。
ネットワーク 番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は［自動］を選択します。
手動設定時のネットワーク番号	上の項目で［手動］を選択した場合に、0 ～ 65534 の番号を入力します。

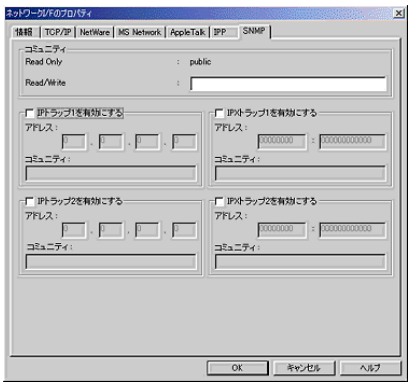
IPP



設定項目	設定内容
IPP URL	IPP 印刷時のポートとなる URL が表示されます。 クライアントがプリンタのポートを指定するときは、この文字列を入力します。クライアントにこの URL を知らせてください。 書式）http:// ネットワーク I/F の IP アドレス :631/ 下記の項目で設定したプリンタ名
プリンタ名	プリンタ名を入力します。入力したプリンタ名は、[IPP URL] に反映されます。半角英数 127 文字または全角 63 文字以内で入力してください。 初期値は EPSON_IPP_Printer です。変更する場合は、プリンタを特定しやすい名前を入力します。
ロケーション	プリンタの設置場所を、半角英数 64 文字または全角 32 文字以内で入力してください。

SNMP

この画面は EpsonNet WinAssist をお使いの場合のみ表示されます。
SNMP コミュニティやトラップ情報の設定ができます。IP トラップと IPX トラップは、それぞれ 2 つまで設定できます。



コミュニティ

設定項目	設定内容
Read Only	public と表示されます。
Read/Write	MIB Read/Write 権を持つコミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。入力した文字は ‘✱’ で表示されます。

IP トラップ 1 / IP トラップ 2

設定項目	設定内容
IP トラップ 1 を有効にする /IP トラップ 2 を有効にする	IP トラップを有効にする場合にチェックを付けます。
アドレス	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
コミュニティ	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。入力した文字は ‘✱’ で表示されます。

IPX トラップ 1 / IPX トラップ 2

設定項目	設定内容
IPX トラップ 1 を有効にする /IPX トラップ 2 を有効にする	IPX トラップを有効にする場合にチェックを付けます。
アドレス	トラップ送信先の IPX アドレスを入力します。 書式） ネットワークアドレス : ノードアドレス（MAC アドレス）
コミュニティ	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。入力した文字は ‘✱’ で表示されます。

各メニューの詳細説明

メニューバー

メニューバーの各項目を説明します。

EpsonNet WinAssist

メニュー	項目	説明
デバイス	設定	選択したネットワーク I/F の設定を開始します。
	ブラウザの起動	IP アドレスが初期値以外に設定されている場合、ここから EpsonNet WebAssist を起動できます。通常は使用する必要はありません。
	アプリケーションの終了	EpsonNet WinAssist を終了します。
表示	最新の情報に更新	プリンタの再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。
ツール	タイムアウト設定	ネットワーク I/F とデータを送受信する際のタイムアウト時間を設定します。 設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。 詳しくは 70 ページをご覧ください。
	探索方法	ネットワーク I/F の探索で使用するプロトコルを選択できます。
	探索オプション	IP: IP の探索オプションを設定します。詳しくは 71 ページをご覧ください。 IPX: IPX の探索オプションを設定します。詳しくは 73 ページをご覧ください。
	ファームウェアアップデート	ファームウェアのアップデートを行います。 通常は使用する必要はありません。詳しくは 74 ページをご覧ください。
ヘルプ	トピックの検索	ヘルプを表示します。
	バージョン情報	バージョン情報と著作権情報を表示します。

EpsonNet MacAssist

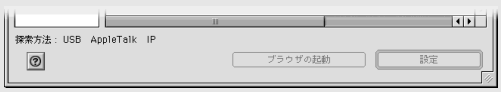
Mac OS 8.x/9.x のメニューバー

Mac OS X のメニューバー

メニュー	項目	説明
アップルメニュー（Mac OS 8.x/9.x） EpsonNet MacAssist for OS X（Mac OS X）	EpsonNet MacAssist について ...	EpsonNet MacAssist のバージョンを表示します。
	EpsonNet MacAssist for OS X の終了	EpsonNet MacAssist for OS X を終了します。
ファイル	閉じる 終了（Mac OS 8.x/9.x）	EpsonNet MacAssist を終了します。
編集	カット、コピー、ペースト、消去、すべてを選択	［ネットワークのプロパティ］画面での文字入力時にアクティブになります。
デバイス	設定	選択したネットワーク I/F の設定を開始します。
	ブラウザの起動	IP アドレスが初期値以外に設定されている場合、ここから EpsonNet WebAssist を起動できます。通常は使用する必要はありません。
	最新の情報に更新	プリンタの再検索を行い、リスト画面の一覧表示を最新の情報に更新します。
	タイムアウト設定	ネットワーク I/F とデータを送受信する際のタイムアウト時間を設定します。 設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。詳しくは次ページをご覧ください。
	探索方法の選択	ネットワーク I/F の探索で使用するプロトコルを選択できます。
	探索オプション	AppleTalk: AppleTalk の探索オプションを設定します。詳しくは 74 ページをご覧ください。
		IP: IP の探索オプションを設定します。詳しくは 71 ページをご覧ください。

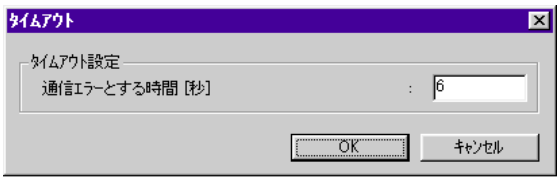
ポイント

EpsonNet MacAssist の場合、起動画面の ? をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。画面は Mac OS 9 を例としています。



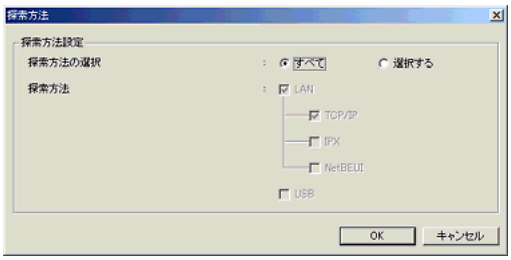
タイムアウト設定

通常は変更する必要はありません（画面は EpsonNet WinAssist の例です）。
探索オプションで、他のセグメントを探索するよう設定した結果、通信エラーが表示された場合に、タイムアウト時間を長めに設定してください。
EpsonNet WinAssist の場合は、2 ～ 120 秒の間で設定してください（初期値は 6 秒）。
EpsonNet MacAssist の場合は、3 ～ 99 秒の間で設定してください（初期値は 5 秒）。
ここで設定した時間を超えた場合は、通信エラーになります。なお、タイムアウト時間を長くすると、探索に時間がかかります。



探索方法 / 探索方法の選択

ネットワーク I/F の探索で使用するプロトコルを選択できます（画面は EpsonNet WinAssist の例です）。
プロトコルを指定すると、そのプロトコルで管理されているネットワーク I/F だけが探索されます。[探索方法の選択] の [すべて]（EpsonNet MacAssist の場合は [すべて使用する] ボタン）をクリックすると、すべてのプロトコルを使用して探索されます。



ポイント

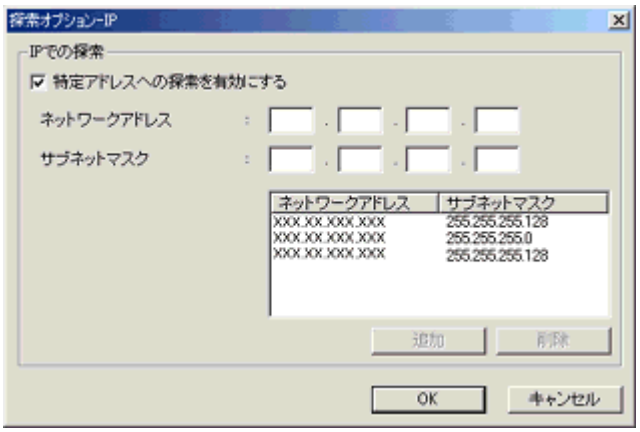
Windows XP/Server 2003 では、NetBEUI がサポートされていません。そのため、EpsonNet WinAssist を Windows XP/Server 2003 にインストールしてお使いの場合、NetBEUI は探索方法としてサポートされません。

探索オプション

他セグメント / ゾーンにあるプリンタを設定したい場合は、ここでセグメント（ネットワークアドレス）ゾーンを指定します。
ここでの設定内容は、EpsonNet WinAssist Easy Setup/MacAssist Easy Setup では無効です。EpsonNet WinAssist Easy Setup については、簡単セットアップガイド for Windows をご覧ください。

IP

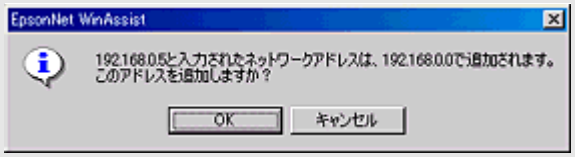
EpsonNet WinAssist の [ツール] メニュー-[探索オプション]-[IP]、または EpsonNet MacAssist の [デバイス] メニュー -[探索オプション]-[IP] を選択します（画面は EpsonNet WinAssist の例です）。
ネットワーク I/F を TCP/IP で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときには、ここで特定のネットワークアドレスを設定すると、設定したセグメントにあるネットワーク I/F が探索されます。
ここで設定して保存した値は、[表示] /[デバイス] メニューの [最新の情報に更新] を実行するか、EpsonNet WinAssist/MacAssist を再起動したときに有効になります。



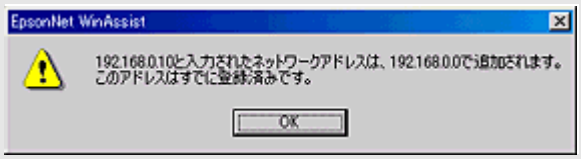
探索したいセグメントのネットワークアドレスを入力します。
ホスト部のビットをすべて 0 にしたアドレスを入力してください。
入力例：
探索するセグメントのサブネットマスクが 255.255.255.0（クラス C）、ネットワーク I/F の IP アドレスが 192.168.1.5 の場合、ネットワークアドレスには 192.168.1.0 と入力します。

ポイント

■ ホスト部のすべてのビットが 0 でないアドレスを追加しようとすると、次のメッセージが表示されます。[OK] ボタンをクリックすると、ホスト部のビットをすべて 0 に修正したアドレスが追加されます。



■ ホスト部のビットをすべて 0 にした場合に、同一となるアドレスがすでに登録されている場合は、次のメッセージが表示され、追加されません。



IPX

EpsonNet WinAssist で使用できます。EpsonNet WinAssist の [ツール] メニュー -[探索オプション]-[IPX] を選択します。
EpsonNet WinAssist でネットワーク I/F を IPX（NetWare）で管理している場合に、ローカルネットワークの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときには、ここでネットワーク I/F のネットワークアドレスを設定します。
ここで設定して保存した値は、［表示］メニューの［最新の情報に更新］を実行するか、EpsonNet WinAssist を再起動したときに有効になります。

ポイント

- IPX の探索は、NetWare サーバに管理者の権限でログインしている場合に、行うことができます。
- ネットワークアドレスは、ネットワークステータスシートの［NetWare］項目にある［Network Address］をご覧ください。
- ダイヤルアップネットワークをお使いの場合、探索しないアドレスを探索アドレスに登録したままにしておくと、余分な課金が発生するおそれがありますので、ご注意ください。

1 ［特定アドレスへの探索を有効にする］にチェックを付けます。

他セグメントのプリンタを設定しない場合はチェックしないでください。探索に時間がかかります。

2 ［ネットワークアドレス一覧］から、探索するネットワークアドレスを選択（クリック）し、［追加］ボタンをクリックします。

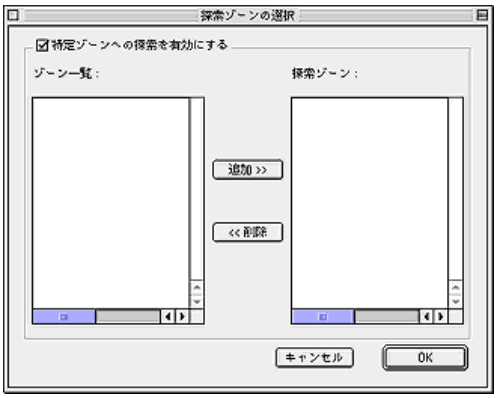
追加されたアドレスは、［探索アドレス］に表示されます。最大 256 個追加できます。

3 ［OK］ボタンをクリックして、設定を保存します。

設定したアドレスを削除する場合は、［探索アドレス］から削除するアドレスを選択して、［削除］ボタンをクリックします。

AppleTalk

EpsonNet MacAssist で使用できます（画面は Mac OS 9 の例です）。EpsonNet MacAssist の [デバイス] メニュー -[探索オプション]-[AppleTalk] を選択すると、探索するゾーンの選択画面が表示されます。ゾーン名は最大 2000 まで表示されます。お使いの Macintosh が所属するゾーンの外にあるネットワーク I/F を表示、設定したいときは、ここでゾーンを追加すると、そのゾーンについても探索されます。ここでの設定は、EpsonNet MacAssist を再起動したときに有効になります。



探索したいゾーンを追加するときは、［ゾーン一覧］でゾーンを選択（クリック）して［追加］ボタンをクリックします。探索が不要になったゾーンは、［探索ゾーン］で選択して［削除］ボタンをクリックします。［OK］をクリックして、設定を保存します。

ツール－ファームウェアアップデート

EpsonNet WinAssist を使ってネットワーク I/F のファームウェアをアップデートする際に使用する機能です。
ファームウェアアップデートに使用するアップデートファイルは、エプソン販売のホームページからダウンロードしてください。
http://www.i-love-epson.co.jp/

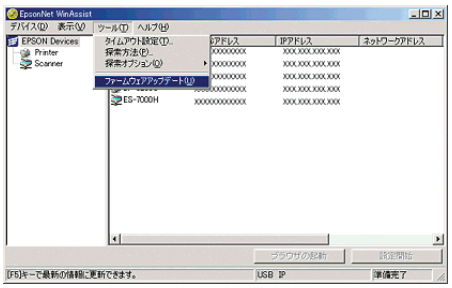
ポイント

- Adobe Acrobat をお使いの方は上記ホームページをご覧になる前に、Adobe Acrobat の［ファイル］/［編集］メニュー -［環境設定］-［Web Capture］の順にクリックし、［Web リンクを開く］を［Web ブラウザ内］/［Web ブラウザで開く］に設定してください。
- EpsonNet MacAssist ではファームウェアアップデートは使用できません。
- Macintosh のみの環境でお使いの場合は、エプソン販売のホームページでアップデート方法を紹介しておりますので、そちらをご覧ください。

EpsonNet WinAssist を使ってのファームウェアアップデートの手順は次の通りです。

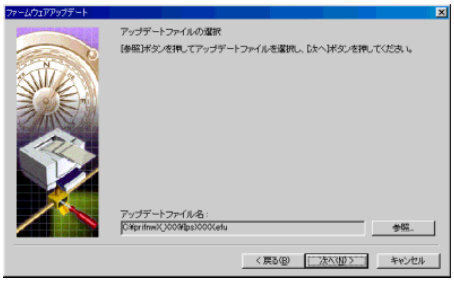
❶ 上記ホームページからダウンロードしたアップデートファイルを、デスクトップ上（または任意に作成したフォルダ）に解凍します。

❷ ［ツール］メニューから、［ファームウェアアップデート］をクリックします。



❸ 画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

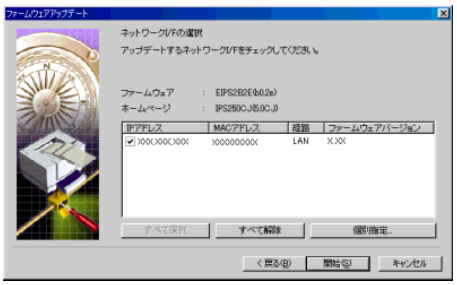
❹ ［参照］ボタンをクリックして、手順 1 で保存したアップデートファイルを選択してください。



❺ ［次へ］ボタンをクリックします。

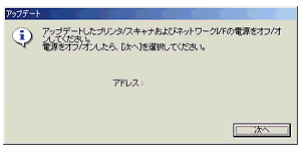
❻ アップデートするネットワーク I/F をチェックして選択します。

IP アドレスを追加して指定する場合は、［個別指定］ボタンをクリックして指定してください。



❼ ［開始］ボタンをクリックし、表示された画面で［OK］ボタンをクリックします。

❽ 右の画面が表示されたら、プリンタの電源をオフにし、再度オンにしてください。



⑨ 電源をオンにしたら、［次へ］ボタンをクリックします。

⑩ ［アップデートを完了しました。］と表示されたら、アップデートは終了です。［完了］ボタンをクリックします。

⑪ 表示される画面で［OK］ボタンをクリックします。

アップデートがうまくいかなかった場合、対処方法についてはエプソン販売のホームページをご覧ください。

ダイヤルアップルータ使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップルータを使用する場合の、設定の注意点を説明します。

DHCP 機能使用時の注意..... 78 ページ
Web ブラウザの設定についての注意..... 79 ページ

DHCP 機能使用時の注意

DHCP 機能をお使いの場合、DHCP 機能でプリンタに IP アドレスを設定すると、プリンタの電源を入れるたびに、プリンタを使う人がプリンタポートの設定を変更しなければなりません。
そこで、プリンタには次のいずれかの方法で固定の IP アドレスを設定することをお勧めします。

方法 1：

プリンタまたはネットワーク I/F に、スコープ（クライアントに割り当てる IP アドレスの範囲）の範囲外である IP アドレスを、手動で設定する。
IP アドレスの設定は、EpsonNet WinAssist/ MacAssist/EpsonNet WebAssist で行えます。
☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ
☞「EpsonNet WebAssist の使い方」161 ページ

方法 2：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能のバインドを使用して、プリンタまたはネットワーク I/F を特定する。

方法 3：

ダイヤルアップルータ DHCP 機能の除外アドレスを設定する。

- Microsoft ネットワーク共有印刷の場合は、上記のような設定が不要のため、簡単な設定でプリンタを使用できます。
- DHCP 機能のスコープ範囲、バインド、除外アドレス設定方法などはダイヤルアップルータの取扱説明書をご覧ください。

Web ブラウザの設定についての注意

EpsonNet WebAssist を使う場合、Web ブラウザはプロキシサーバを使用しない設定にしてください。
ここでは Internet Explorer を例に説明します。

1. **デスクトップ上にある［Internet Explorer］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

2. **表示された画面で、［接続］タブをクリックします。**

3. **［LAN の設定］ボタンをクリックします。**
［プロキシサーバを使用する］または［プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス］のチェックを外します。

> ポイント
> ［プロキシサーバを使用する］または、［プロキシサーバを使用してインターネットにアクセス］にチェックが付いていると、EpsonNet WebAssist が起動できません。

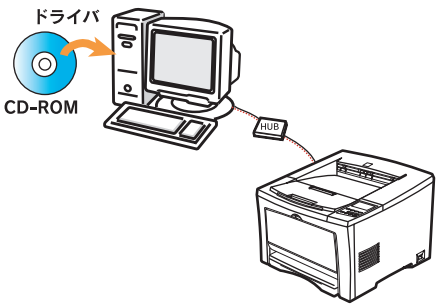
プリンタドライバのインストール

ネットワークに接続したプリンタに印刷するには、プリンタドライバのインストールが必要です。ここではインストールの手順を説明します。

Windows 95/98/Me の場合 ..... 81 ページ
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合 ..... 90 ページ
Windows NT の場合 ..... 99 ページ
Mac OS 8.x/9.x の場合 ..... 111 ページ
OS/2 の場合 ..... 114 ページ

Windows の場合、プリンタドライバを自動配信する機能を利用すると、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。詳しくは以下のページをご覧ください。

「プリンタドライバの自動インストール」196 ページ



Windows 95/98/Me の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

☞「LPR 印刷の場合」81 ページ
☞「IPP 印刷の場合（Windows 95/98）」81 ページ
☞「IPP 印刷の場合（Windows Me）」82 ページ
☞「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」94 ページ

LPR 印刷の場合

Windows 95/98/Me は TCP/IP での LPR 印刷システムを持たないため、標準での TCP/IP 印刷はできませんが、本製品付属のユーティリティ EpsonNet Direct Print を使って、エプソン製プリンタへの TCP/IP（LPR）直接印刷ができます。
この場合は EpsonNet Direct Print をインストールしてから、プリンタドライバをインストールします。以下のページを参照してください。

☞「EpsonNet Direct Print の使い方」150 ページ

IPP 印刷の場合（Windows 95/98）

Windows 95/98 で IPP 印刷するには、IPP 直接印刷ツール「EpsonNet Internet Print」をエプソン販売のホームページからダウンロードする必要があります。
詳しくは以下のページをご覧ください。

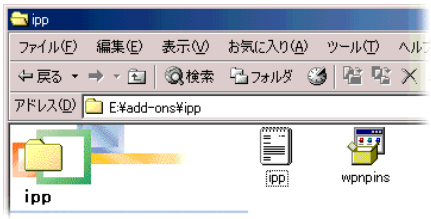
☞「EpsonNet ソフトウェアのご案内」12 ページ

IPP 印刷の場合（Windows Me）

IPP クライアントのインストール

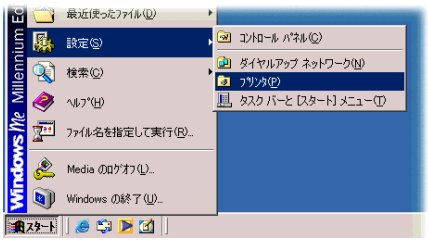
1. Windows Me の CD- ROM をセットします。

2. CD-ROM ドライブにある［add- ons］-［ipp］フォルダの［wpnpins］をダブルクリックします。後は、画面の指示に従ってインストールしてください。

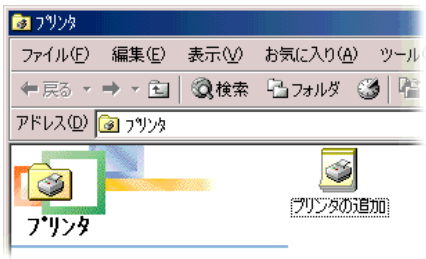


プリンタの追加

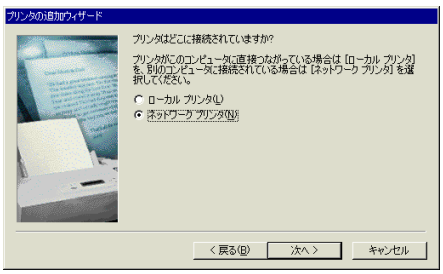
1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。



2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。

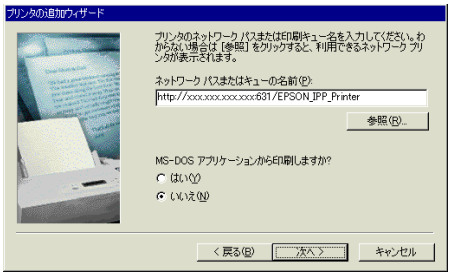


3. ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



❹ ［ネットワークパスまたはキューの名前］に次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

書式）http:// ネットワーク I/F の IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer



ポイント

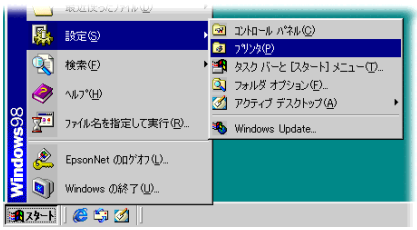
上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワーク I/F の設定をした方に、名称を確認してください。

❺ この後は以下のページに進んでください。

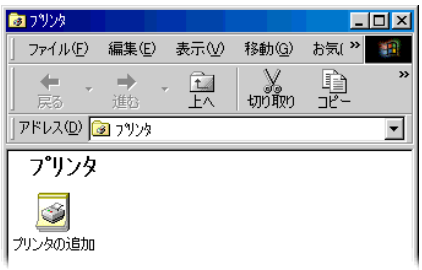
「プリンタドライバのインストール」86 ページ

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

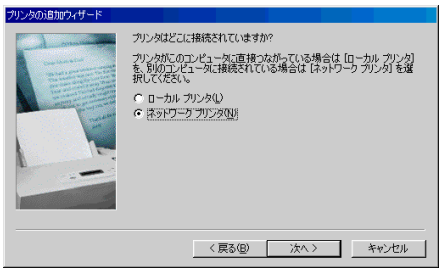
❶ ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。



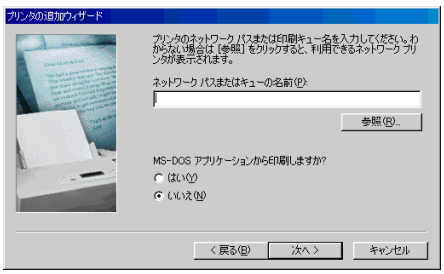
❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、画面が表示されたら［次へ］ボタンをクリックします。



❸ ［ネットワークプリンタ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。



❹ ［参照］ボタンをクリックします。



5 表示されるリストからプリンタを選択して、[OK] ボタンをクリックします。
ここで選択するプリンタ名については、ネットワーク I/F の設定をした方にご確認ください。

ポイント

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、[キャンセル] をクリックし、手順 4 の画面で次のように入力します。
  ¥¥(ネットワーク I/F のプリントサーバ名)¥(ネットワーク I/F の共有名)
  これらの名前は、ネットワーク I/F の設定をした方に確認してください。
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーパブリックアクセスプリンタの場合
  [Ndps パブリックアクセスプリンター] というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーコントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

6 **[プリンタの追加ウィザード] 画面が表示されたら、[次へ] ボタンをクリックします。**

Windows 95 の場合は、[プリンタウィザード] 画面が表示されます。

7 **この後は以下のページに進んでください。**

「プリンタドライバのインストール」86 ページ

プリンタドライバのインストール

❶ コンピュータに、プリンタに付属のソフトウェア CD-ROM をセットします。

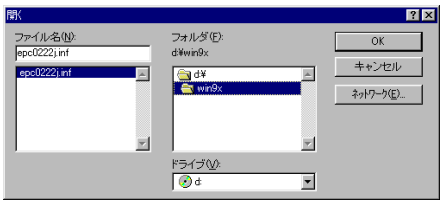
❷ ［EPSON インストールプログラム］画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

❸ ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

❹ ［ディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

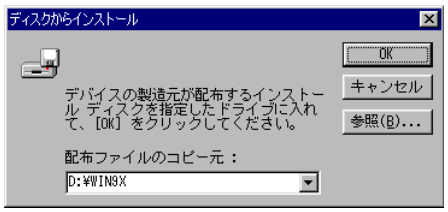
Windows 95 の場合、［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されます。

❺ CD-ROM ドライブ内のお使いの OS 名のフォルダをダブルクリックし、［OK］ボタンをクリックします。

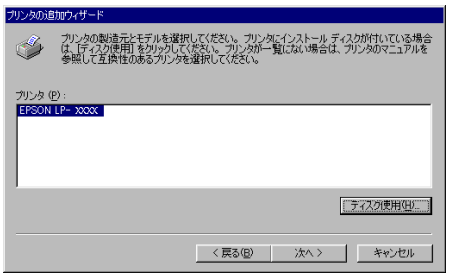


❻ ［ディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

Windows 95 の場合、［フロッピーディスクからインストール］画面に戻ります。

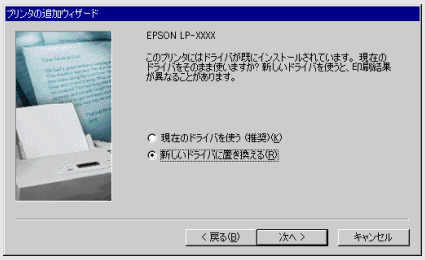


⑦ お使いの機種名を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



ポイント

右の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。



⑧ ［完了］ボタンをクリックします。

この後は、画面の指示に従ってセットアップを進めてください。
これでインストールは終了です。

Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷をする場合は、次のページに進んでください。
☞「NET USE コマンドの実行」88 ページ

ポイント

Windows Me 標準の IPP 印刷では、印刷実行時にプリンタでエラーが発生している場合、印刷されないことがあります。この場合は、プリンタのエラー原因を取り除いてから再度印刷してください。

NET USE コマンドの実行

Windows NT/2000/XP サーバおよびWindows Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、Windows NT/2000/XP/Server 2003 の仕様上、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1. **［ネットワーク］または［マイ ネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

2. **表示された画面で、［Microsoft ネットワーククライアント］があることを確認します。**

   ［Microsoft ネットワーククライアント］がない場合は、［追加］ボタンをクリックして追加してください。

コマンド実行

3. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**

   書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワーク I/F のプリントサーバ名 ¥ ネットワーク I/F の共有名（_ は半角スペース）

   例）　LPT1 に設定する場合
   C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は次のページに進んでください。
☞「ポートの確認（MS Network）」89 ページ

ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows 2000 および Windows NT サーバでお使いの場合にのみ行ってください。

1 **［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。**

2 **インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

3 **［詳細］タブをクリックして、［印刷先のポート］を確認します。**

ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

☞「NET USE コマンドの実行」88 ページ

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。
☞「LPR 印刷の場合」90 ページ
☞「IPP 印刷の場合」92 ページ
☞「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合」94 ページ

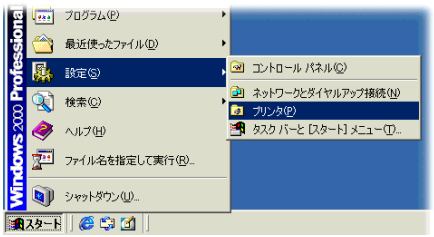
ポイント

EpsonNet DirectPrint を使用する場合は手順が異なりますので、以下のページをご覧ください。
☞「EpsonNet Direct Print の使い方」150 ページ

LPR 印刷の場合

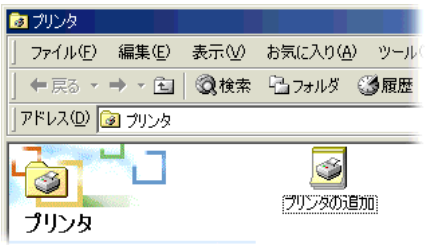
1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］の順にクリックします。



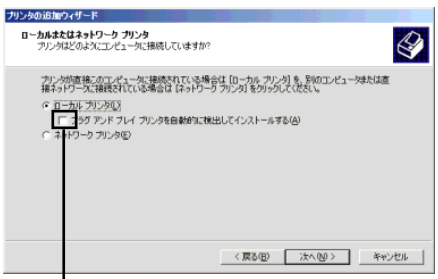
2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、［プリンタを追加する］をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

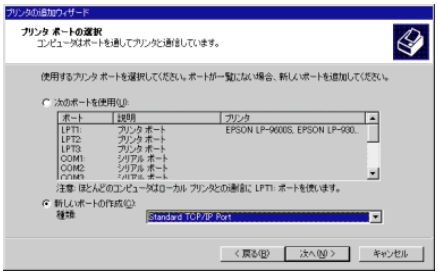


3 ［ローカルプリンタ］を選択します。［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択して、［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外してください。



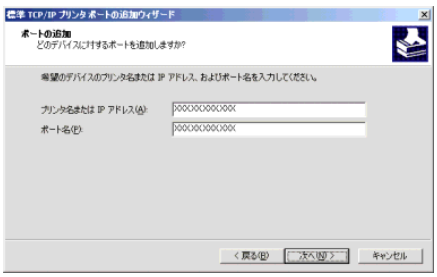
4 ［新しいポートの作成］を選択します。［Standard TCP/IP Port］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。

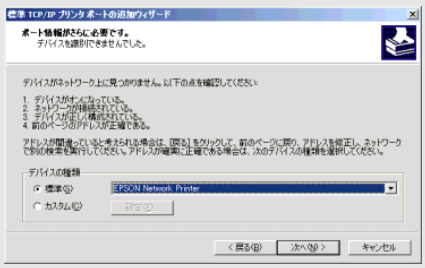
6 ［プリンタ名または IP アドレス］項目にネットワーク I/F の IP アドレスを入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

IP アドレスについては、ネットワーク I/F の設定をした方に確認してください。



ポイント

何らかの理由でプリンタが正しく検出できなかった場合は、右の画面が表示されます。この画面が表示されたら［標準］を選択し、［EPSON Network Printer］を選択します。



7 ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されたら、［完了］ボタンをクリックします。

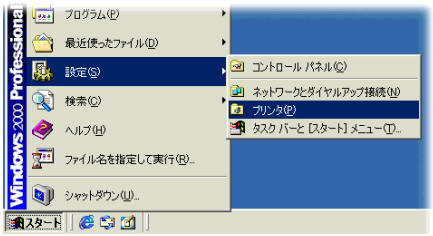
8 この後は以下のページに進んでください。

「プリンタドライバのインストール」96 ページ

IPP 印刷の場合

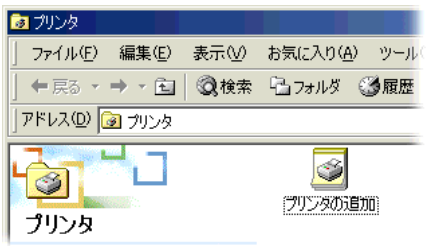
❶ ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、[スタート] ボタン -[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア] の順にクリックします。



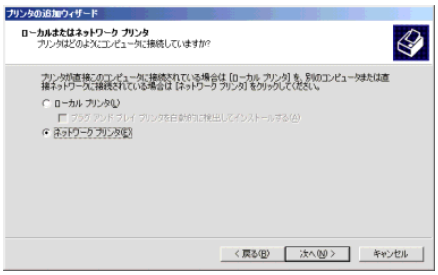
❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、[プリンタを追加する] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックします。



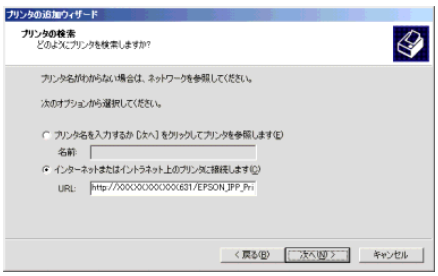
❸ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択してください。



❹ ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択します。ネットワーク I/F の URL を次の書式で入力し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、［インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択してください。

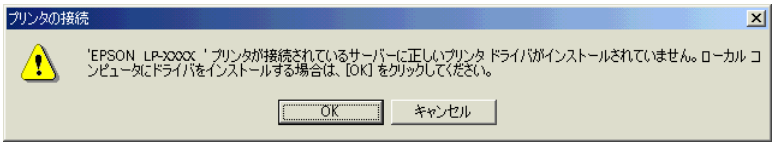


書式）http:// ネットワーク I/F の IP アドレス：631/EPSON_IPP_Printer

ポイント

上記の EPSON_IPP_Printer は初期値です。ネットワーク I/F の設定をした方に、名称を確認してください。

⑤ 次の画面が表示された場合は、[OK] ボタンをクリックします。



上の画面が表示されなかった場合は、この後、画面の指示に従って設定してください。

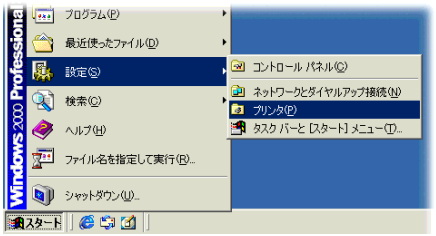
⑥ この後は以下のページに進んでください。

「プリンタドライバのインストール」96 ページ

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合

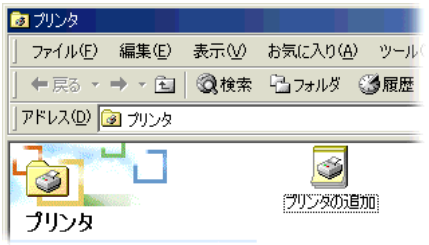
❶ ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、[スタート] ボタン -[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX] の順にクリックします。



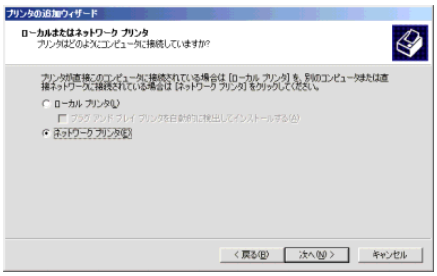
❷ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、[プリンタを追加する] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックします。



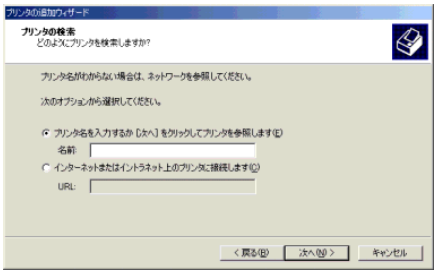
❸ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合、［ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択してください。

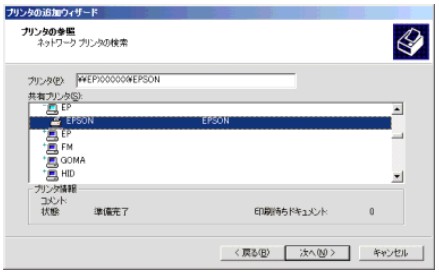


4 **［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。**

Windows XP/Server 2003 の場合、［プリンタを参照する］または［指定したプリンタに接続する］を選択します。



5 **リストからプリンタを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

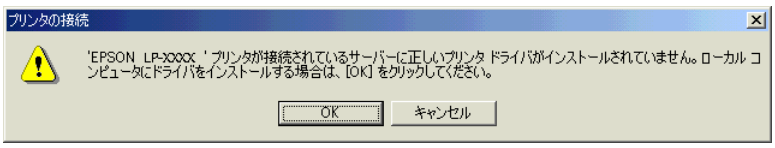


ポイント

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［プリンタ］欄に次のように入力します。
  ¥¥(ネットワーク I/F のプリントサーバ名)¥(ネットワーク I/F の共有名)
  これらの名前は、ネットワーク I/F の設定をした方に確認してください。
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーパブリックアクセスプリンタの場合
  ［Ndps パブリックアクセスプリンター］というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーコントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

6 **次の画面が表示された場合は、［OK］ボタンをクリックします。**



上の画面が表示されなかった場合は、96 ページ手順 8 に進んでください。

プリンタドライバのインストール

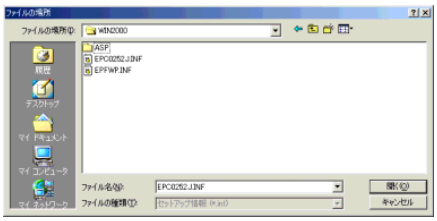
1. コンピュータに、プリンタに付属のソフトウェア CD-ROM をセットします。

2. ［EPSON インストールプログラム］画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

3. ［ディスク使用］ボタンをクリックします。

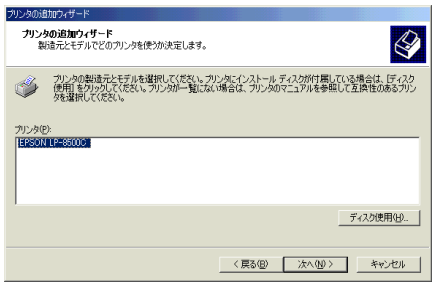
4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。

5. CD-ROM ドライブの［Win2000］フォルダをダブルクリックし、［開く］ボタンをクリックます。



6. ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。

7. プリンタの一覧からお使いの機種名を選択し、［次へ］または［OK］ボタンをクリックします。



8. この後は、画面の指示に従って設定してください。

ポイント

- プリンタをネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。
  クライアントがプリンタを利用するときに必要です。
- この後［デジタル署名が見つかりませんでした］という画面が表示されたら、［はい］ボタンをクリックしてください。

これでインストールは終了です。

Windows NT/2000/XP サーバ環境および Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、次のページに進んでください。

☞「NET USE コマンドの実行」97 ページ

NET USE コマンドの実行

Windows NT/2000/XP サーバおよびWindows Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、Windows NT/2000/XP/Server 2003 の仕様上、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1. **［マイネットワーク］アイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

   Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］の順にクリックします。

2. **［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。**

3. **表示された画面で、［Microsoft ネットワーク用クライアント］があることを確認します。**

   ［Microsoft ネットワーク用クライアント］がない場合は、［インストール］ボタンをクリックして追加してください。

コマンド実行

4. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**

   書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワーク I/F のプリントサーバ名 ¥ ネットワーク I/F の共有名（_ は半角スペース）

   例）　LPT1 に設定する場合
   C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は次のページに進んでください。
「ポートの確認（MS Network）」98 ページ

ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 でお使いの場合にのみ、行ってください。

プリンタのプロパティの起動

1. **［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。**

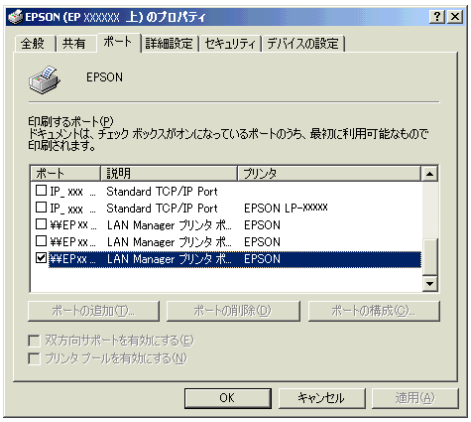
2. **インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

ポートの確認

3. **［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを確認します。**

ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

「NET USE コマンドの実行」97 ページ



Windows NT の場合

印刷方法に応じて以下のページを参照し、プリンタドライバをセットアップしてください。

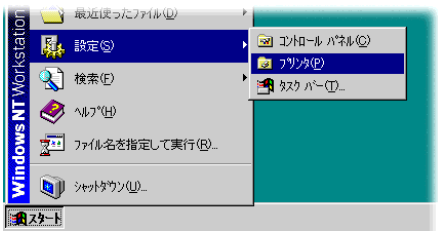
☞「LPR 印刷の場合 (Windows NT4.0)」99 ページ
☞「LPR 印刷の場合（Windows NT3.51）」101 ページ
☞「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合 (Windows NT4.0)」103 ページ
☞「Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合（Windows NT3.51）」105 ページ

ポイント

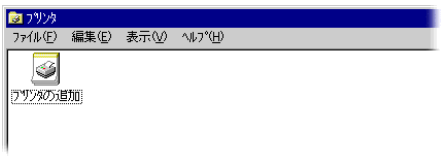
Windows NT4.0 をお使いの方へ
EpsonNet Direct Print または EpsonNet Internet Print を使用する場合は手順が異なりますので、以下のページをご覧ください。
☞「EpsonNet Direct Print の使い方」150 ページ
☞「IPP 印刷の場合 (Windows NT4.0)」103 ページ

LPR 印刷の場合 (Windows NT4.0)

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。



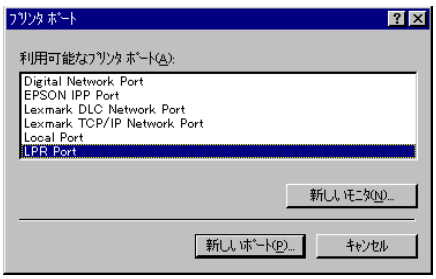
2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



3. ［このコンピュータ］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

④ ［ポートの追加］ボタンをクリックします。

⑤ ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］ボタンをクリックします。



ポイント

［Lexmark TCP/IP Network Port］は使用できません。

⑥ ［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス］にネットワーク I/F の IP アドレスを、［サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名］にプリンタ名を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

ネットワーク I/F の IP アドレスは、ネットワークステータスシートを印刷するか、ネットワーク I/F の設定をした方に確認してください。

⑦ ［プリンタポート］画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

⑧ ［プリンタの追加ウィザード］画面に戻りますので、［次へ］ボタンをクリックします。

⑨ この後は以下のページに進んでください。

「プリンタドライバのインストール」106 ページ

LPR 印刷の場合（Windows NT3.51）

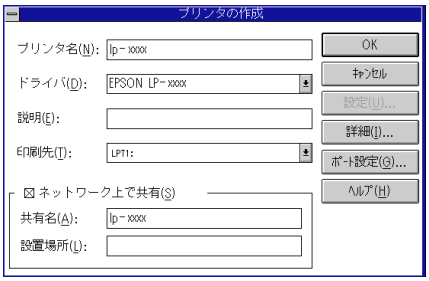
プリンタドライバのインストール

❶ **プリンタに付属の取扱説明書を参照して、プリンタドライバをインストールします。**

プリンタの追加

❷ **プリンタを作成します。**
［メイン］グループの［プリントマネージャ］の［プリンタ］メニューから、［プリンタの作成］を選択します。

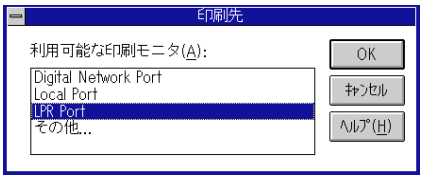
❸ **［プリンタ名］を入力し、［ドライバ］を選択します。プリンタ名は Windows NT 上のプリンタ名を入力します。**



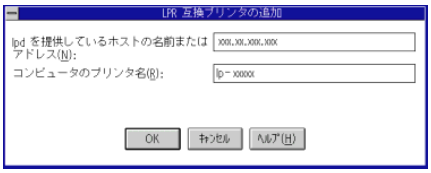
このプリンタを他のコンピュータと共有する場合は［ネットワークで共有］チェックボックスにチェックマークを入れ、共有名と設置場所を入力します。設置場所は入力しなくてもかまいません。

❹ **プリンタを LPR Port で接続します。**
手順３の画面の［印刷先］リストボックスから、［その他］を選択します。

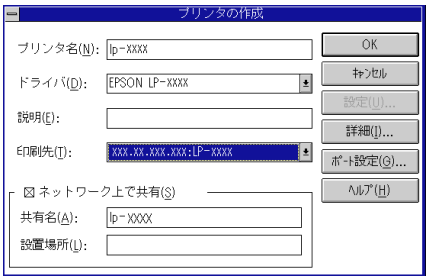
❺ **［印刷先］画面が表示されますので［LPR Port］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。**



❻ **［LPR 互換プリンタの追加］画面が表示されますので、ネットワーク I/F の IP アドレスとプリンタ名を入力し、［OK］ボタンをクリックします。**



7 **［プリンタの作成］画面で、［印刷先］項目が［IP アドレス：プリンタ名］と表示されているか確認します。**



ポイント

このプリンタをネットワーク上で共有する場合、［共有名］に設定したプリンタ名は、クライアントがプリンタを利用するときに必要です。共有名をクライアントに知らせてください。

8 **［OK］ボタンをクリックします。**

これでインストールは終了です。

IPP 印刷の場合 (Windows NT4.0)

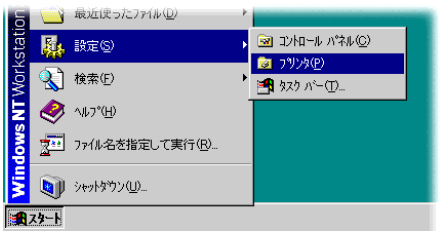
Windows NT4.0 で IPP 印刷するには、IPP 直接印刷ツール「EpsonNet Internet Print」をエプソン販売のホームページからダウンロードする必要があります。
詳しくは以下のページをご覧ください。
☞「EpsonNet ソフトウェアのご案内」12 ページ

ポイント

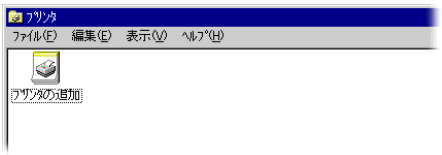
Windows NT3.51 からは IPP 印刷はできません。

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合 (Windows NT4.0)

1. ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

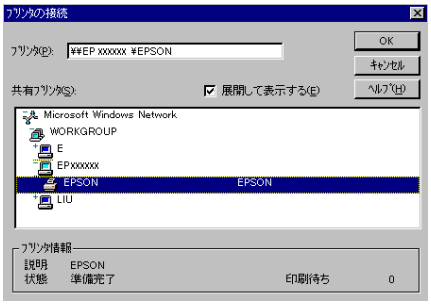


2. ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。



3. ［ネットワークプリンタサーバー］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

4 **［共有プリンタ］から、設定するプリンタをクリックして［OK］ボタンをクリックします。**



ポイント

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

- Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［プリンタ］欄に次のように入力します。
  ¥¥(ネットワーク I/F のプリントサーバ名)¥(ネットワーク I/F の共有名)
  これらの名前は、ネットワーク I/F の設定をした方に確認してください。
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーパブリックアクセスプリンタの場合
  ［Ndps パブリックアクセスプリンター］というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーコントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

5 **次の画面が表示された場合は［OK］ボタンをクリックします。**

上の画面が表示されなかった場合は、この後、画面の指示に従って設定してください。
以上で、Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷設定は終了です。
Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、次のページに進んでください。

「NET USE コマンドの実行」108 ページ

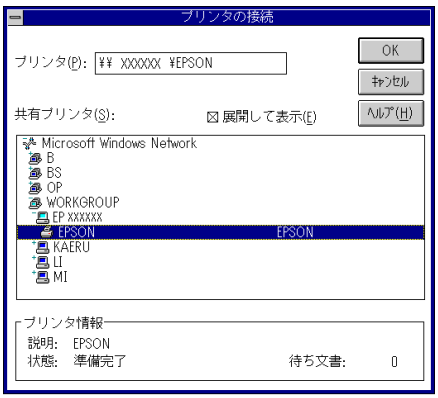
6 **この後は以下のページへ進んでください。**

「プリンタドライバのインストール」106 ページ

Microsoft ネットワーク共有印刷 / 共有プリンタへの印刷の場合（Windows NT3.51）

1. ［メイン］グループの［プリントマネージャ］にある［プリンタ］メニューから、［プリンタの接続］をクリックします。

2. ［共有プリンタ］から設定するプリンタを選択して［OK］ボタンをクリックし、接続します。



ポイント

ネットワークプリンタは次のように表示されます。

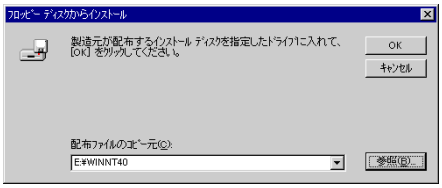
- Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で共有されているプリンタの場合
  ドメイン・ワークグループ・サーバ名などをダブルクリックすると、その下に表示されます。
- Microsoft ネットワーク共有印刷する場合
  ワークグループ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
  参照できない場合は、［プリンタ］欄に次のように入力します。
  ¥¥(ネットワーク I/F のプリントサーバ名)¥(ネットワーク I/F の共有名)
  これらの名前は、ネットワーク I/F の設定をした方に確認してください。
- NetWare サーバ経由の場合
  サーバ名をダブルクリックすると、その下に表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーパブリックアクセスプリンタの場合
  ［Ndps パブリックアクセスプリンター］というネットワークグループをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。
- NDPS ゲートウェイ経由ーコントロールアクセスプリンタの場合
  NDS ツリーをダブルクリックすると、その下に NDPS プリンタエージェントが表示されます。

3. 表示された画面の項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

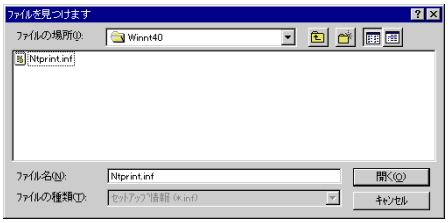
「プリンタドライバのインストール」106 ページ

プリンタドライバのインストール

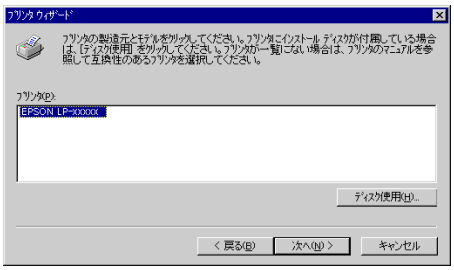
1. コンピュータに、プリンタに付属のソフトウェア CD-ROM をセットします。
2. ［EPSON インストールプログラム］画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして画面を閉じてください
3. ［ディスク使用］ボタンをクリックします。
4. ［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されたら、［参照］ボタンをクリックします。



5. CD-ROM ドライブの［WINNT40］フォルダをダブルクリックし、［開く］ボタンをクリックます。



6. ［フロッピーディスクからインストール］画面に戻りますので、［OK］ボタンをクリックします。
7. リストからお使いの機種名を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



❽ この後は、画面の指示に従って設定してください。

ポイント

■ プリンタをネットワーク共有する場合は、この後で設定する共有名をクライアントに知らせてください。クライアントがプリンタを利用するときに必要です。

■ 右の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。

これでインストールは終了です。

Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 で Microsoft ネットワーク共有印刷する場合は、次のページに進んでください。

☞「NET USE コマンドの実行」108 ページ

NTFS フォーマットされている Windows NT3.51 Server で、共有プリンタを作成した場合は以下のページに進んでください。

☞「スプールディレクトリのアクセス権を変更する」110 ページ

NET USE コマンドの実行

Windows NT/2000/XP サーバおよびWindows Server 2003 で、MS Network を使って接続する場合は、Windows NT/2000/XP/Server 2003 の仕様上、NET USE コマンドを実行することをお勧めします。

サービスの確認

1. **［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックし、プロパティを選択します。Windows NT3.51 の場合は、［メイン］グループの［コントロールパネル］にある［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

2. **表示された画面に次のサービスがあることを確認します。**

   Windows NT4.0

   ［サービス］画面で［ワークステーション］または［サーバー］

   Windows NT3.51

   ［ネットワークの設定］画面で［ワークステーション］または［サーバー］

3. **サービスがない場合は、［追加］ボタン、Windows NT3.51 の場合は、［ソフトウェアの追加］ボタンをクリックして、追加します。**

コマンド実行

4. **コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。**

   書式）　NET_USE_ プリンタポート :_¥¥ ネットワーク I/F のプリントサーバ名 ¥ ネットワーク I/F の共有名（_ は半角スペース）

   例）　LPT1 に設定する場合
   C:¥>NET_USE_LPT1:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON

この後は次のページに進んでください。
☞「ポートの確認（MS Network）」109 ページ

ポートの確認（MS Network）

この操作は、Windows NT/2000/XP サーバおよび Windows Server 2003 でお使いの場合にのみ、行ってください。

Windows NT4.0

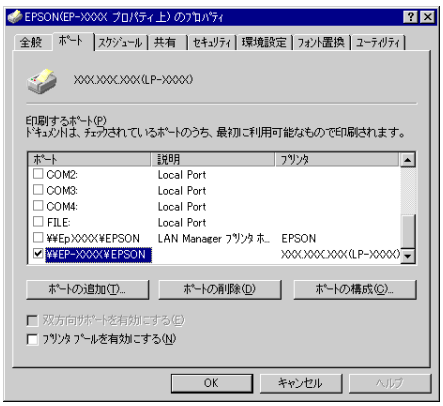
1. **［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。**

2. **インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。**

3. **［ポート］タブをクリックして、印刷先のポートを確認します。**

   ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

   「NET USE コマンドの実行」108 ページ



Windows NT3.51

1. **［メイン］グループの［プリントマネージャー］ウィンドウを開きます。**

2. **使用するプリンタを選択して、［プリンタ］メニューの［プリンタ情報］を起動します。**

3. **［印刷先］リストボックスから、印刷先のポートを選択します。**

   ここでのポートは、NET USE コマンドで実行したものです。

   「NET USE コマンドの実行」108 ページ

スプールディレクトリのアクセス権を変更する

NTFS フォーマットされている Windows NT3.51 Server で共有プリンタを作成した場合、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。

1. **ファイルマネージャを起動し、¥ WINNT35¥ SYSTEM32¥ SPOOL¥ PRINTERS ディレクトリをクリックします。**
2. **メニューから［セキュリティアクセス権］を選択します。**
3. **グループ［Everyone］のアクセス権を［追加と読み取り (RWX)(RX)］に変更し、**［OK］ボタンをクリックします。

Mac OS 8.x/9.x の場合

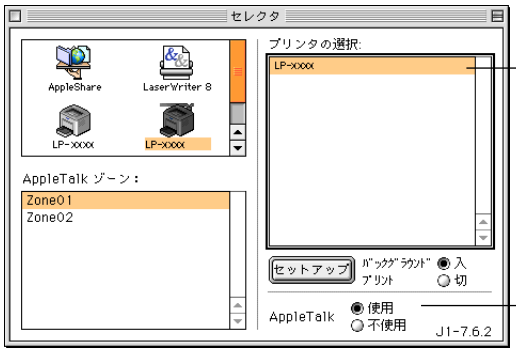
プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。詳しい説明は、プリンタに付属している取扱説明書を参照してください。

プリンタの選択

1. **コンピュータを起動し、［アップル］メニューから［セレクタ］選択してください。**

2. **目的のプリンタアイコン（AT）をクリックしてプリンタを選択します。**



プリンタ名の初期値:
プリンタ名＋
ネットワークI/Fの
Macアドレスの下6桁

AppleTalk:
［使用］を選択

これでインストールと設定は終了です。

Mac OS X（10.2.x）の場合

Mac OS X の場合、プリンタドライバをインストールした後に、プリンタをセットアップする必要があります。印刷プロトコルは、Epson AppleTalk、Epson TCP/IP、Rendezvous の中から選択することができます。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。詳しい説明は、プリンタに付属している取扱説明書を参照してください。

プリンタの追加

1. **プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。**

2. **［Macintosh HD］をダブルクリックします。**

3. **［アプリケーション］をクリックして、［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

4. **［プリントセンター］をダブルクリックします。**

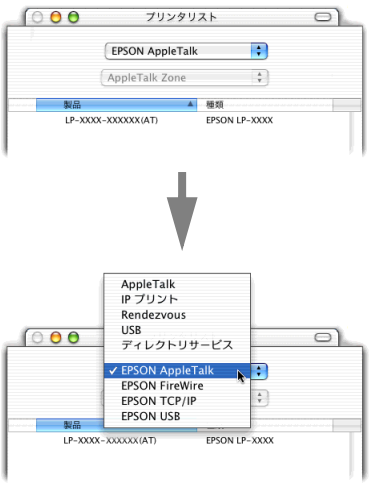
5. **［プリンタリスト］またはメッセージ画面で［追加］ボタンをクリックします。**

6. **［プリンタリスト］画面のドロップダウンリストから、目的の印刷プロトコルを選択します。**

   リストの上から順に、ネットワーク I/F との通信速度が速くなります。

印刷プロトコル	選択する項目
TCP/IP	EPSON TCP/IP
AppleTalk	EPSON AppleTalk
Rendezvous	Rendezvous*

* Rendezvous 機能は Mac OS 10.2.4 以降でのみ、ご利用になれます。



ポイント

- ［EPSON AppleTalk］での印刷は、コンピュータの［AppleTalk］が有効になっている必要があります。
- ［EPSON TCP/IP］での印刷は、コンピュータとネットワーク I/F に IP アドレスなどの情報が設定されている必要があります。
- ［Rendezvous］での印刷は、ネットワーク I/F の［Rendezvous］機能が有効になっており、コンピュータとネットワーク I/F は DHCP や APIPA 機能で IP アドレスを自動で取得している必要があります。

7 **プリンタを選択して、［追加］ボタンをクリックします。**

OS/2 の場合

OS/2 では、OS/2Warp に標準でサポートされる lprportd を使用しての TCP/IP 印刷、NetBEUI プロトコルを使用しての Microsoft ネットワーク共有印刷ができます。

印刷方法に応じて以下のページを参照し、印刷を実行するコンピュータを設定してください。

☞「LPR 印刷の場合」114 ページ
☞「Microsoft ネットワーク共有印刷の場合」117 ページ

ポイント

OS/2 は IPP 印刷には対応していません。

LPR 印刷の場合

設定は、次の手順で行います。

1 ネットワーク I/F の IP アドレスを、ネットワーク I/F の設定をした方に確認します。または、ネットワークステータスシートを印刷して、ネットワーク I/F に割り当てた IP アドレスを確認します。

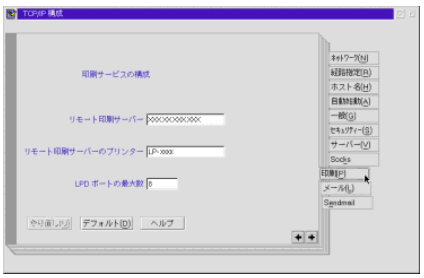
ポイント

ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する場合は、以下のページを参照してください。

☞「ネットワーク I/F の設定」-「設定方法の概要」45 ページ

2 [OS/2 システム] フォルダを起動し、[システム設定] フォルダから [TCP/IP の構成] アイコンを起動します。

❸ **［印刷］タブをクリックして、次のように設定します。**

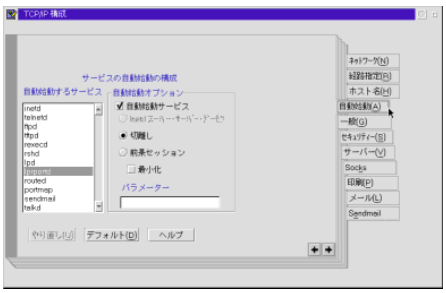


設定項目	設定内容
リモート印刷サーバー	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。
リモート印刷サーバーのプリンター	プリンタ名を入力します。
LPD ポートの最大数	1 以上の値を入力します。

ポイント

ここでプリンタの設定をしても印刷できない場合は、［ホスト名］タブをクリックして［ホスト名］画面での設定をしてください。

❹ **［自動始動］タブをクリックして、次のように設定します。**



設定項目	設定内容
自動始動するサービス	［lprportd］を選択します。
自動始動オプション	［自動始動サービス］をチェックし、［切離し］を選択します。

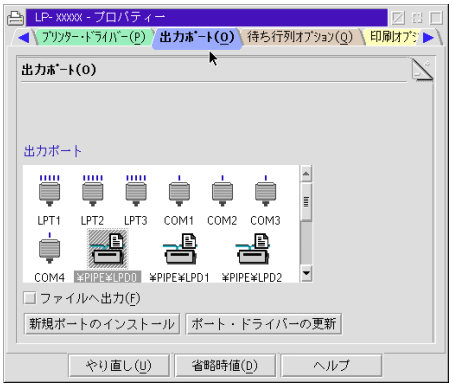
❺ **［TCP/IP 構成］を保存して終了し、コンピュータを再起動します。**

プリンタの設定

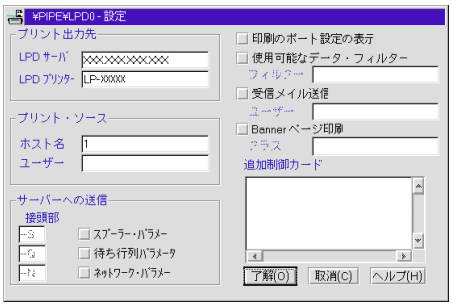
❶ [OS/2 システム] フォルダの [テンプレート] から、[プリンタ] をデスクトップにドラッグして、プリンタを作成します。

❷ ポートの設定をします。
プリンタアイコンをダブルクリックして、メニューの [プロパティー] 画面にある、[出力ポート] タブをクリックします。

❸ [出力ポート] 欄で [¥¥PIPE¥LPD0] ～ [¥¥PIPE¥ LPDn] (n は LPD ポートの最大数) のどれかをダブルクリックします。



❹ [¥PIPE¥LPD- 設定] 画面が表示されます。
[LPD サーバ] 欄にネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。[LPD プリンター] 欄に、前項の「TCP/IP 設定」で登録したプリンタ名を入力します。



❺ プリンタ設定を終了し、プリンタアイコンを閉じます。これで設定は終了です。

Microsoft ネットワーク共有印刷の場合

設定と印刷は、次の手順で行います。

1. **NetBEUI の設定を確認します。**
   設定するコンピュータに、[IBM OS/2 NETBIOS] が組み込まれていることを確認します。
   詳しくは OS/2 のマニュアルを参照してください。

2. **目的のプリンタをダブルクリックして、[プロパティー] 画面にある [出力ポート] タブをクリックします。**

3. **出力ポートを選択します。**

4. **DOS プロンプトから次のコマンドを実行して、プリンタに接続します。**
   書式）net_use_ 出力ポート :_¥¥ ネットワーク I/F のプリントサーバ名
   ¥ ネットワーク I/F の共有名（_ は半角スペース）
   例）LPT1 に設定したプリンタと接続する場合
   >net_use_LPT1:_¥¥EP93xxxx¥EPSON

ネットワーク I/F のプリントサーバ名と共有名は、ネットワークステータスシートで確認できます。プリントサーバ名と共有名を変更する場合は、Windows から EpsonNet WinAssist を使ってください。

NetWare サーバの設定

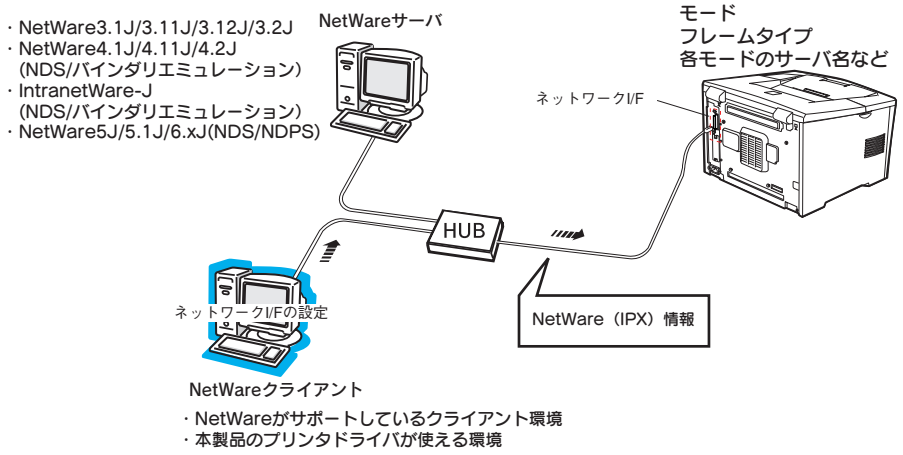
プリンタを NetWare 環境で使用するための、NerWare サーバの設定方法を説明します。お使いの NetWare のバージョンやモードにより、設定方法が異なります。次の手順で設定します。

① NetWare のユーティリティから、プリンタ情報を設定します（リモートプリンタモード、および NDPS ゲートウェイ経由の一部のモードのみ）。
② ネットワーク I/F に NetWare 情報を設定します。

IntranetWare-J をお使いの方は、NetWare4.xJ を IntranetWare-J に置き換えてお読みください。

モードについて ..... 119 ページ
使用上の注意 ..... 120 ページ
NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード ..... 122 ページ
NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバモード ..... 123 ページ
NetWare3.xJ リモートプリンタモード ..... 124 ページ
NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード ..... 127 ページ
NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード ..... 132 ページ
NDPS ゲートウェイ ..... 136 ページ
ダイヤルアップネットワーク使用時の注意 ..... 146 ページ

NetWare 印刷のできる環境



モードについて

NetWare にはプリントサーバモードとリモートプリンタモード、待機モードがあり、使用するモードは自由に設定できます。通常はプリントサーバモードをお勧めします。NetWare ファイルサーバのユーザ数に余裕がない場合はリモートプリンタモードでお使いください。

プリントサーバモード (NDS/Bindery Print Server)

特徴

- 8台までのファイルサーバを同時接続可能
- 直接印刷を制御するので印字速度が速い
- NetWare のユーザアカウントを使用する
- プリントキューは最大 32 ジョブまで登録可能

リモートプリンタモード (Remote Printer)

特徴

- NetWare のユーザアカウントを使用しない
- リモートプリンタを制御するプリントサーバが必要
- プリンタの接続は、NetWare3.xJ で最大 16 台、NetWare4.xJ、IntranetWare-J、NetWare5.xJ/6.xJ では最大 255 台まで可能

> ポイント
>
> リモートプリンタモードでは、プリンタの電源を入れたときに一時的にユーザアカウントを使用します。ユーザアカウントに余裕がない場合は、クライアントがファイルサーバにログインする前にプリンタの電源をオンにしてください。

待機モード（Standby）

工場出荷時はこのモードです。本モードでは NetWare の機能は動作しませんが、SAP/RIP などの一部プロトコルがネットワーク上に流れる場合があります。

使用上の注意

テキストファイルの印刷での注意

NetWareのNPRINTコマンドやDOSのリダイレクションを利用してテキストファイルを印刷する場合、クライアントの環境によっては文字化けやキャラクタずれの起きる可能性があります。

IPX ルーティングプロトコル“NLSP”での注意点

NetWare4.xJ 以降は IPX ルーティングプロトコル“NLSP”を設定できますが、本ネットワーク I/F は“NLSP”に対応していません。RIP/SAP により通信を制御しています。ルーティングプロトコルの選択肢には①NLSP と RIP/SAP ②RIP/SAP 専用がありますが、“NLSP と RIP/SAP”が指定されている状態で、任意に RIP、SAP のバインドを外した場合、ネットワーク I/F はファイルサーバや NDS との通信ができなくなりますので、ご注意ください（参照：ユーティリティ INETCFG の、“プロトコル”および“バインド”タスク内）。

バインダリと NDS に関する注意点

- バインダリコンテキスト・パスは、サーバコンソールから SET BINDERY CONTEXT コマンドで確認できます。
- バインダリコンテキスト・パスが設定されていない場合や、NDS 非対応のクライアントから、別のコンテキストの印刷環境も使用したい場合には、そのコンテキストをバインダリコンテキストに指定する必要があります。AUTOEXEC.NCF ファイル内に、SET BINDERY CONTEXT コマンドで設定します。

詳しくは NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ のマニュアルをご覧ください。

NDS コンテキストの表示・印刷

NDS コンテキストについて、ネットワークステータスシートと EpsonNet WebAssist では、ASCII 文字のみを正しく表示できます。

ネットワーク I/F 情報取得時間について

ネットワークに接続したプリンタの電源を投入してから、NetWare サーバに認識されるまで最大 2 分の時間がかかります。その間、ネットワークステータスシートには正しい情報が反映しませんので、ご注意ください。

フレームタイプについて

IPX をバインドするフレームタイプは、同一ネットワーク内にあるすべての NetWare サーバ、IPX ルータで統一する必要があります。

複数のフレームタイプを同一ネットワークでお使いの場合、すべての NetWare サーバ、IPX ルータにそれらをバインドしてください。

NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード

NetWare3.xJ/4.xJ/IntranetWare-J のプリントサーバモード（バインダリエミュレーション）でネットワーク I/F をお使いになる場合の設定方法を説明します。

NetWare3.xJ のプリントサーバモードで使用する場合、PCONSOLE のプリントサーバ状況表示制御のサービスは使用できません。

1 ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザ（バインダリ接続）でログインします。

NetWare4.xJ/IntranetWare-J の場合は、バインダリログインのオプションを選択してログインしてください。

3 本製品に付属のユーティリティから、本ネットワーク I/F の設定をします。

通常は、EpsonNet WinAssist をお使いください。
☞「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

NetWare で設定済みのオブジェクトを使って設定する場合は、EpsonNet WebAssist も使えます。
☞「EpsonNet WebAssist の使い方」-「設定ーネットワークメニュー」-「NetWare」172 ページ

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバモード

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ/IntranetWare-Jのプリントサーバモード（NDS）でお使いになる場合の設定方法を説明します。

1. **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2. **設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN 権限のあるユーザでログインします。**

3. **本製品に付属のユーティリティから、本ネットワーク I/F の設定をします。**

   通常は、EpsonNet WinAssist をお使いください。

   ☞「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

   NetWare で設定済みのオブジェクトを使って設定する場合は、EpsonNet WebAssist も使えます。

   ☞「EpsonNet WebAssist の使い方」-「設定ーネットワークメニュー」-「NetWare」172 ページ

NetWare3.xJ リモートプリンタモード

NetWare3.xJ のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。

1. **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2. **設定する NetWare サーバに、クライアントから SUPERVISOR と同等の権限を持つユーザーでログインします。**

3. **PCONSOLE を起動し、［利用可能な項目］から［プリントキュー情報］を選択します。**

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

4. **［Insert］キーを押して、［新プリントキュー名］欄にプリントキュー名を入力します。**

> ポイント
> 設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

5. **［プリントキュー］リストから作成したプリントキューを選択すると［プリントキュー情報］メニューが表示されますので、［キューユーザ］を選択して、［EVERYONE］が登録されていることを確認します。**

EVERYONE がない場合は、［Insert］キーを押して、キューユーザーリストから［EVERYONE］を選択します。

6. **［利用可能な項目］から［プリントサーバ情報］を選択します。**

利用可能な項目
ファイルサーバの変更
プリントキュー情報
プリントサーバ情報

7. **［Insert］キーを押して、［新プリントサーバ名］欄にプリントサーバ名を入力します。このプリントサーバ名は後で使用するのでメモしておいてください。**

8. **［プリントサーバ］リストから作成したプリントサーバを選択すると、［プリントサーバ情報］画面が表示されますので、［プリントサーバ構成］を選択します。**

プリントサーバ情報
パスワードの変更
フルネーム
プリントサーバ構成
プリントサーバID
プリントサーバオペレータ
プリントサーバユーザ

⑨ **［プリントサーバ構成メニュー］画面が表示されますので、［プリンタの構成］を選択します。**

［構成完了プリンタ］の最上段［インストールされていません（プリンタ番号＝0）］を選択します。

構成完了プリンタ	
インストールされていません	0
インストールされていません	1
インストールされていません	2

⑩ **次のように設定します。**

任意のプリンタ名を入力
リモートパラレル,LPT1 を選択
任意に入力
必要に応じた用紙の変更可

プリンタ 0 の構成
名前：Printer-0
タイプ：リモートパラレル,LPT1
社別識別子：ESCP
IRQ：7
バッファサイズ（Kバイト）：3
開始用紙：0
キューサービスモード
ボーレート：
データビット：
ストップビット：
パリティ：
X-On/X-Off使用有無

⑪ **［Esc］キーを押して、変更内容を保存します。**

⑫ **［プリントサーバ構成メニュー］から［プリンタでサービスされているキュー］を選択します。**

プリントサーバ構成メニュー
使用されているファイルサーバ
プリンタ通知リスト
プリンタでサービスされているキュー
プリンタの構成

⑬ **［定義済みのプリンタ］リストから、手順 8 ～ 11 で作成したプリンタを選択します。**

⑭ **［Insert］キーを押して、［使用可能キュー］リストから、手順 3 ～ 4 で作成したキューを選択してください。**

⑮ **［優先順位］を 1 から 10 までの数値で指定します。1 が最優先です。**

⑯ **［Esc］キーを押して、PCONSOLE を終了します。**

⑰ **プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。**

LOAD_PSERVER_PCONSOLE で設定したプリントサーバ名
（_ は半角スペース）

⑱ **本製品に付属のユーティリティから、本ネットワーク I/F の設定をします。**

通常は、EpsonNet WinAssist をお使いください。

☞「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

ネットワーク I/F の IP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet WebAssist も使えます。

☞「EpsonNet WebAssist の使い方」-「設定ーネットワークメニュー」-「NetWare」172 ページ

NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード

NetWare4.xJ、IntranetWare-J（バインダリエミュレーション）のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 95 のクライアント画面で説明します。

ポイント

- 必要に応じて、各ユーザにトラスティを割り当ててください。
- プリントキュー、プリントサーバは必ず PCONSOLE で設定してください。NWADMIN ではバインダリキューを作成できません。

1 **ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。**

2 **設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、必ずバインダリ接続でログインしてください。**

ポイント

設定に使うクライアントがNDS モードでログインしている場合は、PCONSOLE 起動時に［F4］キーを押して、バインダリモードに移行してから設定を行ってください。

3 **PCONSOLE を起動し、［利用可能な項目］から［プリントキュー］を選択します。**

利用可能な項目
プリントキュー
プリンタ
プリントサーバ
クイックセットアップ
コンテキストの変更

4 **［Insert］キーを押して、［新しいプリントキュー名］を入力します。**

ポイント

設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください。

5 **［プリントキュー］リストから作成したプリントキューを選択すると［プリントキュー情報］メニューが表示されますので、［キューユーザ］を選択して、［EVERYONE］が登録されていることを確認します。**

EVERYONE がない場合は、［Insert］キーを押して、キューユーザリストから［EVERYONE］を選択します。

6 **［利用可能な項目］から、［プリントサーバ］を選択します。**

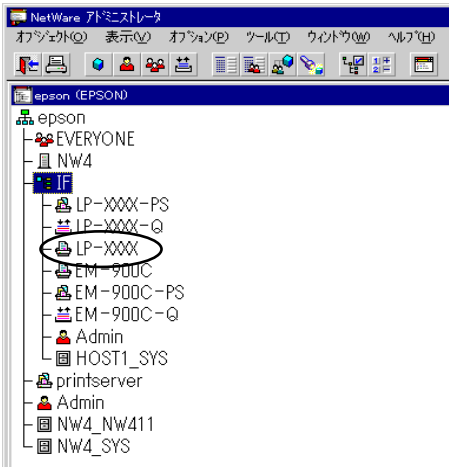
7 **［Insert］キーを押して、［新しいプリントサーバ名］を入力します。**

8 **PCONSOLE を終了して、NetWare サーバからログアウトします。**

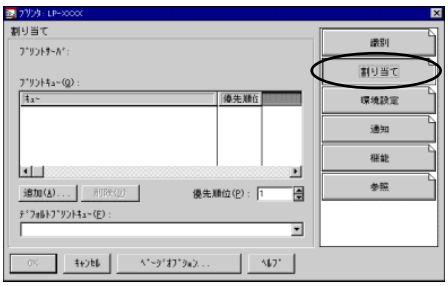
⑨ NetWare サーバに、クライアントから ADMIN と同等の権限を持つユーザでログインします。この時、NDS 接続でログインしてください。

⑩ NWADMIN を起動し、手順 6～7 で作成したプリントサーバオブジェクトのあるコンテナをクリックして、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリンタ］を選択します。プリンタ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

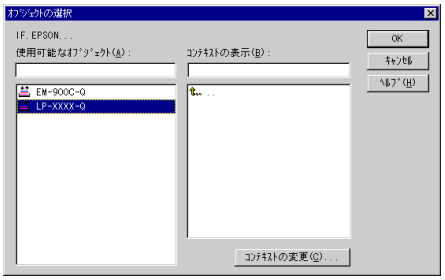
⑪ NetWare アドミニストレータ画面で、手順 10 で作成したプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



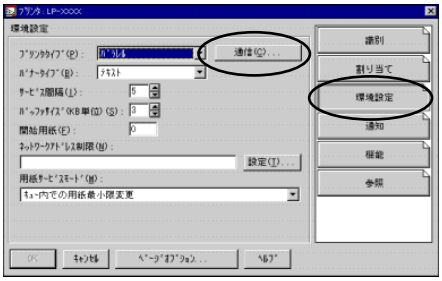
⑫ ［割り当て］ボタンをクリックし［追加］ボタンをクリックします。



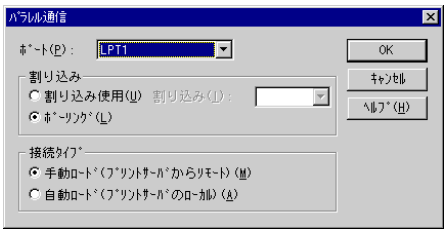
⑬ プリントキューの一覧が表示されますので、割り当てるキュー（手順 3～4 で作成したキュー）を選択し、［OK］ボタンをクリックします。



⑭ ［プリンタ］画面に戻って［環境設定］ボタンをクリックし、［プリンタタイプ］で［パラレル］を選択して、右の［通信］ボタンをクリックします。

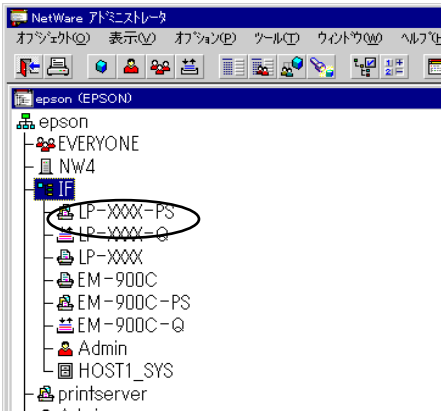


⑮ ポート［LPT1］、割り込み［ポーリング］、接続タイプ［手動ロード］を選択します。



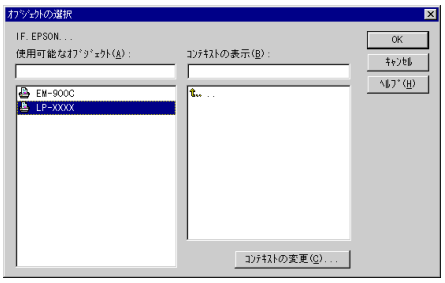
⑯ 設定が終了したら［OK］ボタンをクリックして［パラレル通信］画面を閉じ、［プリンタ］画面で［OK］ボタンをクリックします。

⑰ NetWare アドミニストレータ画面で、手順６～７で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



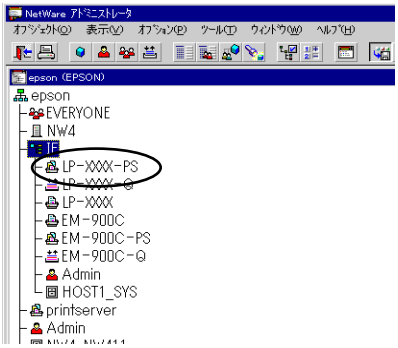
⑱ ［割り当て］ボタンをクリックし、［追加］ボタンをクリックします。

⑲ プリンタオブジェクトの一覧が表示されますので、手順 10 で作成したプリンタを選択し、[OK] ボタンをクリックします。



⑳ 手順 18 の画面に戻って、一覧から割り当てたプリンタを選び [プリンタ番号] ボタンをクリックします。プリンタ番号を 0 ～ 15 の範囲で設定し、[OK] ボタンをクリックします。

㉑ NetWare アドミニストレータ画面で、手順 6 ～ 7 で作成したプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



㉒ [プリントレイアウト] ボタンをクリックします。

プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。

㉓ プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。

LOAD_PSERVER_PCONSOLE で設定したプリントサーバ名
(_ は半角スペース)

㉔ **本製品に付属のユーティリティから、本ネットワーク I/F の設定をします。**

通常は、EpsonNet WinAssist をお使いください。

☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

ネットワークI/FのIP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet WebAssistも使えます。

☞「EpsonNet WebAssist の使い方」-「設定ーネットワークメニュー」-「NetWare」172 ページ

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード

NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ、IntranetWare-J（NDS）のリモートプリンタモードでお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 95 のクライアント画面で説明します。

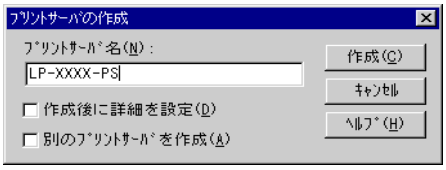
> ポイント
> NetWare5.xJ/6.xJ を使う場合は、NetWare5.xJ/6.xJ サーバに IPX プロトコルをインストール（バインド）しておいてください。

1. ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

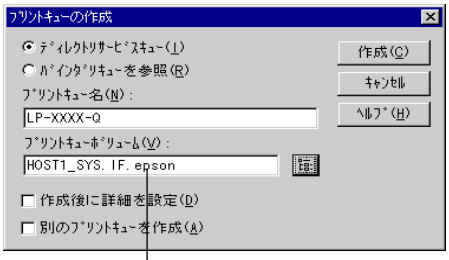
2. 設定するツリーに、クライアントから目的のコンテキストに対して ADMIN と同等の権限のあるユーザでログインします。

3. NWADMIN を起動します。ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリンタ］を選択します。プリンタ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

4. ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントサーバ］を選択します。プリントサーバ名を入力して［作成］ボタンをクリックします。



5. ディレクトリコンテキストのアイコンをクリックし、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［プリントキュー］を選択します。プリントキュー名を入力して［作成］ボタンをクリックします。

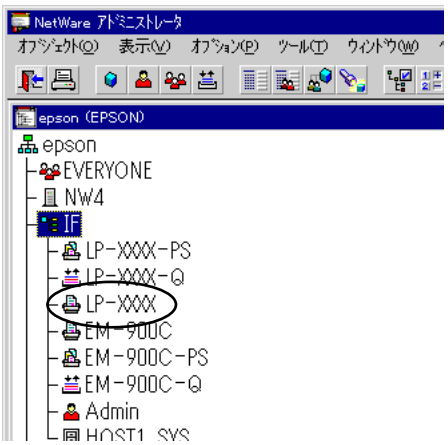


プリントキューを置くボリュームを指定（ディレクトリコンテキスト内のボリュームを選択）

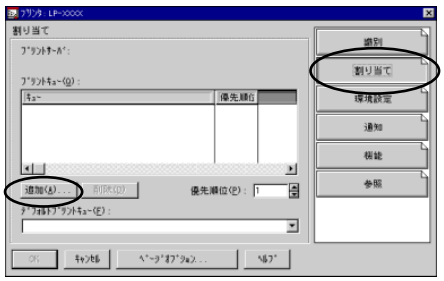
⑥ プリントキューオブジェクトのアイコンをダブルクリックし、ユーザを登録します。

> ポイント
> 設定したプリントキューは、クライアントがプリンタを利用する際に使いますので、キュー名をクライアントに知らせてください.

⑦ NetWare アドミニストレータ画面でプリンタオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。

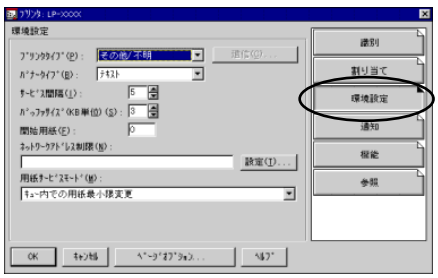


⑧ [割り当て] ボタンをクリックし、[追加] ボタンをクリックします。

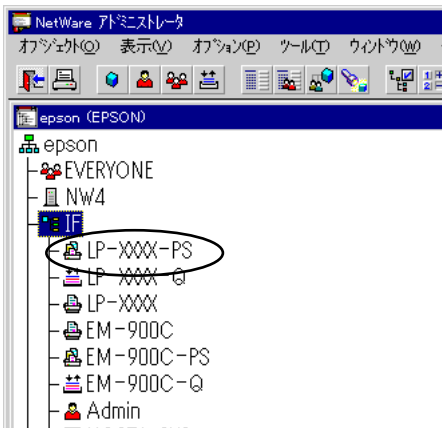


⑨ プリントキューの一覧が表示されるので、手順５～６で作成したキューを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

⑩ [環境設定] をクリックして［プリンタタイプ］欄で［その他 / 不明］を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

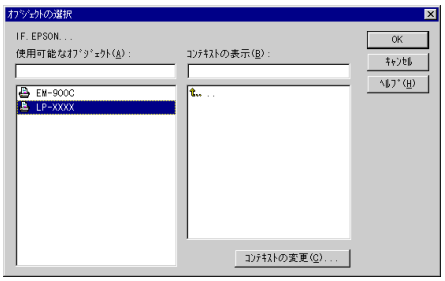


⓫ NetWare アドミニストレータ画面でプリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。



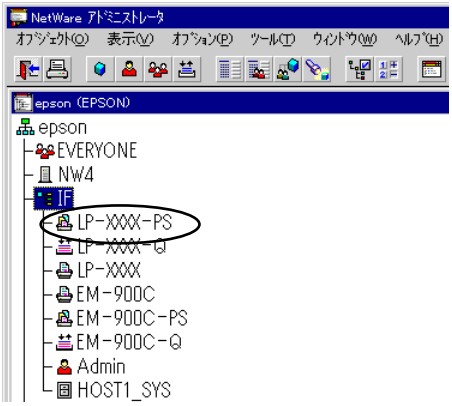
⓬ [割り当て] をクリックし、[追加] ボタンをクリックします。

⓭ プリンタオブジェクトの一覧が表示されるので、割り当てるプリンタオブジェクトを選択し [OK] ボタンをクリックします。



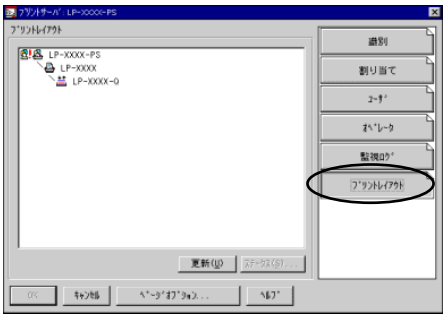
⓮ 手順 12 の画面に戻って一覧から割り当てたプリンタを選び、[プリンタ番号] ボタンをクリックします。プリンタ番号を 0 ～ 254 の範囲で設定し、[OK] ボタンをクリックします。

⑮ **NetWare アドミニストレータ画面で、プリントサーバオブジェクトのアイコンをダブルクリックします。**



⑯ **[プリントレイアウト] ボタンをクリックします。**

プリントサーバ、プリンタとプリントキューが関連付けられていることを確認してください。詳しくはNetWareのマニュアルをご覧ください。



⑰ **プリントキューボリュームを設定したファイルサーバで次のコマンドを入力し、プリントサーバモジュールをロードします。**

LOAD_PSERVER_NWADMIN で設定したプリントサーバ名
(_ は半角スペース)

⑱ **本製品に付属のユーティリティから、本ネットワーク I/F の設定をします。**

通常は、EpsonNet WinAssist をお使いください。

☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

ネットワーク I/F の IP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet WebAssist も使えます。

☞「EpsonNet WebAssist の使い方」-「設定ーネットワークメニュー」-「NetWare」172 ページ

NDPS ゲートウェイ

NDPS ゲートウェイ経由でお使いになる場合の設定方法を説明します。
Windows 95 のクライアント画面で説明します。

ポイント

- NDPS（Novell Distributed Print Services）は、NetWare5.xJ/6.xJ に標準装備されている印刷アーキテクチャです。NDPS を使うと、ネットワーク上のプリンタや印刷サービスの管理が従来の方法よりも簡単に行えます。
  NetWare Enterprise Print Services をご利用の場合は、NetWare4.xJ でも使えます。
  NetWare Enterprise Print Services のリリースに関しては、ノベル社にお問い合わせください。
- 本製品は、NetWare5.xJ/6.xJ の NDPS にある［自動ドライバインストール］には対応していません。
- NetWare5.xJ/6.xJ サーバに、IPX プロトコルをインストール（バインド）してください。
- NDPS 経由で印刷する場合、バナー印刷は行えません。
- 設定に使うコンピュータに、NetWare のクライアントソフトウェア、Client32、IntranetWare Client、Novell Client のいずれかをインストールしてください。

設定の流れ

次のような手順で設定します。NDPS についての詳細は、NetWare5.xJ/6.xJ に添付されている NDPS の説明書を参照してください。

1. **接続方法の決定と環境設定 137 ページ**
   ↓
2. **NDPS マネージャの作成 138 ページ**
   ↓
3. **NDPS プリンタエージェントの作成 139 ページ**
   ↓
4. **EpsonNet WinAssist からのネットワーク I/F 設定 145 ページ**

接続方法の決定と環境設定

1 次の 3 種類の接続方法から、ご利用の環境にあったものを選びます。

■ リモート（IPX 上で rprinter）
ゲートウェイ経由で、RPRINTER（リモートプリンタ）モードのプリンタに印刷することができます。NetWare を初めてインストールするときや、現在の印刷環境が削除されても問題ない場合に使用できます。

> ポイント
> リモート（IPX 上で rprinter）を使うと、従来のキューベースプリントシステムの設定が失われます。

■ リモート（IP 上で LPR）
ゲートウェイ経由で、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定したプリンタに印刷できます。

■ ジョブをキューに転送
ゲートウェイからキューに印刷ジョブを送って印刷します。従来のキューベースプリントシステムと共存したいときに使用できます。

2 NetWare サーバに、次のプロトコルをインストールします。

接続方法によって、インストールするプロトコルが異なります。
インストール方法は NetWare5.xJ/6.xJ のマニュアルをご覧ください。

接続方法	プロトコル
リモート（IPX 上で rprinter）	IPX
リモート（IP 上で LPR）	TCP/IP
ジョブをキューに転送	IPX

3 クライアントに、NetWare5.xJ/6.xJ 添付のクライアントソフトをインストールします。

このとき［標準のインストール］を選択すると、NDPS も自動的にインストールされます。

4 クライアントに、使用するプリンタのプリンタドライバをインストールします。

インストール方法はプリンタの取扱説明書をご覧ください。

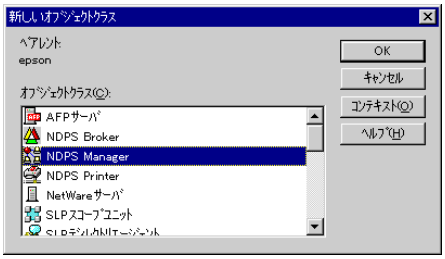
> ポイント
> ■ NetWare サーバ経由でプリンタドライバをインストールしないでください。
> ■ Novell プリンタマネージャ（NWPMW32.EXE）からは、プリンタの追加およびプリンタドライバのインストールをしないでください。ただし、EpsonNet NDPS Gateway を使用すれば、プリンタの追加ができます。
> 「EpsonNet NDPS Gateway」201 ページ

NDPS マネージャの作成

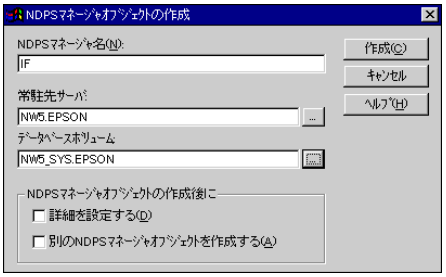
NetWare5.xJ/6.xJ のツール NWADMIN から、NDPS マネージャを作成します。以下の操作はクライアントから行ってください。

1. **クライアントから、NetWare アドミニストレータ（NWADMN32.EXE）を起動します。**

2. **ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［NDPS Manager］を選択します。**



3. **［NDPS マネージャ名］、［常駐先サーバ］、［データベースボリューム］を設定したら、［作成］ボタンをクリックして設定を保存します。**



4. **NetWare サーバで、NDPS マネージャをロードします。サーバコンソールで次のコマンドを入力し、作成した NDPS マネージャを選択してください。**

   >LOAD_NDPSM（_ は半角スペース）

> ポイント
>
> コマンドを常時使用する場合は、AUTOEXEC.NCF に［LOAD_NDPSM_ 識別名付き NDPS マネージャオブジェクト名］（_ は半角スペース）を記述してください。

NDPS プリンタエージェントの作成

> ポイント
> ここでの設定と同じことが、サーバコンソールからも行えます。詳しくは NetWare5.xJ/6.xJ のマニュアルを参照してください。

NWADMIN から NDPS プリンタエージェントを作成します。

プリンタタイプの決定

1 次の 2 種類のプリンタタイプから、使用するタイプを決定します。タイプの詳細は、NetWare5.xJ/6.xJ のマニュアルをご覧ください。

■ パブリックアクセスプリンタ（手順 2 へ）

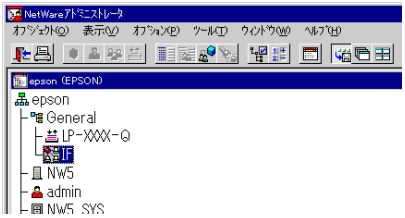
この設定にするとネットワーク上の誰もがプリンタを使用できます。ただし NDS オブジェクトとしては登録されないため、セキュリティやイベント通知などのサービスが一部利用できません。

■ コントロールアクセスプリンタ（手順 5 へ）

NDS オブジェクトとして登録されるプリンタで、セキュリティやイベント通知などのサービスが利用できます。アクセス権のあるユーザだけが利用できます。

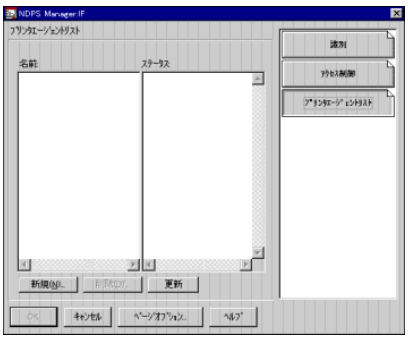
プリンタエージェントの作成（パブリックアクセスプリンタ）

2 作成した NDPS マネージャを選択し、メニューの［オブジェクト］-［詳細］画面を起動します。

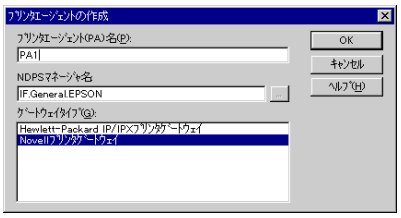


3 ［プリンタエージェントリスト］ボタンをクリックして、［新規］ボタンをクリックします。

［新規］ボタンが無効になっている場合は、サーバコンソールで NDPSM をロードしてください。

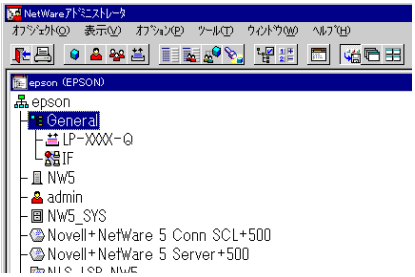


❹ ［プリンタエージェント（PA）名］を入力します。
［ゲートウェイタイプ］は［Novell プリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。続いて手順 8 へ進みます。



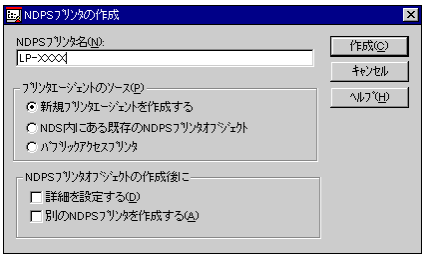
プリンタエージェントの作成（コントロールアクセスプリンタ）

❺ ディレクトリコンテキストのアイコンを選択し、メニューの［オブジェクト］-［作成］-［NDPS Printer］を選択します。

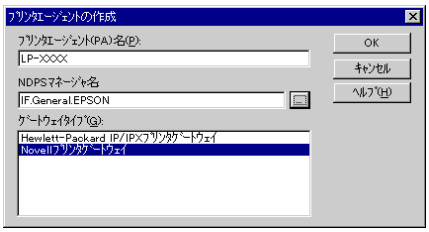


❻ ［NDPS プリンタ名］を入力し、［プリンタエージェントのソース］欄では［新規プリンタエージェントを作成する］を選択して［作成］ボタンをクリックします。

それ以外の項目については、NetWare5.xJ/6.xJ のマニュアルを参照してください。



❼ ［NDPS マネージャ名］では作成した NDPS マネージャを選択します。［ゲートウェイタイプ］は［Novell プリンタゲートウェイ］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。続いて手順 8 へ進みます。



⑧ **[プリンタタイプ]は((なし))を、[ポートハンドラタイプ]はNovellポートハンドラを選択して[OK]ボタンをクリックします。**

⑨ **お使いになる接続タイプとポートタイプを選択し[次へ]ボタンをクリックします。**

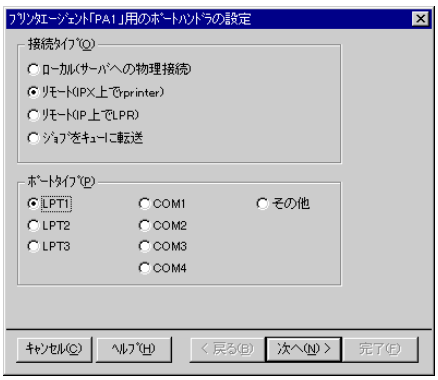
ここで選択する[接続タイプ]によって、次の手順へ進んでください。

■[リモート(IPX上でrprinter)]:手順10へ

■[リモート(IP上でLPR)]:手順14へ

■[ジョブをキューに転送]:手順17へ

[接続タイプ]でリモート(IPX　上でrprinter)を選択したら、[ポートタイプ]でLPT1を選択してください。



(リモート(IPX上でrprinter))ポートハンドラの設定

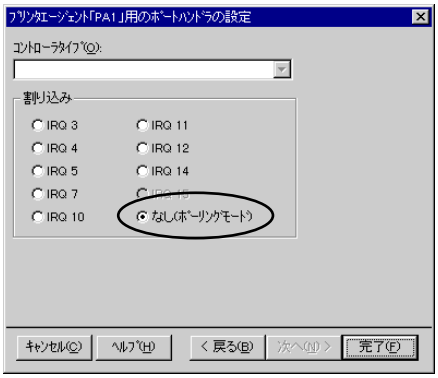
ポイント

ネットワークI/Fのネットワークアドレスと MACアドレスは、ネットワークステータスシートに印刷されています。

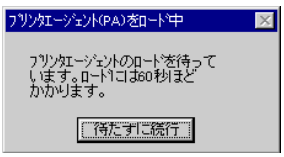
⑩ **次の項目を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。**

設定項目	設定内容
SAP 名	プリンタエージェント名が表示されます。
プリンタ番号	プリンタ番号（0 ～ 254）を設定します。
ネットワーク	ネットワーク I/F のネットワークアドレスを入力します。
ノード	ネットワーク I/F の MAC アドレスを入力します。

⑪ ［割り込み］は［なし］を選択し、［完了］ボタンをクリックします。

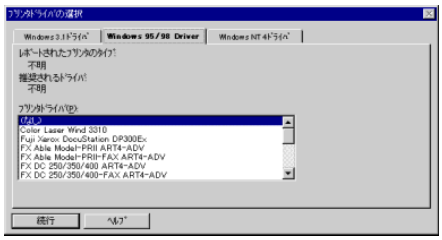


⑫ 次の画面が表示されます。手順 13 の画面が表示されるまでお待ちください。



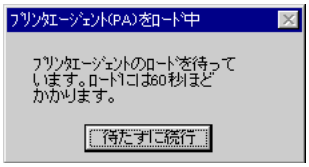
⑬ ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順 20 へ進んでください。

（リモート（IP 上で LPR））ポートハンドラの設定

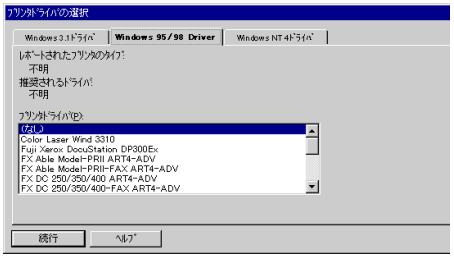


⑭ ［ホストアドレス］にはネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。
［ホスト名］は、ホスト名を登録してある場合に入力します。
プリンタ名は図のように初期値のままで、［完了］ボタンをクリックします。

⑮ **次の画面が表示されます。手順 16 の画面が表示されるまでお待ちください。**



⑯ **［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順 20 へ進んでください。**

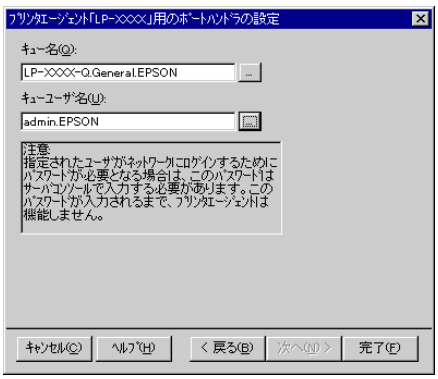


（ジョブをキューに転送）ポートハンドラの設定

この設定は、すでに作成されているキューで、印刷のできる設定が完了していることを前提としています。印刷環境の設定については以下のいずれかのページを参照してください。

☞「NetWare3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバモード」122 ページ
☞「NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバモード」123 ページ
☞「NetWare3.xJ リモートプリンタモード」124 ページ
☞「NetWare4.xJ バインダリリモートプリンタモード」127 ページ
☞「NetWare4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS リモートプリンタモード」132 ページ

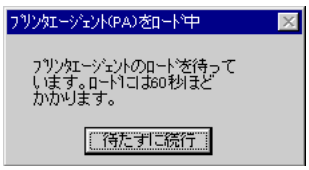
⑰ **［キュー名］にはネットワーク I/F が有効なキューを、［キューユーザ名］には［キュー名］のキューユーザ権限を持つ名前を選択し、［完了］ボタンをクリックします。**



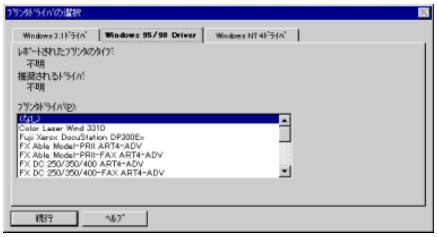
ポイント

［キュー名］にはあらかじめ作成しておいたプリントキュー名を指定します。モードはプリントサーバ、リモートプリンタのどちらでも構いません。

⑱ **次の画面が表示されます。手順 19 の画面が表示されるまでお待ちください。**

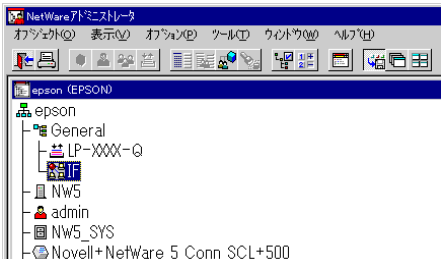


⑲ ［プリンタドライバ］は（なし）を選択します。この後は、手順 20 へ進んでください。



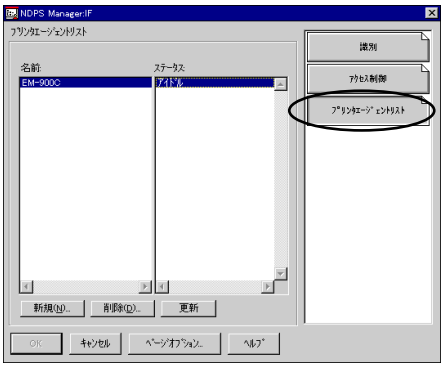
⑳ 設定した NDPS プリンタエージェントを確認します。

NWADMINで､作成したNDPSマネージャオブジェクトを選択し、メニュー［オブジェクト］-［詳細］画面を起動します。



㉑ ［プリンタエージェントリスト］ボタンをクリックします。

ここで､作成したNDPSプリンタエージェントのステータスが［アイドル］になっていることを確認します。



ポイント

リモート (IPX 上で rprinter) をお使いの場合は、次ページの設定を行ってから、この画面でステータスが［アイドル］になることを確認してください。

［リモート（IPX 上で rprinter）］の場合は、続いて次ページの設定を行ってください。

ネットワーク I/F の設定

NDPS ゲートウェイで使用するための設定をする際、［リモート（IPX 上で rprinter）］を選択した場合は、本製品に付属のユーティリティからも設定をする必要があります。

ポイント

次の操作は、［リモート（IPX 上で rprinter）］をお使いの場合にのみ設定してください。［リモート（IP 上で LPR）］、［ジョブをキューに転送］をお使いの場合、設定は不要です。

1 ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにします。

2 設定する NetWare サーバに、クライアントから ADMIN 権限のあるユーザでログインします。

3 本製品に付属のユーティリティから、本ネットワーク I/F の設定をします。

通常は、EpsonNet WinAssist をお使いください。

☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ

ネットワーク I/F の IP アドレスが設定済みの場合は、EpsonNet WebAssist も使えます。

☞「EpsonNet WebAssist の使い方」-「設定ーネットワークメニュー」-「NetWare」172 ページ

ダイヤルアップネットワーク使用時の注意

ここでは、ダイヤルアップネットワークを使用する場合の注意点を説明します。

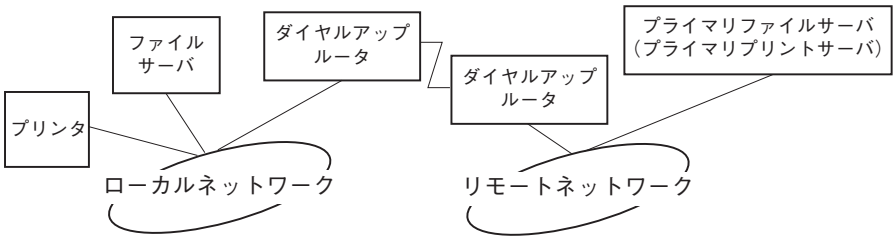
本文にある「プライマリサーバ」とは、プライマリタイムサーバ（ネットワーク上でワークステーションなどに時間を提供するサーバ）を指します。

ダイヤルアップ先にプライマリサーバがある場合

プリントサーバモードでは、必ず専用線接続で使います。
プリントサーバモードではファイルサーバに対してポーリングを行うため、ルータによる代理応答ができません。このため、ダイヤルアップ接続での使用はできません。

リモートプリンタモードでは、代理応答機能があるルータを使えば、ダイヤルアップ先にプライマリサーバを設置できます。しかし、プライマリサーバがダウンした場合などに不必要なダイヤルアップをしてしまう可能性があるため、ダイヤルアップ専用線接続をお勧めします。
ダイヤルアップ接続をする場合は、次ページからの注意をお読みください。

ローカルネットワークにファイルサーバがある場合



電源投入時

ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。

このダイヤルアップは電源投入時の 1 回のみで、問題はありません。

ネットワーク I/F が正しく設定されていない場合

ローカルのファイルサーバ→プライマリサーバの順にアクセスするため、ダイヤルアップが約 5 分間隔で発生します。

ネットワーク I/F が正しく設定されていないことが原因です。本章に記載されている設定を正しく行うと、この現象は発生しません。

正常動作中（待機）

NetWare のプロトコル規約により、SPX Watchdog パケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。

正常動作中（印刷）

印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。

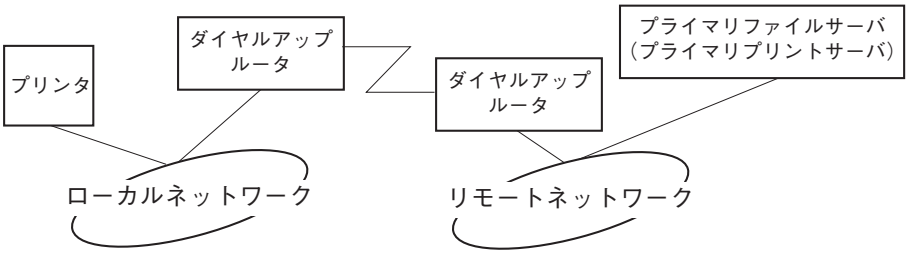
動作中にプライマリサーバがダウンした場合

定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一旦、プリンタの電源をオフにしてください。

ローカルネットワークのファイルサーバがダウンした場合

ローカルネットワークにファイルサーバがなくなると、ローカルネットワークで NetWare と本ネットワーク I/F の NetWare プロトコルが使えなくなります。この状態ではダイヤルアップは発生しません。ローカルネットワークのファイルサーバが復帰すると、本ネットワーク I/F も自動復帰します。

ローカルネットワークにファイルサーバがない場合



ルータの設定によっては、ローカルネットワークにファイルサーバがなくてもNetWareプロトコルが使えます。

電源投入時

プライマリサーバにアクセスするため、ダイヤルアップが発生します。
このダイヤルアップは電源投入時の1回のみで、問題はありません。

ネットワークI/Fが正しく設定されていない場合

プライマリサーバにアクセスするため、ダイヤルアップが約5分間隔で発生します。ネットワークI/Fが正しく設定されていないことが原因です。本章に記載されている設定を正しく行うと、この現象は発生しません。

正常動作中（待機）

NetWareのプロトコル規約により、SPX Watchdogパケットが送信されます。代理応答機能があるルータを使えば問題ありません。

正常動作中（印刷）

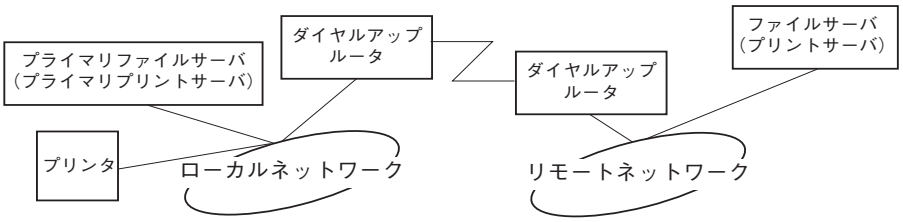
印刷データが転送されている間ダイヤルアップが発生します。ダイヤルアップネットワーク本来のダイヤルアップであるため問題ありません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合

定期的にプライマリサーバに接続を試みるため、ダイヤルアップが発生します。これは自動再接続機能が原因です。一旦、プリンタの電源をオフにしてください。

ローカルネットワークにプライマリサーバがある場合

プリンタを設置したネットワークにプライマリサーバを設置しても、構成によっては不必要なダイヤルアップが発生します。
次の注意点は、プリントサーバモード、リモートプリンタモードで共通です。



電源投入時

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

本ネットワーク I/F が正しく設定されていない場合

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。ただし、誤ってリモートネットワークのファイルサーバ / プリントサーバをプライマリサーバとして設定してしまった場合は、意図しないダイヤルアップが発生するので注意が必要です。本章に記載されている設定を正しく行えば、この問題は発生しません。

正常動作中（待機）

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

正常動作中（印刷）

プライマリサーバにのみアクセスするため、ダイヤルアップは発生しません。

動作中にプライマリサーバがダウンした場合

定期的にプライマリサーバに接続を試みますが、ダイヤルアップは発生しません。ただし、ルータが SAP パケット (Find Nearest Server) を通過させる設定となっていると不必要なダイヤルアップが発生します。一旦、本プリンタの電源をオフにするか、ルータで SAP パケット（Find Nearest Server）を通過させないようにしてください。

EpsonNet Direct Print の使い方

EpsonNet Direct Print の使い方について説明します。

EpsonNet Direct Print の概要 ..... 151 ページ
動作環境 ..... 152 ページ
EpsonNet Direct Print のインストール ..... 153 ページ
プリンタの接続と設定 ..... 154 ページ

EpsonNet Direct Print の概要

EpsonNet Direct Print は、Windows からネットワークに接続したプリンタに、TCP/IP 直接印刷をする時に使うユーティリティです。次のような特長があります。

- プリントサーバが必要ありません。
- EpsonNet Direct Print をコンピュータにインストールし、LPR プリンタを設定すると、TCP/IP（LPR）直接印刷が可能になります。
- ルータを越えた場所にあるプリンタも、LPR プリンタとして使用できます。
- 印刷の速さを選択できます。
- いったん送信したジョブを削除し、印刷を取り消すことができます。（この機能はお使いのプリンタによって使えない場合があります。）

次の手順で設定します。

① EpsonNet Direct Print をインストールします。

☞「EpsonNet Direct Print のインストール」153 ページ

② 接続するプリンタを指定して、プリンタドライバをインストールします。

☞「プリンタの接続と設定」154 ページ

③ 必要に応じて、探索範囲や印刷方式などを設定します。

☞「探索範囲の設定」158 ページ

☞「印刷方式の設定」160 ページ

ポイント

EpsonNet Direct Print を使用して印刷するプリンタは、他のコンピュータで共有することはできません（プリンタドライバのプロパティ画面に、共有画面が現れません）。

動作環境

EpsonNet Direct Print は、次の環境で動作します。

対象機種

・IBM PC/AT 互換機
・CPU は、Pentium 200MHz 以上（PentiumII 以上を推奨）
・ハードディスクの空きが 20MB 以上であること
・RAM 32MB 以上

対象 OS

・Windows 95（サービスパック 1 以上 /OSR2 以上を推奨）
・Windows 98
・Windows Me
・Windows NT4.0（サービスパック 3 以上）
・Windows 2000
・Windows XP
・Windows Server 2003

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 は、EpsonNet Direct Print をインストールしなくても LPR 印刷ができます。

ポイント

■ EpsonNet Direct Print の Version1.0 と Version2.x の両方を、同じコンピュータにインストールすることはできません。すでにインストールされているバージョンと異なるものをインストールする場合、注意のメッセージが表示されますので、インストールされているバージョンを削除してください。

■ 他のネットワーク I/F および一部のプリンタに同梱されている EPSON プリンタウィンドウ !2 は、EPSON TCP/IP プリンタ（LPR プリンタ）を設定できます。この EPSON TCP/IP プリンタは、EpsonNet Direct Print による LPR プリンタと共存できます。

■ EpsonNet Direct Print と EPSON プリンタウィンドウ !2 または 3 をインストールしているコンピュータから、EPSON プリンタウィンドウ !2 または 3 をアンインストールした場合、EPSON プリンタウィンドウ !2 または 3 のフォルダ（EPSON フォルダ）は残ったままになります。
このフォルダは、LPR プリンタが正常に動作するために必要なフォルダです。削除しないでください。

■ EpsonNet Direct Print を使用するプリンタは、Windows の［プリンタ］フォルダ内で［プリンタ］アイコンをダブルクリックしたときに表示される画面から、プリントジョブを選択し、マウスを右クリックすると、印刷の一時停止、印刷の中止、印刷中のジョブ削除をすることができます。
ただし、プリンタ側で印刷ドキュメントの処理が始まってしまった場合には、完全に中断できない場合があります。

EpsonNet Direct Print のインストール

EpsonNet Direct Print のインストール方法を説明します。

> ポイント
> EpsonNet Direct Print を使用して印刷するプリンタは、他のコンピュータで共有することはできません（プリンタドライバのプロパティ画面に、共有画面が現れません）。

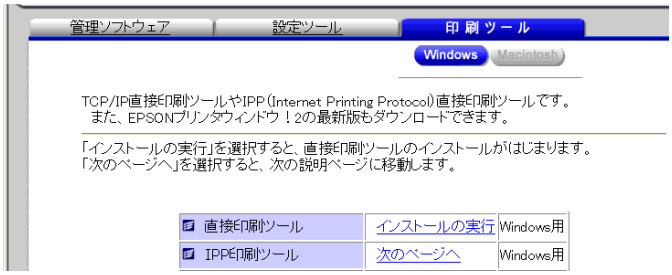
1 本製品に付属のソフトウェア CD-ROM をドライブにセットします。

自動的に［EPSON インストールプログラム］が起動します。

> ポイント
> ［EPSON　インストールプログラム］が自動的に起動しないときは、マイコンピュータの CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

2 ［EpsonNet ワールド］を選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［印刷ツール］タブをクリックして、［直接印刷ツール］の右側の［インストールの実行］をクリックします。



4 ［ファイルのダウンロード］画面で［このプログラムを上記の場所から実行］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。［セキュリティの警告］画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックします。

Windows Me/NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は、［ファイルのダウンロード］画面で［開く］ボタンをクリックしてください。

5 この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールが終了したら、コンピュータを再起動してください。

プリンタの接続と設定

EpsonNet Direct Print をインストールしたら、LPR 印刷をするプリンタを設定します。

ポイント

初期設定で検索できるのは、同一ネットワーク上のプリンタのみです。
他セグメントのプリンタに印刷する場合は、まず以下のページをご覧になり、探索範囲を設定してください。
「探索範囲の設定」158 ページ

TCP/IP 設定の確認

1. 設定に使うコンピュータに、TCP/IP が正しく設定されていることを確認します。
「コンピュータのネットワーク設定」24 ページ

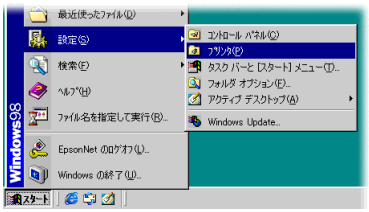
2. ネットワーク I/F に、初期値以外の IP アドレスが設定されていることを確認します。
ネットワーク I/F の IP アドレスは、ネットワーク I/F の設定をした方に確認してください。
「ネットワーク I/F の設定」-「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

プリンタの設定

Windows 98 の画面を例に説明します。画面やボタン名は OS により多少異なります。

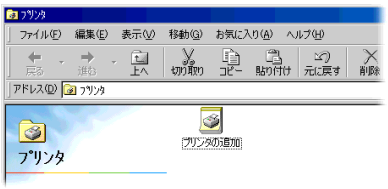
プリンタの指定

1 ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。



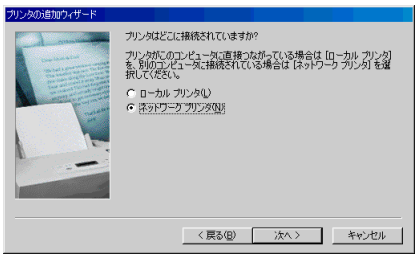
Windows XP/Server 2003 の場合、[スタート] ボタン -[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア] の順にクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックして、［次へ ］ボタンをクリックします。



Windows XP/Server 2003 の場合、[プリンタを追加する] をクリックして、[次へ] ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。



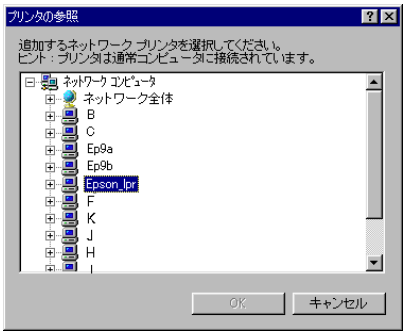
Windows NT4.0 の場合は、［ネットワークプリンタサーバー］を選択して［次へ］ボタンをクリック後、手順 5 に進んでください。Windows XP/Server 2003 の場合は、[ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択します。

4 ネットワークパスの指定画面で［参照］ボタンをクリックします。

Windows 2000 の場合は、［プリンタの検索］画面で［プリンタ名を入力するか［次へ］をクリックしてプリンタを参照します］を選択します。Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタの指定］画面で［プリンタを参照する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

⑤ ［プリンタの参照］画面で［Epson_lpr］をダブルクリックします。

Windows 2000/XP/Server 2003 は、［EpsonPeripheral Network］をダブルクリックします。Windows NT4.0 の場合は、［プリンタの接続］画面が表示されたら、［EpsonPeripheralNetwork］をダブルクリックします。



⑥ EPSON プリンタが、次の形式で表示されます。印刷に使うプリンタをクリックして［OK］または［次へ］ボタンをクリックします。

Windows 95/98/Me:
ネットワーク I/F の IP アドレス（プリンタ名）

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003：
¥¥Epson_lpr¥ ネットワーク I/F の IP アドレス（プリンタ名）

ポイント

■ ［プリンタの接続］画面が表示された場合は［ＯＫ］ボタンをクリックします。

■ 複数のプリンタがある場合、IP アドレスは若い順に表示されます。

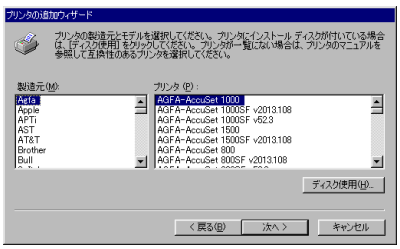
⑦ 表示される画面で、［次へ］または［OK］ボタンをクリックします。

プリンタドライバのインストール

⑧ コンピュータに、プリンタに付属のソフトウェア CD-ROM をセットします。

⑨ ［EPSON インストールプログラム］画面が表示されたら、［終了］ボタンをクリックして画面を閉じてください。

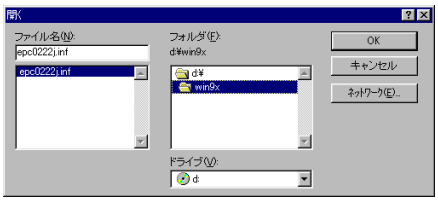
⑩ ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



⓫ **［ディスクからインストール］画面で、［参照］ボタンをクリックします。**

Windows 95/NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は［フロッピーディスクからインストール］画面が表示されます。

⓬ **接続したいプリンタの取扱説明書を参照して、OS ごとのプリンタドライバが格納されているフォルダをダブルクリックし、［OK］または［開く］ボタンをクリックします。**

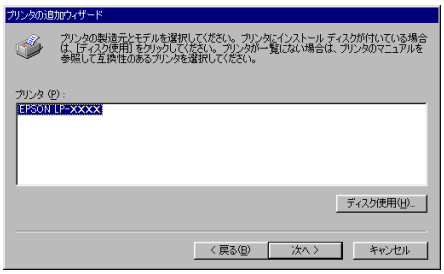


⓭ **［ディスクからインストール］画面に戻ったら、［OK］ボタンをクリックします。**

Windows 95/NT4.0/2000/XP/Server 2003 の場合は［フロッピーディスクからインストール］画面に戻ります。

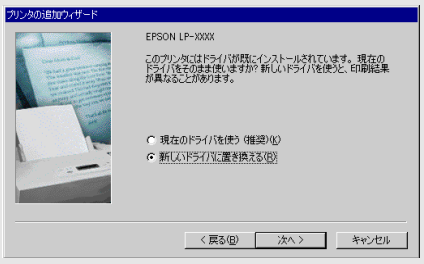
⓮ **リストからお使いの機種名を選択し、［次へ］または［OK］ボタンをクリックします。**

この後は画面の指示に従って設定してください。これでインストールは終了です。



ポイント

右の画面が表示された場合は、必ず［新しいドライバに置き換える］を選択してください。



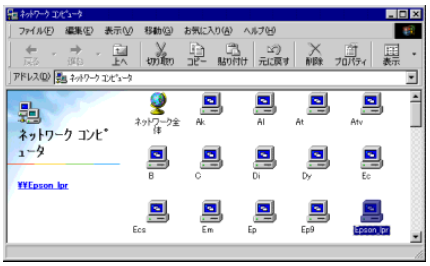
探索範囲および印刷方式の設定をする場合は、以下のページに進んでください。

☞「探索範囲の設定」158 ページ
☞「印刷方式の設定」160 ページ

探索範囲の設定

他のセグメントのプリンタに印刷する場合は、次の手順で検索範囲を設定してください。

❶ 以下を参照して、お使いの OS に応じた操作のしかたで、[Epson_lpr] を表示します。



Windows 95/98

［ネットワークコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

Windows Me

［ネットワーク全体］アイコンをダブルクリックします。

Windows NT4.0

［ネットワークコンピュータ］-［ネットワーク全体］-［EpsonPeripheralNetwork］をダブルクリックします。

Windows 2000

［マイネットワーク］-［ネットワーク全体］-表示画面左の［全内容］のリンク -［EpsonPeripheralNetwork］をダブルクリックします。

Windows XP Home Edition

［スタート］ボタン -［マイネットワーク］-表示画面左の［ネットワークタスク］から［ワークグループのコンピュータを表示する］-表示画面左の［その他］から［Microsoft Windows Network］-［ネットワーク全体］- 表示画面右の［EpsonPeripheralNetwork］をダブルクリックします。

Windows XP Professional/Server 2003

［スタート］ボタン -［マイネットワーク］-表示画面左の［その他］から［ネットワーク全体］-表示画面右の［EpsonPeripheralNetwork］をダブルクリックします。

❷ [Epson_lpr] を右クリックして、［プロパティ］を選択します。

3 次の画面が表示されたら、プリンタを探索する範囲を設定して［OK］ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容	
ローカル セグメント	印刷に使うコンピュータと同じセグメントのプリンタ（ネットワーク I/F）だけを探索する場合に、チェックを付けます。	
特定ネットワーク セグメント	ルータを越えたところにあるプリンタ（ネットワーク I/F）を探索する場合にチェックします。 下の項目に、探索するプリンタが存在するネットワークアドレスとサブネットマスクを入力してください。	
	IP アドレス	探索するプリンタ（ネットワーク I/F）の存在するネットワークアドレスを入力します。 例)192.168.1.0
	サブネット マスク	探索するプリンタ（ネットワーク I/F）が存在するネットワークセグメントのクラスに応じたサブネットマスクを入力します。 例)255.255.255.0
［OK ］ボタン	設定を保存します。	
［キャンセル］ ボタン	設定を取り消します。	
［適用］ボタン	画面を表示したままで設定を保存します。	

印刷方式の設定

印刷データの送信方法などを設定することができます。

❶ ［スタート］ボタン -［設定］-［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003の場合、[スタート] ボタン -[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタとFAX] の順にクリックします。

❷ プリンタアイコンを右クリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ プロパティの画面で、［詳細］タブにある［ポートの設定］ボタン（Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003は、［ポート］タブの［ポートの構成］ボタン）をクリックします。

ボタンをクリックしたとき、「このポートに対して設定する項目はありません」と表示された場合は、[OK] ボタンをクリックしてこのメッセージを閉じ、手順 4 に進んでください。

❹ 用途により印刷方式を切り替えます。

設定項目	設定内容	
LPR 印刷	標準印刷	印刷データをコンピュータに一旦スプールしてからプリンタに送信します。
	拡張印刷	印刷データを直接プリンタに送信します。標準印刷よりも高速に印刷できます。
高速印刷	最も高速に印刷したい場合に、選択します。 LPR 印刷で使用する LPD プロトコルを使わずに印刷します。	
印刷終了を通知する	チェックを付けると、印刷ジョブが終了したときに画面にメッセージが表示されます。 プリンタの機種によっては、この項目は無効です（グレー表示されます）。	

EpsonNet WebAssistの使い方

EpsonNet WebAssistの使い方について説明します。

EpsonNet WebAssistの概要.....162 ページ
EpsonNet WebAssistでのネットワーク I/F 設定.....163 ページ
インデックスとメニュー.....169 ページ
情報メニュー.....170 ページ
設定ーネットワークメニュー.....172 ページ
設定ーオプションメニュー.....181 ページ

EpsonNet WebAssist の概要

EpsonNet WebAssist は、Web ブラウザからネットワーク I/F を設定するためのユーティリティです。コンピュータにブラウザがインストールされ、コンピュータとネットワーク I/F の IP アドレスが設定されていれば、お使いいただけます。
EpsonNet WebAssist では、ネットワーク I/F の NetWare、TCP/IP、AppleTalk、MS Network、IPP、SNMP、Time を設定できます。
EpsonNet WebAssist は、次の環境で動作します。

対応機種（コンピュータ）

・下記の Web ブラウザが動作する環境

対応する Web ブラウザ

・Internet Explorer Ver.4.0 以降
・Netscape Navigator Ver.3.02 以降
・Netscape Communicator 4.0 以降

■ Windows NT4.0 をご利用の場合、Windows NT のバージョンがサービスパック 3 以上にアップグレードされている必要があります。
■ Web ブラウザには、［LAN を使用しての接続］を設定してください。また、ネットワーク I/F の URL（IP アドレス）には、プロキシを使用しない設定をしてください。
■ ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
「ダイヤルアップルータ使用時の注意」77 ページ

ネットワーク I/F

IP アドレスが設定されていること。

EpsonNet WebAssist でのネットワーク I/F 設定

EpsonNet WebAssist を使って、ネットワーク I/F を設定する方法について説明します。

EpsonNet WebAssist は、インストールの必要はありません。ただし、次の設定が終了している必要があります。

①設定に使うコンピュータへの TCP/IP 設定

「コンピュータのネットワーク設定」24 ページ

②設定に使うコンピュータへの Web ブラウザのインストール

③ネットワーク I/F への IP アドレス設定

「ネットワーク I/F を設定」-「設定方法の概要」45 ページ

ポイント

- EpsonNet WinAssist/MacAssist と EpsonNet WebAssist から、同時に同じネットワーク I/F に対して設定をしないでください。
- お使いの Web ブラウザにより、入力できる文字種の制限があります。詳細は、お使いのブラウザおよび OS のマニュアルを参照してください。
- ダイヤルアップ環境において、ネットワーク I/F を NetWare で使用しない場合は、NetWare 設定画面にある［NetWare］項目で［Disable］を選択する必要があります。
  NetWare を使用しない場合に［Enable］を設定しておくと、ダイヤルアップルータを使用したときに、余分な回線使用料のかかるおそれがあります。
  初期値は［Enable］です。

❶ EpsonNet WebAssist を起動します。

ポイント

NetWare の設定をする場合は、次の事項にご注意ください。

- 設定に使うコンピュータから、NetWare サーバまたは NDS コンテキストに、管理者権限でログインしておいてください。
- EpsonNet WebAssist には、プリントサーバモードでの EpsonNet WinAssist のような、プリントサーバ、キュー、プリンタを新規に作成する機能はありません。EpsonNet WebAssist でオブジェクトを設定するときは、前もって EpsonNet WinAssist、PCONSOLE または NWADMIN で作成した上で、そのオブジェクト名を入力してください。

Web ブラウザから起動する場合：

Web ブラウザを起動してネットワーク I/F の IP アドレスを入力し、[Enter]または［Return］キーを押します。

このとき、EpsonNet WinAssist/EpsonNet MacAssist は起動しないでください。

書式）http:// ネットワーク I/F の IP アドレス /
例）　http://192.168.100.201/

EpsonNet WinAssist/MacAssist から起動する場合：

EpsonNet WinAssist/MacAssist のリスト画面から、設定するプリンタを選択して［ブラウザの起動 ］ボタンをクリックします。

② 画面が表示されたら、メニューから設定する項目をクリックします。

ここでは、TCP/IP 情報の設定を例に説明しますので、［設定ーネットワーク］メニューの［TCP/IP］をクリックしてください。

ポイント

TCP/IP 以外の情報を設定する場合は、設定する項目をクリックし、以下のページを参照してください。

「設定ーネットワークメニュー」172 ページ

ネットワーク I/F の TCP/IP 設定

お使いの環境に合わせて、ネットワーク I/F を設定します。

③ IP アドレスや各種アドレスを設定します。

ポイント

■ IP アドレスなどを設定、変更するときは、必ずネットワーク管理者に値を確認してください。IP アドレスが分からない場合は以下のページをご覧ください。
「困ったときは」ー「全 OS 共通」185 ページ

■ 工場出荷時、IP アドレスは［192.168.192.168］に設定されていますが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値をいったん消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワーク I/F の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

［IP アドレスの取得方法］で、［Auto］または［Manual］を選択します。初期値では［Manual］が選択されています。

［Auto］を選択すると、プリンタの電源を入れるたびにプリンタドライバ上でプリンタポートの設定を変更する必要があります。そのため、TCP/IP 印刷をする場合は、［Manual］を選択して IP アドレスを設定することをお勧めします。

［Auto］を選択する場合は、電源を入れる順番を決めておくか、プリンタの電源を常時オンにしておけば、電源を入れるたびにプリンタポートを変更する必要はありません。

設定項目	選択項目	設定内容
IP アドレスの取得方法	Auto	DHCP や BOOTP サーバから IP アドレスを自動取得する場合に、選択します。これらのサーバがない環境では使用できません。設定に関しては各サーバの取扱説明書をご覧ください。
	Manual	下の［IP アドレス］欄で IP アドレスを設定する場合に、選択します。

ポイント

ダイヤルアップ環境でお使いの場合は注意が必要です。以下のページをご覧ください。
「ダイヤルアップルータ使用時の注意」77 ページ

設定項目	設定内容
IP アドレス	ネットワーク I/F の IP アドレスを入力します。IP アドレスが分からない場合は以下のページをご覧ください。 「困ったときは」ー「全 OS 共通」185 ページ ほかのネットワーク機器や、コンピュータですでに使用されている IP アドレスと重複しないようにしてください。 初期値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値をいったん消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワーク I/F の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 初期値は［255.255.255.0］です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイアドレスを入力します。ゲートウェイになるサーバやルータがある場合は、サーバやルータの IP アドレスを入力します。 初期値は［255.255.255.255］です。ルータがない場合は、初期値のままにしてください。

設定項目	設定内容
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定	DHCP サーバで IP アドレスが取得できない場合、[169.254.1.1] ～ [169.254.254.254]の IP アドレスが自動的に割り当てられます。使用する場合は、[Enable]を選択します。 ここで［Disable］が選択されており、DHCP サーバなどから応答がない場合、IP アドレスは初期値のままとなります。
PING による設定	PING による IP アドレスの設定をする場合は、[Enable] を選択します。EpsonNet WebManager を使う場合は［Disable］を選択します。
DNS サーバのアドレスを自動的に取得する	DNS サーバのアドレスを、DHCP サーバから自動的に取得する場合に［Enable］を選択します。
DNS サーバアドレス（使用順）	DNS サーバのアドレスを入力します。[DNS サーバのアドレスを自動的に取得する］で［Enable］を選択している場合でも、DHCP サーバから応答がない場合は、ここで設定した DNS サーバのアドレスが使用されます。設定したアドレスは、上位から優先的に使用します。使用しないフィールドには無効なアドレス（255.255.255.255）を設定してください。
ホスト名とドメイン名を自動的に取得する	ホスト名とドメイン名を DHCP サーバから自動的に取得する場合に［Enable］に設定します。
ホスト名	ネットワーク I/F を装着したホスト名およびドメイン名を設定します。［ホスト名とドメイン名を自動的に取得する］で［Enable］を選択している場合でも DHCP サーバから応答がない場合は、ここで設定したホスト名およびドメイン名が使用されます。Mac OS X のバージョン 10.2.4 以降 で Rendezvous をお使いの場合、ここのホスト名が Rendezvous 名になります。
ドメイン名	
ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する	ダイナミック DNS をお使いの環境で、設定したホスト名とドメイン名を DHCP サーバにより、DNS サーバに登録する場合にチェックします。ネットワーク I/F の IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名はダイナミック DNS によって自動更新されます。DNS サーバのアドレスとネットワーク I/F の［ホスト名］、［ドメイン名］が自動取得であるか、手動で入力されていないと、設定できません。
ネットワーク I/F のアドレスを　DNS サーバに直接登録する	設定したホスト名とドメイン名を直接 DNS サーバへ登録するときにチェックします。IP アドレスの設定方法が自動もしくは手動のどちらでも設定が可能です。
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする	Windows Me以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows で使用できるユニバーサルプラグアンドプレイの Enable/Disable を切り替えます。ユニバーサルプラグアンドプレイ機能をお使いになる場合は、［Enable］を選択してください。初期値は［Disable］です。 ユニバーサルプラグアンドプレイ機能については、以下のページを参照してください。 ☞「ユニバーサルプラグアンドプレイ機能」217 ページ
デバイス名	デバイス名を入力します。この名称は、ユニバーサルプラグアンドプレイ対応の Windows 上で使用されます。初期値は［プリンタ名＋MAC アドレスの下 6 桁］です。
Rendezvous 機能を有効にする	Mac OS X のバージョン 10.2.4 以降で Rendezvous を使って印刷する場合に［Enable］を選択します。

4 **各項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。**

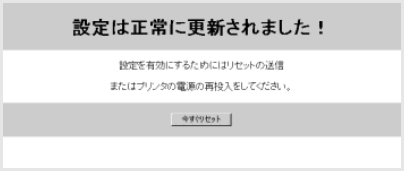
設定の保存

5 **ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。**
ユーザー名、パスワード共に、工場出荷時は何も設定されていません。［OK］ボタンをクリックすると、設定が送信されます。

ユーザー名とパスワードを変更する場合は、次のメニューで行います。
■ユーザー名：設定ーオプションー管理者情報メニューの［管理者名］項目
■パスワード：設定ーオプションーパスワードメニューの［新パスワード］項目

ポイント

「設定は正常に更新されました！」と表示されるまでは、ネットワーク I/F に情報を送っていますので、プリンタの電源を切ったり、印刷データをプリンタに送ったりしないでください。



6 **設定を有効にするため、画面の指示に従ってリセットをしてください。**

ポイント

IP アドレスを変更した場合は、ここでリセットすると今回設定した IP アドレスが有効になります。引き続き EpsonNet WebAssist を使う場合は、EpsonNet WebAssist の再読み込みが必要です。新しく設定した IP アドレスを URL に入力し、EpsonNet WebAssist の再読み込みをしてください。

Rendezvous の設定

ご利用の Mac OS X のバージョンが 10.2.4 以降で、IP アドレスの取得方法に、DHCP サーバおよび APIPA 機能を使うことで、ご利用になれる機能です。ただし、ネットワーク I/F の Rendezvous 機能は、初期値では［Disable］となっており、あらかじめ EpsonNet WebAssist を使用して Rendezvous 機能を［Enable］に設定する必要があります。また、EpsonNet WebAssist は、ネットワーク I/F に IP アドレスが設定されていないと起動することができません。ネットワーク I/F への IP アドレス設定は、EpsonNet WinAssist/MacAssist が必要です。
ここでは、あらかじめ EpsonNet WinAssist/MacAssist がインストールされていることを前提に説明します。

☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページ
☞「EpsonNet MacAssist のインストール」50 ページ

❶ コンピュータに IP アドレスを設定します。

詳しくは「コンピュータのネットワーク設定」-「Mac OS X の場合」-「TCP/IP の設定」をご覧ください。

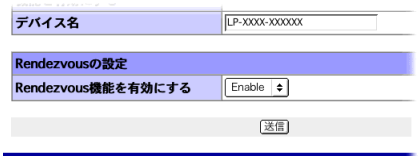
❷ EpsonNet WinAssist/MacAssist を使用して、ネットワーク I/F に IP アドレスを設定します。

詳しくは「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」46 ページをご覧ください。

❸ EpsonNet WebAssist を起動して、［設定 - ネットワーク］メニューの［TCP/IP］をクリックします。

詳しくは「EpsonNet WebAssist の使い方」161 ページを参照してください。

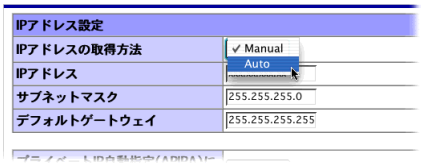
❹ ［TCP/IP］画面の［Rendezvous 機能を有効にする］ドロップダウンリストから［Enable］を選択します。



❺ ［TCP/IP］画面の［IP アドレスの取得方法］ドロップダウンリストから［Auto］を選択します。

以上で Rendezvous 機能の設定は終了です。Rendezvous を使って印刷するには以下をご覧ください。

☞「プリンタドライバのインストール」-「Mac OS X（10.2.x）の場合」112 ページ



❻ ［送信］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

ポイント

設定変更動作中は、プリンタの電源をオフにしたり、印刷データを送信したりしないでください。

インデックスとメニュー

EpsonNet WebAssist のすべての画面で共通の、インデックスとメニューについて説明します。

インデックス

設定項目	設定内容
Home	オープニング（基本情報）画面を表示します。
Favorite	［管理者情報］で設定されたリンク先を表示します。この項目名［Favorite］は、［設定 - オプションメニュー］の［お気に入り名］で変更することができます。
Help/ ?	ヘルプを別ウィンドウで表示します。
レビジョン情報	レビジョン情報を表示します。
EPSON	ホームページ「I Love EPSON」にジャンプし、別ウィンドウで表示します。

メニュー

情報	
基本情報	ネットワーク I/F の情報とプリンタの設定状況が確認できます。
NetWare	NetWare の設定状況が確認できます。
TCP/IP	TCP/IP の設定状況が確認できます。
AppleTalk	AppleTalk の設定状況が確認できます。
MS Network	MS Network の設定状況が確認できます。
IPP	IPP の設定状況が確認できます。
SNMP	SNMP の設定状況が確認できます。
Time	タイムサーバの設定状況が確認できます。

以下のページに詳しい説明があります。

☞「情報メニュー」170 ページ

設定 - ネットワーク	
NetWare	NetWare を設定します。
TCP/IP	TCP/IP を設定します。
AppleTalk	AppleTalk を設定します。
MS Network	MS Network を設定します。
IPP	IPP を設定します。
SNMP	SNMP を設定します。
Time	タイムサーバに関する設定をします。

以下のページに詳しい説明があります。

☞「設定ーネットワークメニュー」172 ページ

設定 - オプション	
管理者情報	管理者名と、このページからリンクする任意の URL などを設定します。
リセット	ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定に戻します。
パスワード	ネットワークの設定を保護するために、パスワードを設定します。

以下のページに詳しい説明があります。

☞「設定ーオプションメニュー」181 ページ

情報メニュー

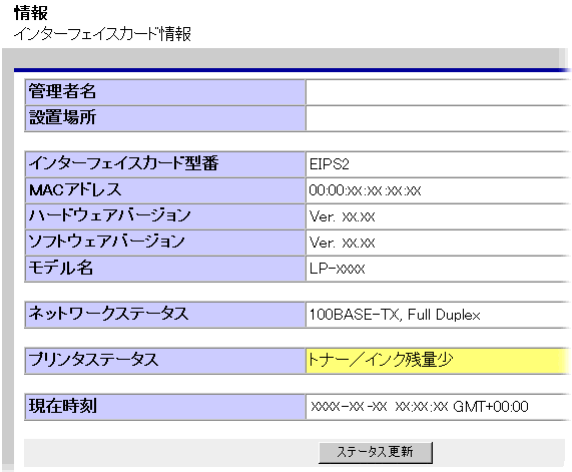
ネットワーク情報を表示します。

基本情報

ネットワーク I/F の情報と、プリンタの状態を確認できます。

ポイント

- MAC アドレスは、ネットワークステータスシートでも確認できます。
- プリンタステータスは自動的には更新されません。現在のステータスを知りたいときは、［ステータス更新］ボタンをクリックして最新の情報に更新してください。



項目	内容
管理者名	ネットワーク I/F の管理者名が表示されます。
設置場所	ネットワーク I/F の設置場所が表示されます。
インターフェイスカード型番	ネットワーク I/F の型番が表示されます。
MAC アドレス	ネットワーク I/F の MAC アドレスが表示されます。
ハードウェアバージョン	ネットワーク I/F のハードウェアバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	ネットワーク I/F のソフトウェアバージョンが表示されます。
モデル名	ネットワーク I/F を装着したプリンタのモデル名が表示されます。
ネットワークステータス	Ethernet の通信速度と通信モードを表示します。
プリンタステータス	プリンタの状態を知らせるメッセージに、背景色を付けて表示します。 緑：印刷可能または印刷中です。 黄：紙残量少またはトナー／インク残量少です。 赤：紙詰まり、紙なし、トナー／インクなし、カバーオープン、オフライン、エラーのいずれか。
現在時刻	指定したタイムサーバによる取得時刻を表示します。
［ステータス更新］ボタン	クリックすると、プリンタの最新情報が表示されます。

NetWare、TCP/IP、AppleTalk、MS Network、IPP、SNMP、Time

これらの項目については、以下のページを参照してください。
☞「設定ーネットワークメニュー」172 ページ

設定－ネットワークメニュー

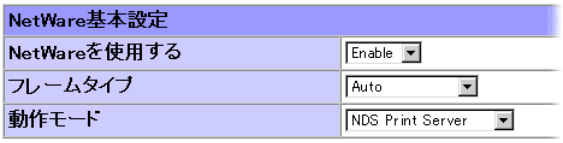
ネットワーク設定画面について説明します。

NetWare

ポイント

［NetWare］ではすべての項目が入力可能ですが、お使いの NetWare の動作モードによって、設定の必要な項目が異なります。以下の説明をご覧になり、各動作モードで必要な項目のみ設定してください。

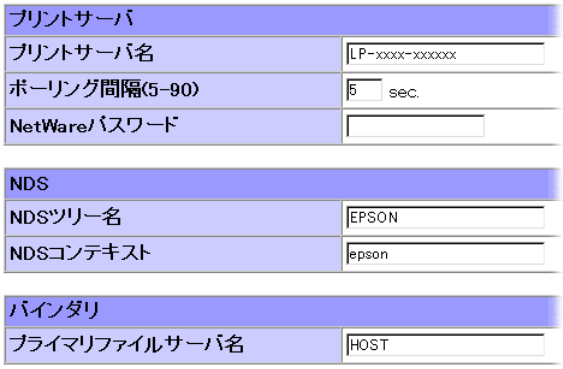
NetWare 基本設定



設定項目	設定内容
NetWare を使用する	NetWare を使う場合は［Enable］を選択します。 ［Disable］は NetWare を使用しない場合や、ダイヤルアップ環境で NetWare を［Enable］にしておくと不都合がある場合に選択します。
フレームタイプ	フレームタイプを選択します。
動作モード	お使いのモードに合わせて選択します。 4.xJ/5.xJ/6.xJ NDS プリントサーバをお使いの場合： NDS Print Server を選択 3.xJ/4.xJ バインダリプリントサーバをお使いの場合： Bindery Print Server を選択 リモートプリンタモードの場合： Remote Printer を選択 NetWare を使用しない場合： Standby を選択

プリントサーバ /NDS/ バインダリ

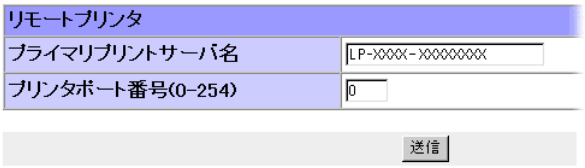
［動作モード］で［NDS Print Server］または［Bindery Print Server］を選択した場合は、プリントサーバを設定します。



設定項目	設定内容
プリントサーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。 初期値：プリンタ名 - ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ポーリング間隔（5 ～ 90）	通常は設定不要です。 ポーリング間隔を、5 ～ 90 秒以内で設定します。 詳しくは NetWare のマニュアルをご覧ください。
NetWare パスワード	通常は設定不要です。 ネットワーク I/F がプリントサーバへログインするためのパスワードを、半角英数 20 文字以内で設定します。
NDS ツリー名	［NDS Print Server］の場合のみ、ツリー名を半角英数 31 文字以内で入力します。リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。
NDS コンテキスト	［NDS Print Server］の場合のみ入力します。 NDS コンテキストを半角英数 255 文字以内で入力します。2 バイト文字は使えません。 先頭に「.」は付けないでください。 リモートプリンタモードの場合は、入力不要です。
プライマリファイルサーバ名	［Bindery Print Server］の場合のみ入力します。 プリントサーバがログインするファイルサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。

リモートプリンタ

［動作モード］で［Remote Printer］を選択した場合は、リモートプリンタを設定します。



設定項目	設定内容
プライマリプリント サーバ名	プリントサーバ名を、半角英数 47 文字以内で設定します。
プリンタポート 番号 (0 ー 254)	リモートプリンタのプリンタ番号を設定します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

TCP/IP

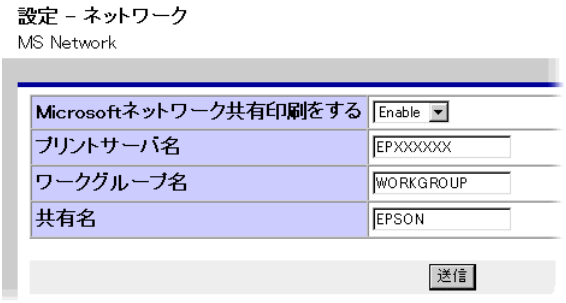
TCP/IP の設定画面については、以下のページをご覧ください。
☞「EpsonNet WebAssist でのネットワーク I/F 設定」163 ページ

AppleTalk

設定項目	設定内容
AppleTalk を使用する	AppleTalk を使う場合は［Enable］を選択します。
プリンタ名	プリンタ名を半角英数 32 文字以内で、プリンタを特定しやすい名前を入力します。 初期値：プリンタ名 - ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
エンティティタイプ	プリンタのエンティティタイプが表示されます。
ゾーン名	ゾーン名を設定します。［ネットワーク番号設定］で［Auto］を選択した場合、＊を入力すると自動的に設定されます。
ネットワーク番号の取得方法	ネットワーク番号の取得方法を選択します。通常は［Auto］を選択します。
手動設定時のネットワーク番号 (0-65534)	上の欄で［Manual］を選択した場合に、0 から 65534 の番号を入力します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

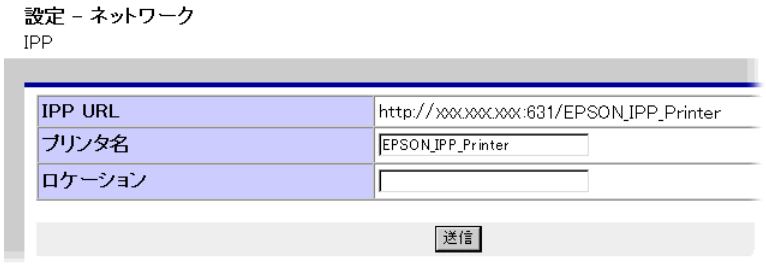
MS Network



設定項目	設定内容
Microsoft ネットワーク共有印刷をする	MS Network を使う場合は［Enable］を選択します。 他のプロトコルを使用せず MS Network 環境でのみお使いの場合、設定は不要です。
プリントサーバ名	プリントサーバ名を半角英数 15 文字以内で入力します。ネットワーク上にある他のコンピュータと重複しないようにしてください。 初期値：EP + ネットワーク I/F の MAC アドレスの下 6 桁
ワークグループ名	Windows ネットワークで使用中のワークグループ名またはドメイン名を、半角英数 15 文字以内で入力します。
共有名	プリンタの共有名を半角英数 12 文字以内で入力します。LPT1、LPT2、LPT3、COM などは使用できません。 ネットワーク （ ワークグループ ）上では、この名前がプリンタ名として表示されますので、クライアントがプリンタを特定しやすい名称にしておいてください。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

IPP



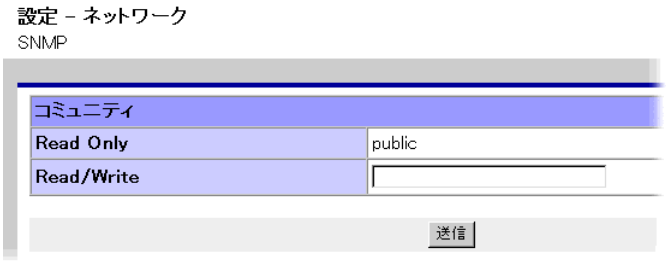
設定項目	設定内容
IPP URL	IPP 印刷時のポートとなる URL が表示されます。クライアントがポートを指定するときはこの文字列を入力しますので、この URL をクライアントに知らせてください。 書式）http:// ネットワーク I/F の IP アドレス：631/ 下記の項目で設定したプリンタ名
プリンタ名	プリンタ名を入力します。入力したプリンタ名は、［IPP URL］に反映されます。 プリンタを特定しやすい名前を入力します。 半角英数 127 文字以内で入力してください。
ロケーション	プリンタの設置場所を、半角英数 64 文字以内で入力します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

SNMP

SNMP コミュニティやトラップ情報の設定ができます。IP トラップと IPX トラップは、それぞれ 4 つまで設定できます。

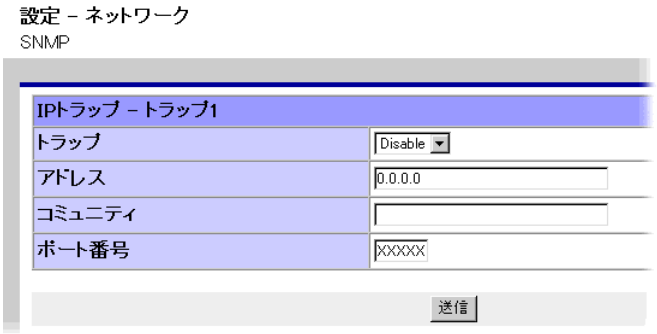
コミュニティ



設定項目	設定内容
コミュニティ	コミュニティ名が表示されます。
Read Only	public と表示されます。
Read/Write	MIB Read/Write 権を持つコミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

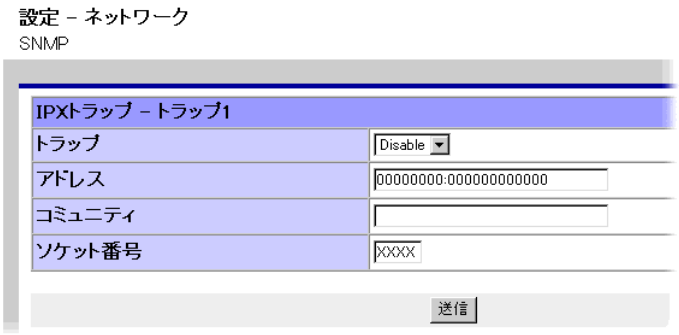
IP トラップ



設定項目	設定内容
トラップ	IP トラップを有効にする場合、［Enable］を選択します。初期値は［Disable］です。
アドレス	トラップ送信先の IP アドレスを入力します。
コミュニティ	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。
ポート番号	トラップを受け取るホストのポート番号を 10 進数で設定します。（0 ～ 65535）

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

IPX トラップ

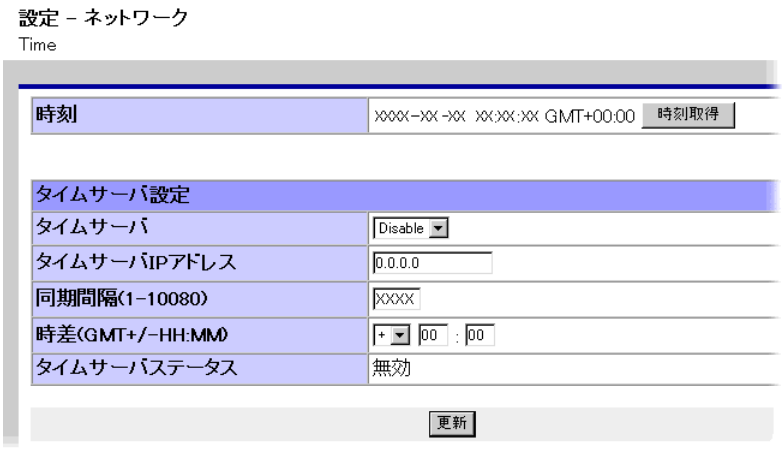


設定項目	設定内容
トラップ	IPX トラップを有効にする場合、[Enable] を選択します。初期値は [Disable] です。
アドレス	トラップ送信先の IPX アドレスを入力します。 書式）ネットワークアドレス：ノードアドレス（MAC アドレス）
コミュニティ	コミュニティ名を、半角英数 32 文字以内で入力します。
ソケット番号	トラップを受け取るホストのソケット番号を 16 進数で設定します。 (0 ～ FFFF)

必要な項目を設定後、[送信] ボタンをクリックします。設定が保存されます。

Time

［情報 -Time］、［設定 -Time］をクリックすると、時刻情報を表示することができます。正しい時刻に合わせるためには、［タイムサーバ設定］を設定します。



設定項目	設定内容
時刻	ネットワーク I/F が取得する現在時刻を表示します。［時刻取得］ボタンをクリックすると時刻を再表示します。この時、［タイムサーバ設定］が［Enable］である必要があります。
タイムサーバ	タイムサーバによる時刻合わせの許可（Enable）／禁止（Disable）を設定します。
タイムサーバ IP アドレス	タイムサーバの IP アドレスを設定します。
同期間隔（1-10080）	タイムサーバへの時刻同期の間隔を設定します。
時差 （GMT ＋ / － HH：MM）	世界標準時（GMT）からの差を設定します。
タイムサーバステータス	タイムサーバとの接続状態を表示します。 成功：タイムサーバとの時刻同期が正しく行われている。 同期：プリンタまたはプリンタに接続された機器に時刻同期している。 失敗：タイムサーバーとの時刻同期が失敗している。 無効：時刻同期が行われていない。 （［タイムサーバ］：［Disable］）

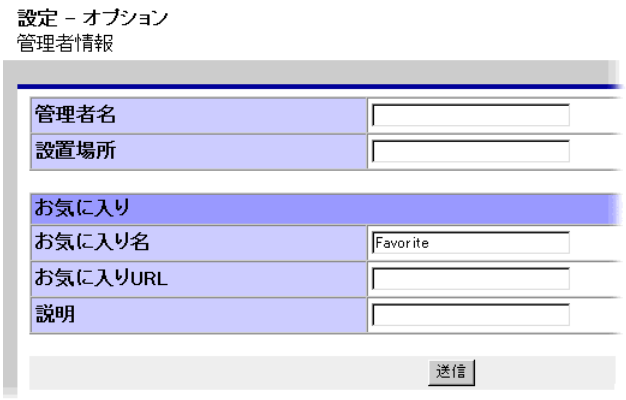
必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

設定ーオプションメニュー

オプション設定画面について説明します。

管理者情報

ネットワーク I/F の管理者名を設定できます。また、よく使う任意の URL を設定すると、インデックスの［Favorite（名前は変更可能）］からリンクすることができます。パスワードを設定してある場合は、パスワードの入力が必要です。

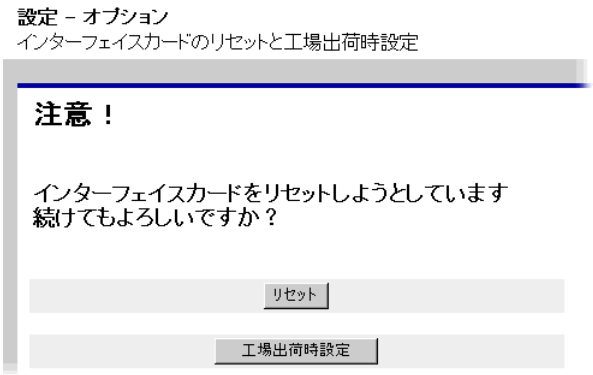


設定項目	設定内容
管理者名	ネットワーク I/F の管理者名を、半角英数 255 文字以内または全角 127 文字以内で入力します。
設置場所	ネットワーク I/F の設置場所を、半角英数 255 文字または全角 127 文字以内で入力します。
お気に入り名	リンク名を半角英数 20 文字以内または全角 10 文字以内で入力します。
お気に入り URL	リンクしたい URL を半角英数 64 文字以内で入力します。ftp: へのリンクはできません。
説明	リンク先の説明を半角英数 64 文字または全角 32 文字以内で入力します。入力した内容は本画面でのみ表示します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

リセット

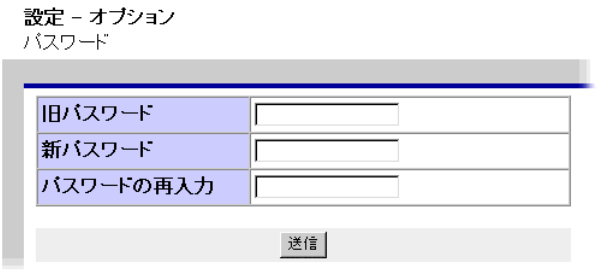
ネットワーク I/F のリセットおよび工場出荷時設定をします。
終了のメッセージが表示されたら、更新は完了です。



設定項目	設定内容
［リセット］ボタン	ネットワーク I/F の設定を有効にします。各設定の終了画面で［今すぐリセット］をクリックするか、プリンタの電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要です。
［工場出荷時設定］ボタン	ネットワーク I/F のすべての設定を工場出荷時の設定に戻します。

パスワード

パスワードは、ネットワーク I/F の設定を保護するためのものです。設定画面を開くときや、設定を保存するときに使います。
半角英数 20 文字以内で入力します（大文字・小文字が区別されます）。
工場出荷時状態では、パスワードは何も登録されていません。



設定項目	設定内容
旧パスワード	現在使用しているパスワードを入力します。
新パスワード	新しいパスワードを入力します。
パスワードの再入力	新しいパスワードを再入力します。

必要な項目を設定後、［送信］ボタンをクリックします。設定が保存されます。

ポイント

- パスワードは、EpsonNet WinAssist/MacAssist/WebAssist で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合は、パスワードの管理に注意してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、ネットワーク I/F を工場出荷時の設定に戻す必要があります。
「ネットワーク I/F の初期化」209 ページ

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明します。

全 OS 共通 ..... 185 ページ
Windows 95/98/Me ..... 189 ページ
Windows NT/2000/XP/Server 2003 ..... 190 ページ
Macintosh ..... 192 ページ
NetWare ..... 193 ページ

全 OS 共通

ネットワーク I/F の設定ができない / ネットワーク印刷ができない

処置 1)

まず、ネットワークステータスシートが印刷できるかどうかご確認ください。
ネットワークステータスシートの印刷ができない場合は、プリンタ本体の操作パネルにある［I/F カード］設定が、［ツカウ］になっているか確認してください。
ネットワークステータスシートの印刷が可能な場合は、ネットワークステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないかご確認ください。
☞「ネットワークステータスシート」204 ページ

処置 2)

HUB 、ケーブルなどが正常かご確認ください。まず HUB を見て、デバイスが接続されているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。
リンクランプが消灯している場合は、次のことを確認してください。

■他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか
■使用しているケーブルが断線していないかどうか

処置 3)

TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているかご確認ください。
初期値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、初期の状態のままでは使用できません。この IP アドレス（192.168.192.168）を使用する場合は、初期値をいったん消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワーク I/F の IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。

設定する IP アドレスが分からない

処置）

外部との接続（インターネットへの接続、電子メールなど）を行う場合は、JPNIC（http://www.nic.ad.jp/）に申請を行って IP アドレスを正式に取得していただく必要がありますので、ネットワーク管理者へご相談ください。
IP アドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行わないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスをご使用になることも可能です（RFC1918 で規定されています）。
プライベートアドレス：
10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

設定した IP アドレスが変わってしまう

処置 1）

固定アドレスを設定してください。TCP/IP の設定で、[IP アドレスの取得方法] を［自動］に設定していないかをご確認ください。［自動］を選択すると、プリンタの電源を入れるたびに、IP アドレスが変わってしまいます。

☞「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」-「ネットワーク I/F 設定」52 ページ

処置 2）

［自動］に設定する場合は、プリンタの電源を入れる順番を決めていただくか、電源を常時オンにしておいてください。

処置 3）

TCP/IP の設定で、[PING による設定] のチェックが外れていることを確認してください。チェックされていると、外部から ARP/PING コマンドで IP アドレスが変更されてしまう可能性があります。

印刷時間に時間がかかる / データの末尾が欠けた状態になる

処置）

接続されている HUB の通信モードに合わせネットワーク I/F の通信モードを固定させてください。

ネットワーク I/F の通信モードが初期値設定（自動認識）の場合、接続されている HUB の通信モード（全二重 / 半二重）が固定されていると、ネットワーク I/F と HUB の通信モードに不整合が起きます。その結果、プリンタの排紙ランプが点滅したままの状態になり、印刷速度が異常に遅くなったり、またはタイムアウトにより末尾のデータが欠けた状態で出力されたりする場合があります。

以下のページをご覧になり、接続されている HUB の通信モードに合わせネットワーク I/F の通信モードを固定させてください。

☞ 「通信モードの固定方法」211 ページ

EpsonNet WinAssist が起動できない

処置）

EpsonNet WinAssist のインストール後に、OS 上でプロトコルやサービスの追加、削除を行うと、EpsonNet WinAssist が起動しなくなります。EpsonNet WinAssist を削除し、再インストールしてください。

☞ 「ユーティリティの削除方法」213 ページ
☞ 「EpsonNet WinAssist のインストール」48 ページ

EpsonNet WinAssist の起動時に「ネットワークがインストールされていないため、EpsonNet WinAssist を使用することはできません」と表示される

このメッセージは、次のような場合に表示されます。

- コンピュータに TCP/IP 、IPX/SPX のどちらのプロトコルも組み込まれていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、コンピュータの IP アドレスが正しく設定されていない場合
- コンピュータに TCP/IP プロトコルのみが組み込まれていて、DHCP サーバから各種アドレスを取得する設定下で、DHCP サーバが応答しない場合

処置）

［OK］ボタンをクリックするとEpsonNet WinAssist が起動しますが、TCP/IP の設定はできません。お使いのコンピュータのネットワーク設定を行ってください。

☞「コンピュータのネットワーク設定」24 ページ

EpsonNet WebAssist が起動できない

処置）

EpsonNet WebAssist を実行するには、まず、EpsonNet WinAssist/MacAssist、または ARP/PING コマンドを使用して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定する必要があります。現在の設定は、ネットワークステータスシートの［IP Address］欄で確認できます。

☞「ネットワーク I/F の設定」-「設定方法の概要」45 ページ

ARP/PING コマンドでネットワーク I/F の IP アドレスを設定できない

処置）

ping コマンドを実行後、「Reply from （IP address): ...」のメッセージが確認できず、「Request Time Out」や「Reply from .....: Destination host unreachable」などのメッセージが表示される場合は、接続しているネットワークケーブル、ネットワーク機器などのネットワーク環境を確認してください。なお、ARP/PING コマンドによる設定は、同一ネットワーク上でのみ行うことができます。

EpsonNet WinAssist の［モデル名］に何も表示されず、［IP アドレス］に［NONE］と表示される

処置 1）

ネットワーク I/F の IP アドレスが初期値の場合、［モデル名］と［IP アドレス］が表示されない場合がありますが、ネットワーク I/F の設定は行えます。この場合、ネットワーク I/F は MAC アドレスで判別します。MAC アドレスは、ネットワークステータスシートの［MAC Address］欄で確認できます。

☞「ネットワークステータスシート」204 ページ

ネットワーク I/F の設定を行うと、正しく表示されるようになります。

処置 2）

EpsonNet WinAssist の［表示］メニューの［最新の状態に更新］を実行してください。

処置 3）

EpsonNet WinAssist の［ツール］メニューの［タイムアウト設定］で、タイムアウト時間を大きい値に設定してください。この場合、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなります（探索に時間がかかります）。ご注意ください。

EpsonNet Direct Print を使用するプリンタドライバのプロパティ画面に、共有画面が現れない

処置）

EpsonNet Direct Print を使用して印刷するプリンタは、他のコンピュータで共有することはできません。そのため、プリンタドライバのプロパティ画面に、共有画面が現れません。

EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）

ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

印刷を実行したときや、プリンタのプロパティを開いたとき、通信エラーのメッセージが表示される場合がある

処置）

MS Network または IPP をご使用の場合、EPSON プリンタウィンドウでの監視は行えません。この場合、次のようにすると、エラーが表示されなくなります。

- プリンタドライバのプロパティで、[環境設定] タブの画面にある［ オプション情報を手動で設定する] にチェックを付けてください。
- プリンタドライバのプロパティで、[ユーティリティ] タブの画面にある［印刷中プリンタのモニタを行う] のチェックを外してください。

EpsonNet Direct Print を使って印刷した時に、ダイヤルアップ接続ダイアログが表示される

処置）

ダイヤルアップでインターネットに接続するよう設定されている場合に、このメッセージが表示されることがあります。キャンセルするとその後は正常に印刷されますが、Windows 起動後の最初の印刷時に、毎回メッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないようにするには、LAN 接続でインターネットに接続するよう設定するか、手動でダイヤルアップネットワークを起動してください。

Windows NT Server4.0/3.51 経由で、管理者以外のクライアントから印刷できない

処置）

プリントサーバ上でプリンタのアクセス権リストから、[Creater Owner] が削除されている場合、もしくは [Creater Owner] の権利が [印刷] か [アクセス権なし] に設定されている場合にこの現象が発生します。正しく印刷するには、[Creater Owner] の権利を [文書 / ドキュメントの管理] に設定する必要があります。初期設定は [文書 / ドキュメントの管理] です。

印刷を実行したときや、プリンタのプロパティを開いたとき、通信エラーのメッセージが表示される場合がある

処置）

印刷プロトコルとして MS Network または IPP をご使用の場合､EPSON プリンタウィンドウでの監視は行えません。この場合、次のようにすると、エラーが表示されなくなります。

- プリンタドライバのプロパティで、[環境設定] タブの画面にある [オプション情報を手動で設定する] にチェックを付けてください。
- プリンタドライバのプロパティで、[ユーティリティ] タブの画面にある [印刷中プリンタのモニタを行う] のチェックを外してください。

NTFS を使用している Windows NT Server3.51 経由で、クライアントから TCP/IP 印刷ができない

処置）

Windows NT Server の ¥¥WINNT35¥SYSTEM32¥SPOOL¥PRINTERS ディレクトリで、アクセス権の設定変更が必要です。

☞ 「プリンタドライバのインストール」-「スプールディレクトリのアクセス権を変更する」110 ページ

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 環境からネットワーク経由（ピア・トゥ・ピアを含む）で印刷を実行すると、データの一部が印刷できない

処置）

上記の OS 環境からエプソン製インクジェットプリンタに、ネットワーク経由（ ピア・トゥ・ピアを含む ）で印刷を行うと、データの一部が印刷されない場合があります。このような場合には、NET USE コマンドを使用して、リダイレクトを行う（ローカルポートをネットワークプリンタに割り当てる）と回避できます。以下の手順で設定を変更してください。

① ［コントロールパネル］の［アプリケーションの追加と削除］で、すでにインストールされているプリンタドライバを削除してください。
② プリンタに付属のソフトウェア CD-ROM から、プリンタドライバを再インストールしてください。
③ プリンタドライバのインストール完了後、プリンタのプロパティから、印刷するポートを［LPT2:］などの使用していないローカルポートに設定してください。
④ コマンドプロンプトを起動して、次のコマンドを実行します。

書式） C:¥>net_use_ローカルポート名:_¥¥ネットワークI/Fのプリントサーバ名¥ネットワークI/Fの共有名¥/PERSISTENT：YES
（_は半角スペース）
例）C:¥>net_use_lpt2:_¥¥EPxxxxxx¥EPSON¥/PERSISTENT：YES
（MJ-8000Cを使用した環境の場合）

上記の設定を解除する場合は、“ネットワーク I/F のプリントサーバ名”以降の部分を“/d”に変更して NET USE コマンドを実行してください。

書式 ） C:¥>net_use_ ローカルポート名 :_/d（_ は半角スペース）
例） C:¥>net_use_lpt2:_/d

⑤ コンピュータを再起動します。

Macintosh

セレクタにプリンタが表示されない（Mac OS 8.x/9.x）

処置 1）

次のことを確認してください。

■ Open Transport 搭載機種の場合：
コントロールパネルの［AppleTalk］で［Ethernet］が選択されているか

■ Open Transport 非搭載機種の場合：
コントロールパネルの［ネットワーク］で［EtherTalk］が選択されているか

処置 2）

QuickDraw GX を使用していないかを確認してください。
プリンタドライバは、QuickDrawGX に対応していません。漢字 Talk7.5 以上をお使いの場合は、次の手順で QuickDrawGX を使用停止にしてください。

① ［caps lock］キーを解除しておきます。

② スペースキーを押したままにして Macintosh を起動します。（機能拡張マネージャが開きます。）

③ QuickDrawGX 拡張機能をクリックして［使用停止］にします。（チェックのない状態になります。）

④ 機能拡張マネージャを閉じます。

セレクタで AppleTalk が［使用］になっているか、HUB、ケーブルなどのネットワーク機器もあわせてご確認ください。

［プリントセンター］の［追加］ドロップダウンリストでプロトコルを選択しても、プリンタが表示されない。（Mac OS X）

処置 1）

プリンタドライバがインストールされているか

処置 2）

■ EPSON AppleTalk の場合
［システム環境設定］の［ネットワーク］-［AppleTalk］タブで、［AppleTalk を使用］にチェックが付いているか

■ EPSON TCP/IP の場合
・［システム環境設定］の［ネットワーク］-［TCP/IP］タブで、各種アドレスの設定がされているか

・ネットワーク I/F に初期値以外の正しい IP アドレスが設定されているか

■ Rendezvous の場合
・EpsonNet WebAssist の［設定 - ネットワークメニュー］-［TCP/IP］で、［Rendezvous 機能を有効にする］が［Enable］に設定されているか

NetWare

NetWare サーバ経由の印刷で、クライアントでは印刷が終了するが、プリンタから出力されない

処置）

サーバでキュー / プリントサーバのユーザの中に、印刷を行おうとしているユーザが登録されているか確認してください。また、NetWare サーバに本ネットワーク I/F がログインしているかどうか確認してください。

EpsonNet WinAssist/WebAssist が正しく起動しない

処置）

Microsoft の Service for NetWare Directory Service がインストールされているマシンでは、EpsonNet WinAssist/WebAssist が正常に起動しない場合があります。
NDS サービスをご利用の場合は Novell クライアントサービスをインストールしてください。

EpsonNet WinAssist のリスト画面で、IPX グループにプリンタが表示されない

処置）

次の項目を確認してください。

- プリンタの電源がオンになっているか
- ネットワーク I/F が、EpsonNet WinAssist を使用しているコンピュータと同一セグメントにあるか（同一セグメントにない場合は、ツールメニューの探索オプションで設定してください）
- EpsonNet WinAssist を起動するコンピュータから、管理者権限でログインしているか

EpsonNet WinAssist の起動に時間がかかる

コンピュータに Novell クライアントサービスなどをインストールしている場合や、Microsoft 社製 NetWare クライアントをインストールしている場合、ダイヤルアップネットワークに IPX を使用するため、EpsonNet WinAssist の動作が遅くなる場合があります。これらが必要でない場合は、使用しない設定にしてください。

処置）

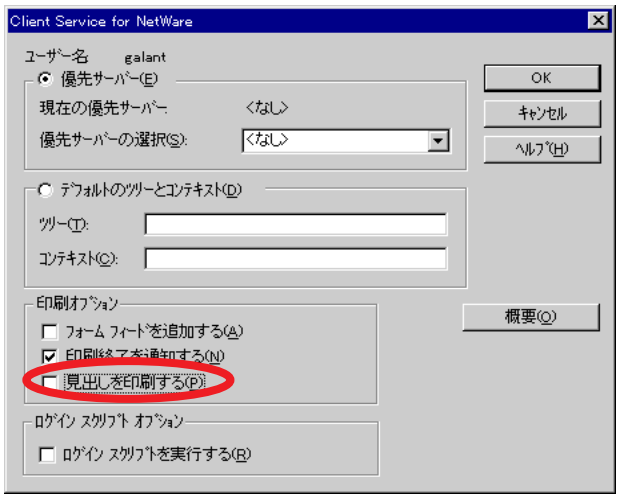
① ［マイコンピュータ］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］で、IPX/SPX 互換プロトコルを使用しないネットワークアダプタを選択して、［プロパティ］を起動します。
② ［バインド］タブを選択して、使用しない IPX/SPX 互換プロトコルや、Novell NetWare クライアント用プロトコルのチェックを外します。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 から NetWare4.xJ 経由で印刷すると、NetWare のバナー（見出し）が印刷されてしまう

処置)

CSNW (Client Service for NetWare) や GSNW (Gateway Service for NetWare) の[印刷オプション］の設定で［見出しを印刷する］のチェックボックスにチェックされているためです。このチェックを外すと、バナーは出力されなくなります。

上記 OS の［コントロールパネル］で［CSNW］または［GSNW］を起動し、[印刷オプション］で［見出しを印刷する］チェックボックスのチェックを外してください。



Windows 95/98 から NetWare 経由で印刷を実行すると、次のようなエラーが表示されて印刷できない

サーバーコンソール画面では［out of disk space］のメッセージが表示される

処置)

2 つの原因が考えられます。下記をご覧ください。

- NetWare サーバの SYS ボリュームがいっぱいに近い状態です。
  この場合は NetWare サーバの SYS ボリュームの空きを増やしてください。
- キューディレクトリへの書込み権限がありません。
  この場合は NetWare サーバの SYS ボリュームで、キューディレクトリへの書込み権限を与えてください。

その他の便利な機能の紹介

ここでは、次の内容を紹介します。

ネットワークプリンタの導入を簡単にする機能（Windows のみ）
「プリンタドライバの自動インストール」.....196 ページ

ネットワークプリンタを日常使用する上で便利な機能
「ネットワークプリンタの状態確認」..... 197 ページ

ネットワークプリンタを管理する上で便利な機能
「ネットワーク管理ツールのご案内」.....198 ページ

プリンタドライバの自動インストール

プリンタドライバの自動インストール機能は、ネットワーク接続されたプリンタのエプソン製 Windows 用プリンタドライバだけが利用できる機能です。
任意のコンピュータにクライアント用のプリンタドライバを格納しておき、それをクライアントがコピーすることで、プリンタドライバのインストール作業を簡略化することができます。プリンタドライバの自動インストールには次の方法があります。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、下記のページをご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

EpsonNet Install Wizard のプリンタドライバ自動インストール機能

プリンタドライバを簡単にインストールするためのユーティリティです。
ネットワーク内のコンピュータにプリンタドライバを簡単にインストールできます。また、新規に導入するネットワークプリンタの設定も可能です。
この機能は、各種 Windows で利用できます。

EpsonNet WebManager のプリンタドライバ自動インストール機能

1. **管理ユーティリティ「EpsonNet WebManager」をインストールしたコンピュータに、Windows 用のプリンタドライバを格納します。**
2. **クライアント PC の Web ブラウザから管理者に指定された URL にアクセスすると、コンピュータに格納されているプリンタドライバが自動的にインストールされます。**

EpsonNet NDPS Gateway のプリンタドライバ自動インストール機能

EpsonNet NDPS Gateway は、NetWare の NDPS（Novell Distributed Print Services）環境で EPSON プリンタからの印刷や、EPSON プリンタの状態監視を可能にするゲートウェイソフトウェアです。
EpsonNet NDPS Gateway のセットアップツールを使うと、リソース管理サービス（RMS）に、プリンタドライバをアップロードできます。一度この方法でプリンタドライバが RMS にインストールされると、その後 EPSON プリンタが、ワークステーションへ自動的にインストールされます。この機能は、各種 Windows で利用できます。

ネットワークプリンタの状態確認

ここでは、ネットワークプリンタの状態を確認できるユーティリティを紹介します。これらのユーティリティを活用すると、離れた場所にあるプリンタを自分のコンピュータから設定したり、トラブルを確認することができます。
下記のユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

クライアント用ユーティリティ

EPSON プリンタウィンドウ

プリンタに付属しているユーティリティで、対応 OS はプリンタドライバと同様です。ネットワークプリンタの用紙やトナー / インク残量と、エラー内容などを確認することができます。
EPSON プリンタウィンドウの詳細については、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

MS Network または IPP 印刷をする場合、EPSON プリンタウィンドウは使用できませんのでご注意ください。

管理者用ユーティリティ

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager は、Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。ネットワークプリンタの状態を確認できるほか、ネットワークに関する各種設定を行うことができます。
プリンタの管理には業界標準の SNMP/MIB を使用していますので、MIB に対応している他社製プリンタの管理も可能です（プリンタメーカによってプリンタ MIB の実装に一部違いがあり、同じ情報でも EpsonNet WebManager で取得できない場合があります）。

ネットワーク管理ツールのご案内

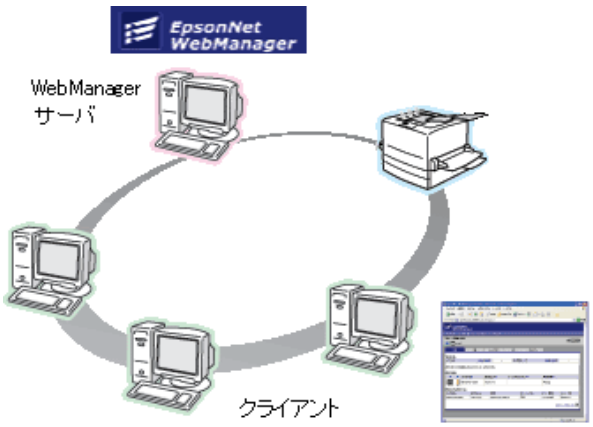
EPSON では、オフィスの中でさらに効果的・効率的に EPSON プリンタをお使いいただくためのネットワーク管理ツールをご提供しております。
印刷だけでなく、トータルなプリンタ管理を含めてご提案しております。ぜひご活用ください。
ユーティリティの詳細や入手方法については、以下のページをご覧ください。
☞「ツール / ソフトウェアの入手方法」15 ページ

ネットワークプリンタ管理

EpsonNet WebManager

EpsonNet WebManager とは

EpsonNet WebManager は Web ブラウザベースのネットワークプリンタ管理ユーティリティです。以下のようなネットワーク管理者の要望を解決します。
■オフィスのプリンタの状態を常に把握しておきたい
■管理するプリンタのエラー状況を一目で把握したい
■エラーが起きたプリンタがどこにあるかをすぐ知りたい
■ユーザが使用するプリンタドライバのバージョンを一元管理したい



EpsonNet WebManager を使うと

ネットワーク上のプリンタを探し出して、集中管理できます。オフィス毎や課単位のグループを作ることで、多くのプリンタでも効率的に管理できます。EpsonNet WebManager が提供する機能を使うと、次のようなこと（管理）ができます。

■プリンタの一覧や配置を把握できます
ネットワーク上にプリンタが多数存在する場合、それらのプリンタすべてを把握するのは困難です。EpsonNet WebManager を使えば、登録されているプリンタの一覧表を表示させることができるので、管理者は手元のブラウザでネットワーク上のプリンタを一括管理できます。また、プリンタに資産管理番号を付与して一覧表示することもできますので、資産管理に関する管理者の負担を軽減できます。

さらに、オフィスのレイアウト図にプリンタアイコンを配置して表示する機能によって、プリンタの 2 次元的な配置位置を表示させることができます。プリンタの場所と状態を同時に管理できますので、障害発生時の早期解決を支援します。

■プリンタで発生している問題（障害発生状況）を把握できます
毎日 9 時、毎週月曜日など、指定した時間間隔で、管理しているプリンタで発生している障害の一覧情報を E-mail で受け取る（知る）ことができます。また、障害の発生履歴を記録することもできます。届いた E-mail や記録された履歴を元に、プリンタでの障害の発生頻度や、どのプリンタで障害が多発しているか（障害発生分布）など、障害発生の傾向も知ることができます。障害発生の傾向を知ることで、深刻な事態を招く前に必要な対策を講じることができ、プリンタをより安定して利用することができます。
プリンタで発生している障害の内容は、プリンタの設置場所に行かなくとも、手元のブラウザで知ることができます。別の階や別の棟にあるプリンタであっても、目の前のブラウザで障害の内容を把握できるので、わざわざ出向かなくても、困っているユーザに電話で適切な対処方法を指示することもできます。

■プリンタの利用頻度を知ることができます
プリンタの稼動状況や消耗品の残量推移の履歴（ログ）を記録できますので、これらの履歴情報から各プリンタの利用頻度を把握することができます。利用頻度に関する情報を活用すれば、消耗品の手配やプリンタの配置を最適化することができます。EpsonNet WebManager を使うことでプリンタをより有効に活用できるようになります。

■プリンタドライバを収集・配布できます
インターネットから最新のプリンタドライバを自動的に収集できます。また、収集したドライバは、実際に印刷を実行するクライアント（印刷を行うユーザー）のコンピュータへ、Web ブラウザ経由で配信することもできます。
EpsonNet WebManager はインターネットと連携することができるので、ワンクリックでエプソン販売のホームページから最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納できます。クライアントは、通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバをインストール、印刷できるようになります。

主な機能の紹介

プリンタ管理

EpsonNet WebManager はインターネット標準の SNMP プロトコルを使用して、ネットワークプリンタを管理する為に必要な情報を取得 / 設定します。

検索・一覧	・ネットワーク上のプリンタを探索し一覧表示 ・ネットワーク指定によりルータを越えた先のプリンタも探索可能 ・特定のデバイス / 特定のネットワーク / 特定のアドレスに基づいた検索が可能 ・プリンタを一覧表示する際の列項目はカスタマイズ可能
グループ管理	・管理プリンタを論理グループに分けて管理が可能 ・レイアウト図を作成することで、プリンタの位置と状態を同時に確認可能（レイアウト表示）
デバイス管理	EpsonNet WebManager では管理するプリンタをデバイスと呼びます。 ・「デバイス詳細画面」により、プリンタのより詳細な状態・情報を確認可能 ・プリンタ本体に表示されているメッセージもリモートで確認可能 *1 ・ネットワーク設定・本体設定がリモートで可能 ・障害発生 / 消耗品 / 稼動状況のログ取得が可能（ログ収集）*2 ・印刷ジョブに関する情報の表示と印刷の中止が可能 *3 ・E-Mail によるグループ単位での定期的な状態の通知（障害通知）*4

*1 対応する情報が取得可能なプリンタのみ表示可能です。
*2 EpsonNet WebManager で取得したログは指定された時間間隔でファイルに出力されます。また、出力したファイルを E-mail に添付して発信することもできます。
*3 印刷ジョブ情報に対応した EPSON プリンタのみ可能です。
*4 EpsonNet WebManager 上で設定した間隔で障害が発生していれば E-Mail で通知します。

ドライバ管理

EpsonNet WebManager を使用すると、以下のプリンタドライバが管理できます（EPSON プリンタウィンドウがドライバ本体と別となっているプリンタの場合、EPSON プリンタウィンドウの配信はできません）。

■ EpsonNet WebManager で管理できる EPSON 製プリンタのプリンタドライバ（PostScript ドライバは不可）
エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）で最新情報をご確認ください。

■ EPSON 製 Windows 用プリンタドライバ

ドライバ配信	「ドライバ格納ツール」により FD/CD-ROM 等のメディアからプリンタドライバを配布可能な形態で格納 クライアントは通知された URL に Web ブラウザでアクセスし、プリンタを指定することでプリンタドライバのインストールが可能
インターネット連携	インターネットと連携し、エプソン販売のホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp/）から最新のプリンタドライバをダウンロードし、配布可能な形態で格納可能 （実際にプリンタドライバを収集する際には上記 URL に自動でアクセスします）

ポイント

Adobe Acrobat をお使いの方は、上記ホームページをご覧になる前に、Adobe Acrobat の［ファイル］/［編集］メニュー-［環境設定］-［Web Capture］の順にクリックし、［Web リンクを開く］を［Web ブラウザ内］/［Web ブラウザで開く］に設定してください。

EpsonNet NDPS Gateway

EpsonNet NDPS Gateway は、NDPS（Novell Distributed Print Services）環境で EPSON プリンタからの印刷や、EPSON プリンタの状態監視を可能にするゲートウェイソフトウェアです。NDPS 技術を使って設計されていないプリンタでも、プリンタの設定や状態の確認ができます。EpsonNet NDPS Gateway ソフトウェアを使うと、NDPS ユーザは NDPS のほとんどすべての機能を利用することができます。

EpsonNet NDPS Gateway の特長は次の通りです。

次の接続タイプをサポートします。

キューベースプリンタ、IPX 環境での RP モード、TCP/IP 環境での LPR モードの 3 つのリモートプリンタをサポートしています。

自動的にプリンタエージェントを作成できます。

自動作成されたプリンタエージェントが自動的に検索され、ネットワーク上でパブリックアクセスプリンタとしてすぐに使えます。

ワークステーションへ、プリンタドライバを自動インストールできます。

EpsonNet NDPS Gateway のセットアップツールを使用すると、リソース管理サービス（RMS）に、プリンタドライバをアップロードできます。一度この方法でプリンタドライバが RMS にインストールされると、その後 EPSON プリンタが、ワークステーションへ自動的にインストールされます。この機能は、各種 Windows で利用できます。

双方向フィード・バック機能をサポートします。

クライアントとプリンタ間の双方向通信をサポートします。ジョブやプリンタの状態、インクの残量、トナーおよび紙の残量といった情報を、プリンタからリアルタイムで取得できます。

ピュア IP ベースの印刷と、IPX ベースの印刷をサポートします。

EpsonNet NDPS Gateway は、エプソン販売のホームページからダウンロードしていただけます。アドレスは下記の通りです。
http://www.i-love-epson.co.jp/

Adobe Acrobat をお使いの方は、上記ホームページをご覧になる前に、Adobe Acrobat の［ファイル］/［編集］メニュー-［環境設定］-［Web Capture］の順にクリックし、［Web リンクを開く］を［Web ブラウザ内］/［Web ブラウザで開く］に設定してください。

付録

ネットワークステータスシート.....204 ページ
ネットワーク I/F の初期化.....209 ページ
通信モードの固定方法.....211 ページ
ユーティリティの削除方法.....213 ページ
ARP/PING コマンドでの IP アドレス設定.....215 ページ
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能.....217 ページ
用語集.....220 ページ

ネットワークステータスシート

本製品のステータスシートボタンを押すと、ネットワーク I/F の設定情報が記載されたネットワークステータスシートが印刷されます。
ネットワークステータスシートには、ネットワーク I/F の現在の設定や、MAC アドレスなどの重要な情報が載っています。次ページの印刷例をご覧ください。

簡易ステータスシートの印刷

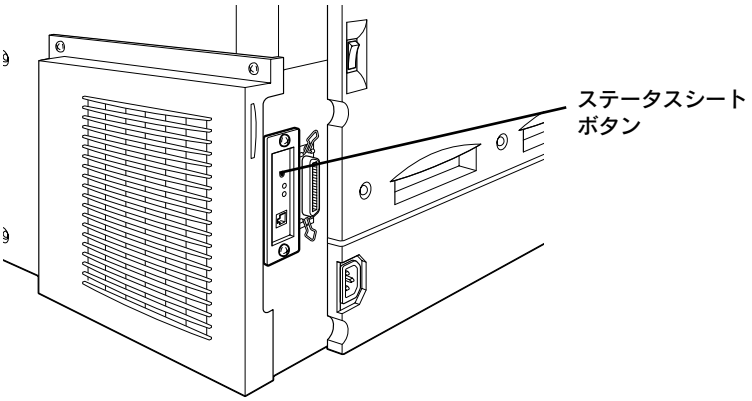
ネットワーク I/F のステータスシートボタンを 1 回押すと、ネットワークステータスシートが 1 枚印刷されます。
☞「簡易ステータスシート（1 枚）」205 ページ

フルステータスシートの印刷

ネットワーク I/F のステータスシートボタンを素早く 2 回押すと、ネットワークステータスシートが 3 枚印刷されます。ネットワーク I/F のホスト名、ドメイン名、SMNP に関する情報が必要な場合は、こちらのネットワークステータスシートを印刷してください。
☞「フルステータスシート（3 枚）」206 ページ

注意

- プリンタの電源をオンにしてから、ネットワーク I/F が正常に動作する状態になるまで、プリンタの機種によっては時間がかかる場合があります。このため、プリンタの電源をオンにした直後にステータスシートボタンを押すと、ネットワーク I/F の正しい状態が印刷されない場合があります（IP アドレスの欄に（NONE）と印刷される等）。
このような場合は、少し待ってから再度ステータスシートボタンを押してください。
- プリンタの電源をオンにした後、しばらくの間ネットワーク I/F のランプが赤点灯 / 緑点灯になります（初期化動作中です）。
赤点灯 / 緑点灯になっている間は、プリンタの電源をオフにしたり、ステータスシートボタンを押さないでください。ステータスシートボタンを押すと、ネットワーク I/F が工場出荷時設定に戻ってしまいます。また、ネットワークステータスシートが正しく印刷されません。



※プリンタの形状やネットワーク I/F の位置は、機種によって異なります。

ネットワークステータスシートの印刷例（初期値）

ポイント

（NONE）と表示される項目は、有効な値を設定すると、その値が表示されます。

簡易ステータスシート（1 枚）

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Ethernet I/F Card Status Print (1/1) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                       EPSON Type-B 10Base-T/100Base-TX Print Server
Serial Number                   000048XXXXXX
MAC Address                     00:00:48:XX:XX:XX
Hardware                        XX.XX
Software                        XX.XX
Printer Model                   LP-XXXX

<Ethernet>
Network Status                  100BASE-TX, Full Duplex

<Netware(R)>                    Enable
Network Address                 (NONE)
Primary Frame Type              (NONE)
Mode                            Standby
Print Server Name               (NONE)
NDS Tree                        (NONE)
NDS Context                     (NONE)
Primary File Server Name        (NONE)
Primary Print Server Name       (NONE)
Printer Port Number             (NONE)

<TCP/IP>
Get IP Address                  Manual
IP Address                      XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask                     XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway                 (NONE)

<AppleTalk(R)>                  Enable
Printer Name                    LP-XXXX-XXXXXX
Zone Name                       *
Network Number Set              Auto
Network Number                  65534
Node ID                         XXX

<MS Network(R)>                 Enable
Print Server Name               EPXXXXXX
Workgroup Name                  WORKGROUP
Share Name                      EPSON

<IPP>
IPP URL                         http://XXX.XXX.XXX.XXX:631/EPSON_IPP_Printer
Printer Name                    EPSON_IPP_Printer

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EIPS2 HH
```

フルステータスシート（3 枚）

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Ethernet I/F Card Status Print (1/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                     EPSON Type-B 10Base-T/100Base-TX Print Server
Serial Number                 000048XXXXXX
MAC Address                   00:00:48:XX:XX:XX
Hardware                      XX.XX
Software                      XX.XX
Printer Model                 LP-XXXX
Time                          XXXX-XX-XX XX:XX:XX GMT+XX:XX

<Ethernet>
Network Status                100BASE-TX, Full Duplex

<Netware(R)>                  Enable
Network Address               (NONE)
Primary Frame Type            (NONE)
Mode                          Standby
Print Server Name             (NONE)
Polling Interval              (NONE)
NDS Tree                      (NONE)
NDS Context                   (NONE)
Primary File Server Name      (NONE)
Primary Print Server Name     (NONE)
Printer Port Number           (NONE)

<TCP/IP>
Get IP Address                Manual
IP Address                    XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask                   XXX.XXX.XXX.XXX
Default Gateway               (NONE)
APIPA                         Disable
Set using PING                Disable
Acquisition way of DNS ADDR   Disable
DNS Server Address            (NONE)
                              (NONE)
                              (NONE)
Acquire Host/Domain name      Disable
Host Name                     LP-XXXX-XXXXXX
Domain Name                   (NONE)
Register the NW I/F to DNS    Disable
  Register directly to DNS    Enable
Universal Plug and Play       Enable
  Device Name                 LP-XXXX-XXXXXX
Rendezvous                    Enable
  Rendezvous Name             LP-XXXX-XXXXXX.local
  Rendezvous Printer Name     LP-XXXX-XXXXXX
  Rendezvous Service          LP-XXXX-XXXXXX._printer._tcp.local
                              LP-XXXX-XXXXXX._http._tcp.local

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EIPS2 HH
```

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Ethernet I/F Card Status Print (2/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<AppleTalk(R)>               Enable
Printer Name                 LP-XXXX-XXXXXX
Zone Name                    *
Network Number Set           Auto
Network Number               65534
Node ID                      XXX
Entity Type #1               EPSONPAGEJ4

<MS Network(R)>              Enable
Print Server Name            EPXXXXXX
Workgroup Name               WORKGROUP
Share Name                   EPSON

<IPP>
IPP URL                      http://XXX.XXX.XXX.XXX:631/EPSON_IPP_Printer
Printer Name                 EPSON_IPP_Printer
Location                     (NONE)

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EIPS2 HH
```

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Ethernet I/F Card Status Print (3/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<SNMP>
Read Community                public
IP Trap 1                     Disable
IP Trap Address 1             (NONE)
IP Trap Community 1           (NONE)
IP Trap Port 1                (NONE)
IP Trap 2                     Disable
IP Trap Address 2             (NONE)
IP Trap Community 2           (NONE)
IP Trap Port 2                (NONE)
IP Trap 3                     Disable
IP Trap Address 3             (NONE)
IP Trap Community 3           (NONE)
IP Trap Port 3                (NONE)
IP Trap 4                     Disable
IP Trap Address 4             (NONE)
IP Trap Community 4           (NONE)
IP Trap Port 4                (NONE)
IPX Trap 1                    Disable
IPX Trap Address 1            (NONE)
IPX Trap Community 1          (NONE)
IPX Trap Socket 1             (NONE)
IPX Trap 2                    Disable
IPX Trap Address 2            (NONE)
IPX Trap Community 2          (NONE)
IPX Trap Socket 2             (NONE)
IPX Trap 3                    Disable
IPX Trap Address 3            (NONE)
IPX Trap Community 3          (NONE)
IPX Trap Socket 3             (NONE)
IPX Trap 4                    Disable
IPX Trap Address 4            (NONE)
IPX Trap Community 4          (NONE)
IPX Trap Socket 4             (NONE)

<Time>
Time Server                   Disable
Time Server IP Address        (NONE)
Synchronize Interval          (NONE)
Time Difference(GMT+/-HH:MM)  +XX:XX
Time Server Status            Invalid

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH EIPS2 HH
```

ネットワーク I/F の初期化

次のような場合は、必ずネットワーク I/F を初期化して、工場出荷時の状態に戻してください。

- ネットワーク I/F の取り付け後、初めてプリンタの電源を入れるとき
- ネットワーク I/F を違うプリンタに取り付けるとき
- ネットワーク I/F に誤った設定をしたり、ネットワーク I/F が誤動作をして、ネットワーク I/F が設定ユーティリティに表示されなくなったとき

初期化の手順は次の通りです。

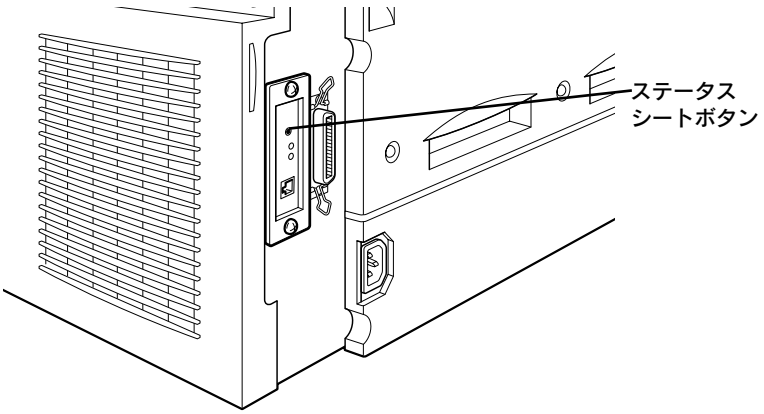
> ポイント
>
> 設定ユーティリティからネットワーク I/F カードを初期化することもできます。下記のページをご覧ください。
>
> 「EpsonNet WinAssist/MacAssist の 使い方」-「各画面の詳細説明」-「情報」57 ページ
>
> 「EpsonNet WebAssist の使い方」-「設定ーオプションメニュー」-「リセット」182 ページ

1 ネットワーク I/F を装着したプリンタの電源がオフになっていることを確認します。

2 ネットワーク I/F のステータスシートボタンを押しながらプリンタの電源を入れます。ステータスシートボタンは 20 秒以上押し続けます。

ご利用のプリンタの機種によっては、ステータスシートボタンを押す時間が長い場合があります。詳しくはプリンタの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク I/F の 2 つのランプが点灯したら初期化作業中であることを表します。



※プリンタの形状やネットワーク I/F の位置は、機種によって異なります。

3 20 秒以上経過したら、ボタンから指を離します。

④ 初期化完了後、ネットワークステータスシートを印刷して、シートの記載内容を確認してください。

ネットワークステータスシートは、ステータスシートボタンの押す回数によって、以下の2パターンを印刷することができます。

1回：簡易ステータスシート（1枚）

素早く2回：フルステータスシート（3枚）

「ネットワークステータスシート」204 ページ

プリンタの電源オン後、しばらくの間ネットワーク I/F のランプが赤点灯 / 緑点灯になります（初期化動作中です）。
赤点灯 / 緑点灯になっている間は、プリンタの電源をオフにしたり、ステータスシートボタンを押さないでください。ステータスシートボタンを押すと、ネットワーク I/F が工場出荷時設定に戻ってしまいます。また、ネットワークステータスシートが正しく印刷されません。

通信モードの固定方法

本製品は通信速度を自動認識しますが、HUB の通信速度を固定にしている場合、HUB に合わせた通信速度に固定することができます。通信速度の固定は、ジャンパピンで設定します。

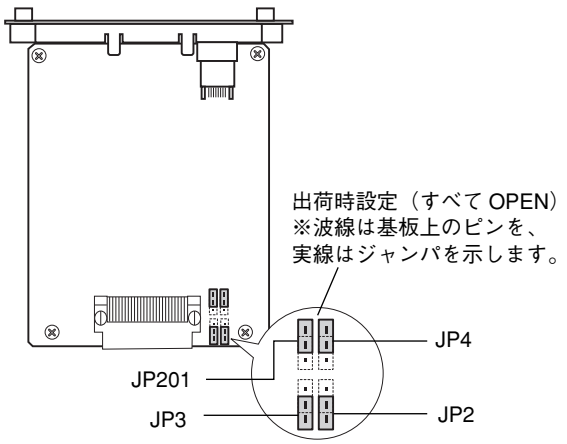
1 ネットワーク I/F を装着したプリンタの電源をオフにします。

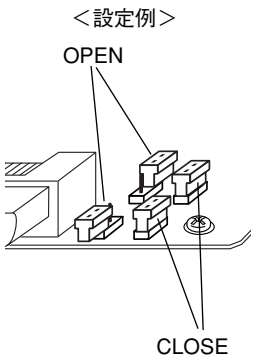
インクジェットプリンタの場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

2 ネットワーク I/F をプリンタから抜き、紙などの絶縁体の上に置きます。

3 下図を参照してジャンパピンを設定します。

ジャンパピンは 4 つあり、それぞれを OPEN または CLOSE に設定できます。
ジャンパ（黒いソケット）が、2 本あるピンの 1 本だけにささった状態が OPEN です。
ジャンパが 2 本のピンにささった状態が CLOSE です。





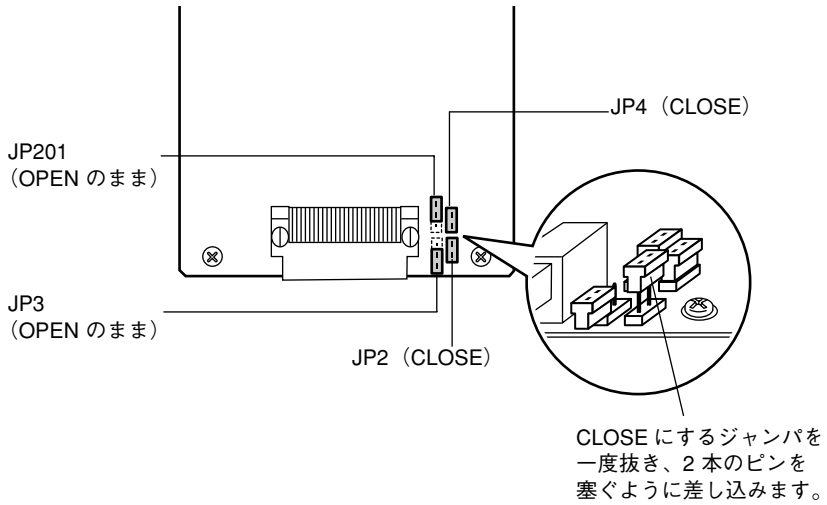
通信モード		JP2	JP3	JP4	JP201
自動認識	10 Base-T Full/Half Duplex、100 Base-TX Full/Half Duplex（初期設定）	OPEN	OPEN	OPEN	OPEN
固定	100 Base-TX Full Duplex	CLOSE	OPEN	OPEN	OPEN
	100 Base-TX Half Duplex	CLOSE	OPEN	OPEN	CLOSE
	10 Base-T Full Duplex	CLOSE	OPEN	CLOSE	OPEN
	10 Base-T Half Duplex	CLOSE	OPEN	CLOSE	CLOSE

ポイント

上記の表以外の設定は使用しないでください。

設定例）
10Base-T Full Duplex に固定したい場合（表の下から 2 番目）は、JP2 と JP4 のジャンパを一度抜き、それぞれの 2 本のピンを塞ぐように差し込みます。

> ポイント
> ジャンパを落としてなくさないようご注意ください。



イラストは、JP201 と JP3 は OPEN のままで、JP2 と JP4 を CLOSE にした例です。

4 設定したら、ネットワーク I/F をプリンタに装着します。

5 プリンタの電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

以上で通信速度の固定の設定は終了です。

ユーティリティの削除方法

ユーティリティの削除方法を説明します。

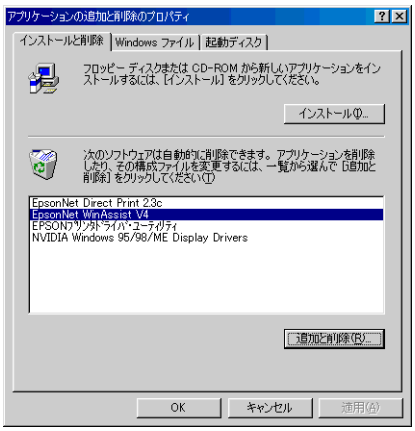
Windows 用ユーティリティ

❶ ［スタート］ボタン -［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］ボタン -［コントロールパネル］の順にクリックして、［プログラムの追加と削除］をクリックしてください。

❷ 削除したいユーティリティを選択して、［追加と削除］ボタンをクリックします。

Windows 2000/XP Home の場合は［変更と削除］、Windows XP Professional/Server 2003 の場合は［削除］ボタンをクリックしてください。この後は、画面の指示に従ってください。



ポイント

Windows NT3.51 の場合は、ユーティリティのグループウィンドウにある、［アンインストール］アイコンを起動します。後は、画面の指示に従ってください。

Macintosh 用ユーティリティ

> ポイント
> Mac OS X の場合、EpsonNet MacAssist for OS X を削除するには管理者権限をもつユーザでログインする必要があります。

EpsonNet MacAssist の削除方法を、Mac OS 9 の画面・アイコンを例に説明します。

1. **ソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2. **[EpsonNet MacAssist] フォルダをダブルクリックします。**
   Mac OS X の場合は、［Mac OS X］フォルダをダブルクリックしてください。

3. **[EpsonNet MacAssist Installer] アイコンをダブルクリックします。**
   Mac OS X の場合は、［認証］画面が表示されます。パスワードを入力してください。

4. **表示された画面で、[続ける ...] ボタンをクリックします。**

5. **[ライセンス] 画面の使用許諾内容を確認して、[同意] ボタンをクリックします。**

6. **画面上部のドロップダウンリストから [アンインストール] を選択します。**

7. **画面右下の [アンインストール] ボタンをクリックします。**

8. **この後は画面の指示に従ってアンインストールします。**

9. **[終了] ボタンをクリックして画面を閉じます。**

ARP/PINGコマンドでのIPアドレス設定

ARP/PINGコマンドから、ネットワークI/FのIPアドレスを設定する手順を説明します。
ARP/PINGコマンドは、次の条件の両方を満たしたときに使えます。

- 設定に使うコンピュータが、ネットワークI/Fと同じセグメントにあるとき
- Windows、OS/2にTCP/IPが正常に組み込まれ、設定されている場合

> ポイント
> レーザープリンタをお使いの場合は、次の操作の前に、プリンタの操作パネルの［IPアドレスセッテイ］で［PING］が選択されていることを確認してください。［PING］が選択されていない場合は、ARP/PINGコマンドからのIPアドレス設定ができません。
> プリンタの操作パネルからの設定については、プリンタに付属の取扱説明書をご覧ください。

ネットワークI/FのIPアドレスを192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合を例に説明します。

ゲートウェイアドレスの設定

設定に使うコンピュータに、ゲートウェイアドレスを設定します。

❶ ゲートウェイになるサーバやルータがある場合、そのサーバやルータのアドレスを設定します。

ゲートウェイがない場合は自分自身のコンピュータのIPアドレスをゲートウェイアドレスに設定します。

「コンピュータのネットワーク設定」24ページ

❷ ネットワークに接続したプリンタの電源をオンにし、コンピュータで［MS-DOSプロンプト］を起動します。

Windows NT/2000/XP/Server 2003の場合は、［コマンドプロンプト］を起動してください。

❸ 同一セグメント内の動作中コンピュータ、またはルータやゲートウェイがあれば、それらに対してPINGコマンドを実行します。設定に使用しているコンピュータ以外の機器に対して、PINGコマンドを実行してください。

書式） ping_最寄りのコンピュータなどのIPアドレス（_は半角スペース）

例） IPアドレス192.168.100.101のコンピュータがある場合
C:¥>ping_192.168.100.101

PINGコマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.101: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（timeなどの値は変動します）。

❹ arpコマンドを実行して、ネットワークI/Fに設定したいIPアドレスを、ネットワークI/FのMACアドレスと関連付けます。

> ポイント
> - IPアドレスは、ほかのネットワーク機器やコンピュータですでに使用されているIPアドレスと重複しないようにしてください。
> - MACアドレスは、ネットワークステータスシートで確認できます。
>
> 「ネットワークステータスシート」204ページ

書式） arp_-s_ ネットワーク I/F に設定したい IP アドレス _ ネットワーク I/F の MAC アドレス（_ は半角スペース）

例 ） C:¥>arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00

5 ping コマンドを実行して、ネットワーク I/F の IP アドレスを設定します。

書式） ping_ 手順 4 でネットワーク I/F に設定した IP アドレス（_ は半角スペース）

例） C:¥>ping_192.168.100.201

ping コマンドが成功すると、「Reply from 192.168.100.201: bytes=32 time<10ms TTL=255」というメッセージが表示されます（time などの値は変動します）。

ここで表示された IP アドレスが 192.168.100.201 であることを確認します。

ポイント

- ■ ここで「time out」などのメッセージが表示された場合、IP アドレスは正しく登録されていません。手順 3 から、再度設定をしてください。
- ■ ping コマンドで IP アドレスを設定した場合、サブネットマスクは IP アドレスのクラスによって自動的に変更されます。ネットワーク環境に合わせてサブネットマスクおよびデフォルトゲートウェイを変更する場合は、EpsonNet WinAssist から設定してください。

6 **ステータスシートボタンを 1 回押して、ネットワークステータスシートを印刷します。**

ネットワークステータスシートに、ネットワーク I/F に設定した IP アドレスが印刷されます。ここで IP アドレスが正しく設定できたことを確認します。

☞ 「ネットワークステータスシート」204 ページ

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

Windows Me 以降の、ユニバーサルプラグアンドプレイに対応した Windows から本ネットワーク I/F を装着したプリンタを使う場合、次のような便利な機能が利用できます。
Windows Me でこれらの機能を使用する場合は、次のページをご覧になり、［ユニバーサル プラグ アンド プレイ］をインストールしてください。
☞「ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール」218 ページ

ポイント

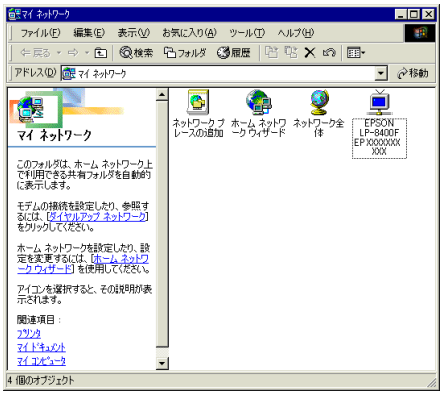
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能は、初期設定では off になっています。使用するには、EpsonNet WinAssist または EpsonNet WebAssist から設定してください。
☞「ネットワーク I/F 設定」-「拡張設定」58 ページ
☞「EpsonNet WebAssist でのネットワーク I/F 設定」-「ネットワーク I/F の TCP/IP 設定」164 ページ

ユニバーサルプラグアンドプレイ機能

Windows Me で利用できる機能を例に説明します。

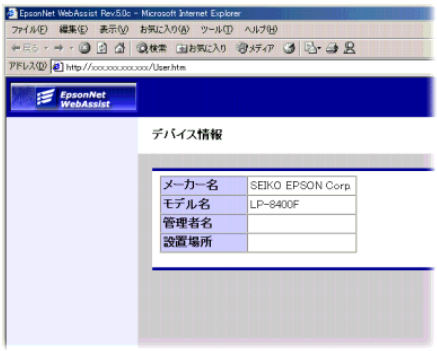
プリンタアイコンの自動表示

プリンタ（ネットワーク I/F）をネットワークに接続するだけで、［マイネットワーク］にプリンタアイコンが表示されます。



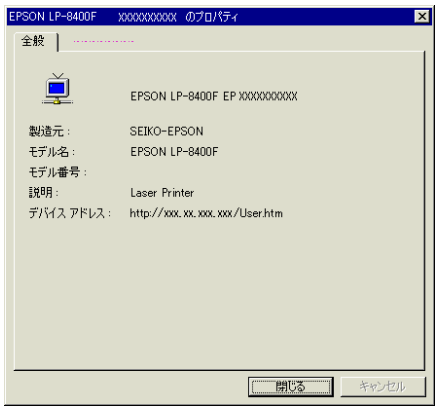
プリンタ情報の表示

自動表示されたプリンタアイコンをダブルクリックすると、プリンタの簡易情報が表示されます。
プリンタの簡易情報表示には、Web ブラウザを使用します。Web ブラウザは、Windows に標準で組み込まれているものをお使いいただけます。



ネットワーク I/F 情報の表示

自動表示されたプリンタアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択すると、ネットワーク I/F の簡易情報が表示され、ネットワーク I/F の IP アドレスなどを確認できます。



IP アドレスの自動設定

セグメント内で適切な IP アドレスが自動的に割り当てられる（DHCP サーバまたは UPnP の機能によって、ネットワーク I/F の IP アドレスが自動的に設定される）ため、ネットワーク I/F の IP アドレス設定が不要です。

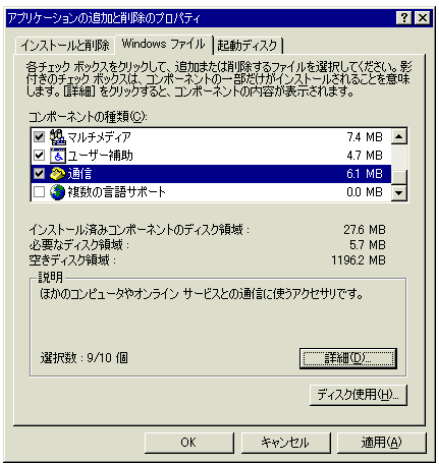
ただし、TCP/IP 印刷をする場合は、手動で IP アドレスを設定することをお勧めします。

「ネットワーク I/F の設定」－「設定方法の概要」45 ページ

ユニバーサル プラグ アンド プレイのインストール

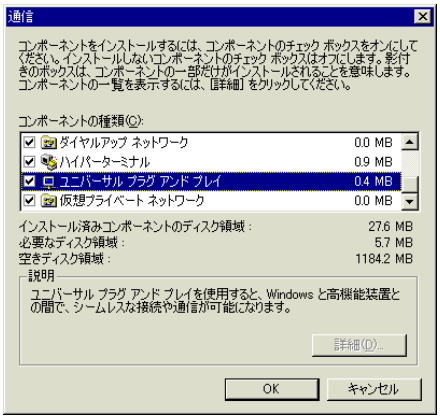
Windows Me をお使いの場合は、次の手順でインストールします。

1. **［スタート］ボタン -［設定］-［コントロールパネル］の順にクリックして、［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**
2. **［Windows ファイル］タブをクリックします。**
3. **［コンポーネントの種類］一覧の［通信］をクリックし、［詳細］ボタンをクリックします。**



4 **[ユニバーサル プラグ アンド プレイ] チェックボックスがチェックされていない場合は、チェックして、[OK] ボタンをクリックします。**

チェックされている場合はインストール済みですので、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



5 **[コンポーネントの種類] 一覧で、[OK] ボタンをクリックします。インストールが始まります。**

6 **インストールが終了したら、コンピュータを再起動します。**

ポイント

Windows を CD-ROM からセットアップした場合は、そのCD-ROM をコンピュータに挿入するように求めるメッセージが表示されます。

用語集

A

APIPA

Automatic Private IP Addressing。ネットワーク機器に対して IP アドレスを自動的に割り当て、利用するための機能。DHCP サーバが存在しない小規模なネットワークなどで、IP アドレスの割り当てと管理を行う。APIPA を利用することによって、ユーザはネットワークの IP アドレスを意識することなく、ネットワーク上のほかのクライアント等と通信することができる。

AppleTalk

すべての Macintosh に標準で付属する、LAN システムの規格、もしくはネットワークソフトウェアの名称。Macintosh の標準的なネットワークプロトコルになっている。

ARP

Address Resolution Protocol。TCP/IP プロトコル群に属するアドレス解決プロトコル。ホストの IP アドレスから MAC アドレスを検索するときに用いる。相手のホストが保持しているIPアドレスとMACアドレスの対応法を変更する場合にも使う。

D

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocol。コンピュータの IP アドレスやデフォルト・ゲートウェイなどの TCP/IP 関連情報をサーバに問い合わせて自動的に設定するプロトコル。クライアントの起動時に、サーバが空いている IP アドレスを自動的に割り当てる。

DNS

Domain Name System。ネットワーク上のコンピュータ名と、その IP アドレスとの対応付けを行う仕組み。IP アドレスは 4 桁の 8 ビット単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名から IP アドレスへの変換を行う。変換を行うサーバを DNS サーバという。

E

EtherTalk

Macintosh 用の LAN を実現するためのシステムの 1 つ。Ethernet のケーブルを使って運用する AppleTalk ネットワークのこと。Ethernet インターフェイスを接続し、コントロールパネルで EtherTalk を選択すればよい。

H

HUB

ネットワークを構築する際に必要な集線装置。複数本のシールドツイストペアケーブルを RJ-45 モジュラージャックで接続し、スター型 LAN を構築する。

I

IPP

Internet Printing Protocol。IPP を使うことにより、インターネットを経由しての印刷が可能となる。

IPX

Internetwork Packet Exchange。Novell 社の NetWare のプロトコル。

IP アドレス

IP による通信でネットワーク内の各コンピュータに割り振られる番号（ アドレス ）のこと。国内では日本ネットワークインフォメーションセンター(JPNIC) が IP アドレスの登録手続きを代行しており、ここから世界的にユニークな IP アドレスを取得できる。

L

LPR

Line Printer Daemon Protocol。BSD UNIX で使われてきたリモート印刷プロトコル。TCP/IP 上で動作する。

M

MAC アドレス

Media Access Control アドレス。ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレス。

MIB

Management Information Base。ネットワーク管理のための SNMP(Simple Network Management Protocol) マネージャと SNMP エージェントとでやりとりされるネットワーク管理のための一種のデータベースで、100 以上のオブジェクト（管理対象）を含むテーブルになっている。管理対象となる機器ごとに MIB を持つ。

N

NDPS

Novell Distributed Print Services。米 Novell 社の NetWare が提供する分散プリント機能。NDPS によりプリンタ管理に要するコストの削減や、ネットワークを利用するユーザや管理者の生産性を引き上げることを目的としている。

NDS

Novell Directory Services。米 Novell 社の NetWare4.0 以降に搭載されているディレクトリ・サービス機能。ユーザやサーバ、プリンタなどの共有資源を一元管理できる。各資源はツリー状のネットワーク構造で論理的に配置することができる。
一度 NetWare にログインすれば、それ以降はそれぞれの NetWare サーバにログインすることなく、ネットワーク全体のサーバやプリンタなどが使えるようになる。

NetBEUI

通信プロトコルの 1 つ。ネットワーク・アドレスの設定が不要だが、ルータを越えての使用はできない。

NetBIOS

パソコン・ネットワーク用の通信プロトコルと API の規約。

NetWare

米 Novell 社が開発したパソコン LAN 用ネットワーク OS。IPX/SPX という独自プロトコルを使用する。

NWADMIN

NetWare 4.x のファイルシステム管理ツール。ネットワーク管理者はツリー内のすべてのオブジェクトを管理できる。オブジェクトの作成、オブジェクトのプロパティの変更、コンテキスト上から別の場所へのコンテキストの移動が行える。また、ファイルシステム、ディレクトリサービスのトラスティ、ツリーにあるすべてのオブジェクトの有効な権利を確認できる。

P

PCONSOLE

NetWare3.x のプリントサービス設定、管理ツール。

PING

TCP/IP が実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN 環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対して ping コマンドを実行し、正常に TCP/IP が実装されているか確認する。

R

Rendezvous

Mac OS X 10.2.x から採用された LAN 内の通信プロトコル。IETF（Internet Engineering Task Force）で議論されている「Zeroconf」という技術がベースになっている。TCP/IP ネットワーク上で動作し、IP アドレスの自動割り当て、IP アドレスに対するサービス名の割り当て、LAN 内の Rendezvous 対応機器の認識という 3 つの作業を自動で行う。

S

SNMP

Simple Network Management Protocol。TCP/IP ネットワーク管理の標準プロトコルで、ネットワークの構成や、HUB、ルータなどのネットワーク機器に関しての管理情報のやり取りに使用される。ネットワーク管理システムは「マネージャ」、ネットワーク機器は「エージェント」などと言われる。

T

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol。インターネット標準の通信プロトコル。RFC（Request for Comments）の形で公開されているため、広く普及している。

U

UPnP

Universal Plug and Play。Microsoft の新技術で、Windows Me で機能が提供されている。Web ベースのプロトコルを使って各種のデバイスが互いに存在を確認しあい、やり取りできるようにするもの。例えばプリンタをネットワークに接続するだけで、ネットワーク上でプリンタを認識することができる。

イ

インターネット印刷

Windows 2000 以降 の OS に実装されている機能。Web ブラウザから、ファイアウォールを越えた先にあるプリンタへ印刷することができる。

エ

エンティティタイプ

オブジェクトのタイプ。これにより、オブジェクトが正当なものであるか否かを識別できる。

ケ

ゲートウェイ

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LAN からはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。

コ

コンテキスト

NetWareの NDS で、ディレクトリツリー内の各オブジェクトの配置を示すもの。会社名、組織名、部門名などの要素から構成される。

サ

サブネットマスク

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。したがってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32 ビットからなり、クラス C では 24 ビット (255.255.255.0) が標準で使用される。

シ

シールドツイストペアケーブル

電線を 2 本ずつより合わせて対にしたケーブル。Ethernet や電話のモジュラーケーブル、USB ケーブルなどに使われている。電気干渉に強い構造となっているものを、シールド型と呼ぶ。

ソ

ゾーン名

AppleTalk で設定される、サーバやプリンタなどのネットワーク資源を論理的に扱うためのグループ。

タ

ダイナミック DNS

IP アドレスとホスト名の組み合わせを動的に更新する DNS 。これにより、ホストの IP アドレスが DHCP によって変わっても、ホスト名は維持される。LAN 内にダイナミック DNS 対応の DHCP サーバが必要。

ネ

ネットワーククラス

IP アドレスは、ネットワーク ID とホスト ID の区切り位置によって、A、B、Cの 3 つのクラスに分けられる。たとえば、クラス A は、IP アドレスの上位 8 ビットがマスクされている。どのクラスに属するかは、企業などが IP アドレスを取得する際に決定する。

ハ

バインダリ

NetWare3.x で、ユーザ、グループ、ワークグループなどの構成要素を定義しているデータベース。NetWare4.x 以降は、バインダリの代わりに NDS を使用。

フ

フレームタイプ

ネットワーク上の通信（Workstation ← packet → Client）で、パケットに定義されているもの。サーバがサポートするフレームタイプに合わせて設定する。

プロキシサーバ

インターネットと接続する際に、セキュリティを確保するために設置されるサーバ。

ホ

ポート番号

TCP やUDP が備える機能で、複数アプリケーションを同一コンピュータまたはサーバ上で扱うための仕組み。サーバやパソコンは、インターネットから受信したパケットを、ポート番号によって引き渡すアプリケーションを特定する。

ポーリング

NetWare の、プリンタ環境設定オプションの 1 つ。ポートドライバ（NPRINTER）が定期的にデータポートを確認（ポーリング）し、データポートがプリンタにデータを転送する準備ができているかを調べる。

ユ

ユニバーサルプラグアンドプレイ

UPnP（Universal Plug and Play）。Microsoft の新技術で、ネットワーク上のデバイスを自動的に認識する機能。この機能は Windows Me 以降で提供されている。

索引

数字

100Base-TX 9, 11
10Base-T 9, 11

A

AppleTalk 65, 175
AppleTalk を使用する . . 65, 175
arp 215
ARP/PING 215

C

Client32 . . . . . 25, 30, 33, 36

D

DNS サーバアドレス（使用順）
. . . . . 58, 166
DNS サーバに直接登録する
. . . . . 59, 166
DNS サーバのアドレスを
自動的に取得する . . 58, 166

E

EPSON AppleTalk 112
EPSON Print!2 15
EPSON TCP/IP 112
EpsonNet Direct Print . 12, 150
EpsonNet Direct Print の
インストール 153
EpsonNet Internet Print 12
EpsonNet LogBrowser 14
EpsonNet MacAssist 13
EpsonNet MacAssist の
インストール 50
EpsonNet NDPS Gateway . .201
EpsonNet WebAssist . . 13, 161
EpsonNet WebManager
. . . . . 14, 197, 198
EpsonNet WinAssist 13, 46
EpsonNet WinAssist の
インストール 48
EPSON プリンタウィンドウ
. 197
EPSON プリンタウィンドウ !2
. 14

I

IntranetWare Client
. . . . . .25, 30, 33, 36
IntranetWare-J . .122, 123, 127
IPP 22, 66, 177
IPP URL 66, 177
IPP 印刷 . 26, 30, 34, 81, 82, 92
IPX トラップ 67, 179
IP アドレス
25, 33, 36, 54, 159, 165, 185
IP アドレスの取得方法 165
IP アドレスの設定方法 53
IP トラップ 67, 178

L

LPR 22
LPR 印刷 26, 30, 34, 37, 81, 90,
. . . . . 99, 101, 114, 160

M

MAC アドレス 57, 171, 215
Microsoft ネットワーク共有印刷
.26, 30, 34, 37, 84, 94, 103,
117
Microsoft ネットワーク
共有印刷を使用する 64
Microsoft ネットワーク
共有印刷をする 176
MS Network 22, 64, 176

N

NDPS ゲートウェイ 136
NDPS プリンタエージェント 139
NDPS マネージャ 138
NDPS マネージャの作成 . . . 138

NDS 60, 173
NDS コンテキスト 121, 173
NDS ツリー名 173
NDS プリントサーバモード . 123
NDS リモートプリンタモード 132
NET USE 88, 97, 108
NetWare 59, 172
NetWare3.xJ 122, 124
NetWare4.xJ 122, 123, 127, 132
NetWare5.xJ/6.xJ 123, 132, 136
NetWare 印刷 118
NetWare 基本設定 172
NetWare サーバ経由印刷
. . . . . 26, 30, 34, 37
NetWare パスワード 173
NLSP 120
NWADMIN 128

P

PCONSOLE 127
PING による設定 166

R

Read Only 67, 178
Read/Write 67, 178
Rendezvous
. . . . . 43, 112, 166, 167
Rendezvous 名 58, 166
RJ-45 コネクタ 11

S

SAP 名 142
SNMP 67, 178

T

TCP/IP 53, 164
TCP/IP での直接印刷 22

あ

アドレス 67, 178, 179
アプリケーションの 終了 68

い

印刷終了を通知する 160
印刷ログ 23
インターフェイスカード型番 171

え

エンティティタイプ 65, 175
エンティティタイプの設定 . . . 65

お

お気に入り URL 181
お気に入り名 181

か

拡張印刷 160
拡張設定 54
管理者情報 181
管理者名 171, 181

き

基本情報 170
共有名 64, 176

こ

工場出荷時設定 182
工場出荷時の状態に戻す 57
高速印刷 160
コミュニティ 67, 178
コミュニティ名 178, 179
コンテキスト 60
コントロールアクセスプリンタ
. . . . . .139, 140

さ

最新の情報に更新 68, 69
サブネットマスク . 54, 159, 165

し

シールドツイストペアケーブル 11
自動 54
自動インストール機能 196
手動 54
手動設定時のネットワーク番号
. . . . . .65, 175
情報 57
ジョブをキューに転送 . .137, 143

す

ステータス更新 171
ステータスシートボタン .11, 204

せ

設置場所 171, 181
設定 68, 69
説明 181

そ

ゾーン選択 74
ゾーン名 65, 175
ソフトウェアバージョン
. . . . . .57, 171

た

タイムアウト設定 68, 69, 70
ダイヤルアップネットワーク 146
ダイヤルアップルータ 77
探索オプション 68, 69, 71
探索方法 68
探索方法の選択 69

つ

ツリー名 60

て

デバイス名 59
デフォルトゲートウェイ .54, 165

と

動作モード 172
特定ネットワークセグメント 159
トピックの検索 68
ドメイン名 58
トラップ 178, 179

ね

ネットワーク 142
ネットワーク I/F のアドレスを
DNS に登録する 58
ネットワーク I/F の初期化 . .209
ネットワークステータスシート
. 204
ネットワーク番号設定 175
ネットワーク番号の取得方法 . 65

の

ノード 142

は

バージョン情報 68
ハードウェアバージョン .57, 171
バインダリ 173
バインダリプリントサーバモード
. 122
バインダリリモート
プリンタモード 127
パスワード 56, 183
パブリックアクセスプリンタ
. 139

ひ

標準印刷 160

ふ

ファームウェアアップデート 68, 74
プライベート IP 自動指定（APIPA）による設定 166
プライマリファイルサーバ名 61, 173
プライマリプリントサーバ名 64, 174
ブラウザの起動 68, 69
プリンタ番号 142
プリンタポート番号 64, 174
プリンタ名 . . . 65, 66, 175, 177
プリントキュー設定 61
プリントサーバ 23, 173
プリントサーバパスワード . . . 61
プリントサーバ名 61, 64, 173, 176
プリントサーバモード . . . 59, 119
フレームタイプ 60, 63, 121, 172

ほ

ポーリング間隔 61, 173
ホスト名 58
ホスト名とドメイン名を自動的に取得する 58

め

メニュー 68, 169
メニューバー 68

も

モード 60, 63
モデル名 57, 171

ゆ

ユーティリティの削除方法 . . 213
ユニバーサルプラグアンドプレイ 166, 217
ユニバーサルプラグアンドプレイ機能を有効にする . . 59
ユニバーサルプラグアンドプレイデバイス名 59

り

リセット 182
リモート（IPX 上で rprinter）. 137, 141
リモート（IP 上で LPR）. 137, 142
リモートプリンタ 174
リモートプリンタモード 63, 119, 124

ろ

ローカルセグメント 159
ロケーション 57, 66, 177

わ

ワークグループ名 64, 176

メモしておきましょう

トラブル、引っ越し、管理担当者の異動などに備えて、このページを印刷して、現在の設定をメモしておくことをお勧めします。

TCP/IP

IPアドレスの取得方法： ○自動 ○DHCP ○BOOTP ○RARP ○手動

プライベートIP自動指定(APIPA)による設定 ☐ PINGによる設定 ☐

IPアドレス設定

IPアドレス： . . .

サブネットマスク： . . .

デフォルトゲートウェイ： . . .

DNSサーバのアドレスを自動的に取得する ☐

DNSサーバアドレス（使用順）：

ホスト名とドメイン名を自動的に取得する ☐

ホスト名 ドメイン名

ネットワークI/Fのアドレスを DNSに登録する ☐

DNSサーバに直接登録する ☐

ユニバーサルプラグアンドプレイ設定： ユニバーサルプラグアンドプレイを有効にする ☐

デバイス名：

NetWare

基本設定： モード フレームタイプ

NDS： ツリー名

コンテキスト

プリントサーバ または リモートプリンタ：

MS Network

プリントサーバ名：

ワークグループ名：

共有名：

Apple Talk

プリンタ名：

ゾーン名：

エンティティタイプ：

ネットワーク番号の消去方法： ○自動 ○手動

手動設定時のネットワーク番号：

IPP

IPP URL：

プリンタ名：

ロケーション：

SNMP

Read/Write

IPトラップ1 : アドレス . . .

: コミュニティ

IPトラップ2 : アドレス . . .

: コミュニティ

IPXトラップ1 : アドレス .

: コミュニティ

IPXトラップ2 : アドレス .

: コミュニティ

ESC/Page および ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
ノベル、Novell、NetWare、NDS は、米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社の登録商標です。
NDS は、Novell Directory Services の略称です。
Novell Directory Services、Client 32、IPX、IntranetWare、IntranetWare Client、IPX/SPX、NetWare3、NetWare4、NetWare5、NLSP、NLM、SPX、NovellDistributed Print Services および NDPS は、米国 Novell, Inc. の商標です。
Apple の名称、Macintosh、漢字 Talk、Mac、Mac OS、Mac OS X、AppleTalk、EtherTalk、Open Transport、Rendezvous は Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
MS-DOS、Microsoft、Windows および WindowsNT は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Acrobat Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
OS/2 は IBM の商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。
This product includes software developed by the University of California, Berkeley, and its contributors.

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービス及び技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
NPD0335_00		新規制定	